



長野県PR
キャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

「躍動」

～夢の舞台で頂への挑戦～

第6回 SUMMER CUP 2026 in Nagano

全日本大学 軟式野球 選抜大会

2026年(令和8年)

8/16日▶21金

会期

会場

長野市 南長野運動公園野球場・長野県営野球場 中野市 中野市営野球場
(長野オリンピックスタジアム)

佐久市 佐久総合運動公園野球場 松本市 信州グリーンローズスタジアム四賀 小諸市 大栄小諸球場

主催:  全日本大学軟式野球連盟
<http://junbf.jp>

後援: スポーツ庁 長野県 長野県教育委員会 長野市 長野市教育委員会 中野市 中野市教育委員会 佐久市 佐久市教育委員会 松本市
松本市教育委員会 小諸市 小諸市教育委員会 公益財団法人全日本軟式野球連盟 長野県軟式野球連 全日本大学軟式野球協会
信濃毎日新聞社 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 ABN長野朝日放送 INC長野ケーブルテレビ

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

協賛: ナガセケンコー株式会社 株式会社共同写真企画 ゼット株式会社 キリンビバレッジ株式会社 JANAの JAグリーン長野
株式会社近畿日本ツーリスト FoseKift株式会社(予定、順不同)

ZETT



ZETT BASEBALL



ORDER GLOVE
SIMULATION

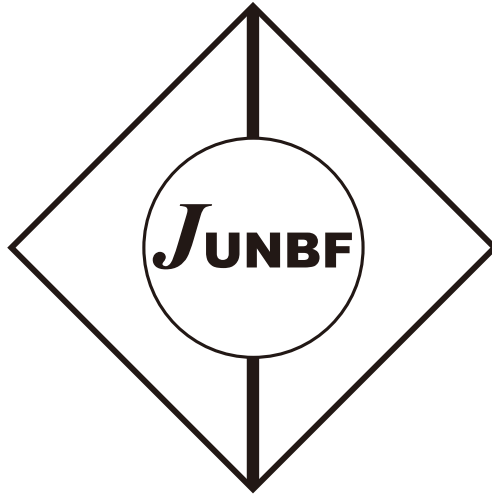
全日本大学軟式野球連盟

第6回

全日本大学軟式野球選抜大会

SUMMER CUP 2026 in Nagano

◆令和8年度◆



躍動

～夢の舞台で頂への挑戦～

目 次

大会会長 挨拶	1
スポーツ庁長官のことば	2
長野県知事のことば	3
長野市長のことば	4
中野市長のことば	5
佐久市長のことば	6
松本市長のことば	7
小諸市長のことば	8
大会委員長のことば	9
大会役員 名簿	10
実行委員会 名簿	11
大会規定	12
出場校一覧	31
加盟大学一覧	104
全日本大学軟式野球協会および全日本大学軟式野球連盟 役員名簿	106



ご挨拶

全日本大学軟式野球連盟

会長 友重 竜一

第6回全日本大学軟式野球選抜大会SUMMER CUP 2026の開催にあたり、全国各地・ブロック大会を勝ち抜き、本大会に出場される選手諸君をはじめ、監督・コーチ並びに関係者の皆様を、開催地・長野県にお迎えできますことを心より嬉しく存じます。

長野県においては、本大会を長年にわたり同じ地区で開催してまいりました。これもひとえに長野県軟式野球連盟ならびに審判員、長野県内の各自治体、ご協賛を賜っております各機関の皆様方の温かいご理解と献身的なご協力、そして公益財団法人全日本軟式野球連盟および全日本大学軟式野球協会のご指導・ご支援の賜物であり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

私どもは、選手諸君が本大会において競技に専念できるよう、今日に至るまで万全の準備をしてまいりました。恵まれたこの舞台において、全国から集った選手諸君が日頃の努力の成果を存分に発揮し、その勇姿が観客の皆様に大きな感動を届けてくれるものと確信しております。また、本大会は酷暑の中での開催となりますので、球場にお越しの皆様には熱中症予防を含め体調管理には十分ご注意ください。

参加の皆様には、大会期間中に信州の豊かな自然と地域の温かな人情にも触れていただき、長野県での滞在が思い出深いものとなれば幸いです。

結びに、本大会が実り多く成功裏に終わりますことを心より祈念いたし、開会に際しての挨拶といたします。



祝 辞

スポーツ庁長官 河合 純一

第6回全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2026 in Naganoが、全国から多数の参加者を得て長野オリンピックスタジアムで盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

大学スポーツは、日々の練習や試合を通じて心身を鍛え、人間的な成長を促すとともに、仲間との協働や規律、責任感を育む重要な教育の場となっています。

今年で6回目を迎えた本大会は、軟式野球競技の大学日本一を決める大会として開催されており、我が国における軟式野球競技の技術向上と普及振興に大きく貢献しています。

日頃から練習に励んでいる学生の皆さんが一堂に会し、その成果を披露する場となっていると同時に、大会運営や組織運営も学生が担うなど、教育的観点からも、大変意義ある大会です。

また、本年は、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会が愛知県、名古屋市を中心に開催される年でもあります。スポーツを「する」「みる」「ささえる」という多様な形での関わりを通じて、より多くの方々が年齢や障害の有無を超え、互いの違いを尊重し合いながら、スポーツの楽しさや喜びを分かち合う機運が広がっています。

出場される皆さんにおかれましては、日頃の練習の成果を十分に発揮されるとともに、互いの相手を尊重し、全力で競技に臨まれることを期待しています。そして、運営スタッフ等スポーツを「ささえる」立場の方々の尽力により、素晴らしい舞台が提供されていることへの感謝を忘れずに取り組んでください。

結びに、本大会の開催に御尽力された全日本大学軟式野球連盟をはじめ、関係の皆様方に敬意を表しますとともに、本大会の成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。



歓迎の挨拶

長野県知事 阿部 守一

全国各地から選抜された選手並びに関係者の皆様をお迎えし、第6回全日本大学軟式野球選抜大会が、ここ長野県において盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、全国各地から選抜された29チームの選手並びに大会関係者の皆様に心から歓迎いたします。

本大会に参加する各地区の代表チームの皆さんが、これまで積み重ねてこられた鍛錬の成果を存分に発揮され、最後まで全力で戦い抜き、心に残る熱戦を繰り広げられることを期待しております。

長野県では、信州やまなみ国スポ・全障スポの開催を控え、誰もがスポーツに親しみ、「する」「みる」「ささえる」といった多様な形でスポーツに関わることのできる環境づくりを進めております。本大会の開催が、スポーツの持つ魅力や価値を改めて実感する機会となり、皆様による熱戦が、多くの県民に夢や感動を与え、スポーツへの関心を一層高めるきっかけとなることを願っております。

また、選手や関係者の皆様には、長野県の雄大な自然や豊かな歴史・文化、食の魅力に触れていただき、多くの思い出をお持ち帰りいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、大会のご成功と、選手並びに関係者の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。歓迎のあいさつといたします。



歓迎のあいさつ

長野市長 荻原 健司

第6回全日本大学軟式野球選手権選抜大会が、全国各地から多くのチーム、選手並びに関係者の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、長野市を代表して心から歓迎いたします。

当市では、本大会の会場の一つである長野オリンピックスタジアムをはじめ、1998年に開催された長野オリンピック・パラリンピック冬季競技大会を契機に得た多くの有形無形の財産を生かしながら、「スポーツを軸としたまちづくり」を推進しております。

大学軟式野球は半世紀以上続く歴史ある競技であり、今年も本大会がここ長野市で開催されることは、当市のスポーツ振興にも大きく寄与するもので、大変意義深く感じるとともに、心から嬉しく思います。

出場される選手の皆様には、日々鍛錬された技術とチームワークを存分に発揮し、熱戦を繰り広げられることを期待するとともに、全国から集まった仲間との交流を深め、思い出に残る素晴らしい大会となることを願っております。

併せまして、この機会に是非、市内の観光地に足を運んでいただき、当市の魅力である豊かな自然や歴史文化、長野ならではのグルメを堪能していただければ幸いです。

夏の暑さが年々厳しさを増しております。選手の皆様並びにご来場の皆様におかれましては、こまめに水分補給を行っていただき、体調管理に十分ご留意くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係の皆様に心から敬意と感謝を表すとともに、大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念申し上げ、歓迎のあいさつといたします。



歓迎のあいさつ

中野市長 湯本 隆英

第6回全日本大学軟式野球選抜大会が、中野市をはじめ県下5会場において開催されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、お越しいただいた選手並びに関係者の皆様を心から歓迎いたします。

本市は、野球が盛んな地域で、ちびっ子野球や早起き野球などを楽しむ市民も多く、また、プロ野球独立リーグのBC（ベースボール・チャレンジ）リーグに加盟する「信濃グランセローズ」のホームタウンであります。

また、現在、横浜DeNAベイスターズで活躍されている牧秀悟選手の出身地でもあります。牧選手には「中野市スポーツ大使」に任命しており、スポーツに関する事業や中野市の魅力を広く情報発信をしていただいております。

大会に出場される選手の皆様には、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、優勝という栄冠を目指し、熱戦を繰り上げられることを期待しております。

中野市は、長野県の北東部に位置しており、山々が背景に広がり、千曲川が流れています。この地域は農業が盛んで、特にキノコや果樹の栽培は全国でも有数の品質と生産量を誇っています。また、作曲家の中山晋平や国文学者の高野辰之など、多彩な文化人を輩出しており、日本の原風景が残るまちとして知られています。

この機会にぜひ中野市の多彩な魅力をご堪能ください。

結びに、今大会の開催に当たり、ご尽力くださいました関係者、大会役員の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様のご健闘を心からご祈念いたしまして、歓迎のあいさつといたします。



佐久市長 柳田 清二

「第6回全日本大学軟式野球選抜大会」が、佐久市をはじめ県下5会場において盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、見事全日本大会への切符を手にした選手、監督並びに関係者の皆様、ようこそ佐久市へお越しくださいました。市民を代表して心より歓迎申し上げます。

さて、本市は、長野県下四つの平の一つである佐久平に位置し、北に浅間山、南に八ヶ岳連峰を望み、蓼科山・双子山・荒船山に囲まれ、千曲川が南北に貫流する自然環境に恵まれた高原都市です。また全国的にもトップクラスの晴天率を誇るなど、内陸性気候を示す高燥冷涼地であることから、この気候をいかし、高原野菜や果物などの栽培が盛んに行われています。近年は、北陸新幹線、上信越自動車道、中部横断自動車道などの高速交通網の整備も進み、市内に北陸新幹線佐久平駅と6つの高速道路のインターチェンジを有することから、高速交通網の結節点、交流圏の拠点として飛躍的な発展が期待されています。

特に、2年後に迫りました令和10年（2028年）に長野県では50年ぶりの開催となる「第82回国民スポーツ大会」におきましても、ここ佐久総合運動公園野球場が、軟式野球競技の会場の一つとして選定されております。また、来年、令和9年（2027年）には、リハーサル大会である第49回東日本軟式野球大会（2部）が当球場を含め5市6会場で実施される予定となっており、機運が着実に高まっております。

こうした中で、本大会が佐久市で開催されることは大変意義深く、本市のスポーツ振興に大きく寄与するものと考えております。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を十分に発揮され、各地区の代表として、手に汗握る熱い戦いを繰り広げられることを心より楽しみにしております。

また、本大会を通じて、豊かな自然と調和する街並みを体感していただくとともに、名産である五郎兵衛米や佐久鯉、そして恵まれた自然環境がもたらす良質な水や果実を使って作られたケーキ、寒冷な気候に育まれた市内の11の酒蔵による日本酒などを味わっていただき、佐久市の魅力に触れていただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心から敬意を表すとともに、大会のご成功と選手の皆様のご健闘を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のあいさつ

松本市長 臥雲 義尚

第6回全日本大学軟式野球選抜大会が、全国各地から大勢の選手・関係者の皆さんをお迎えし、松本市で盛大に開催されることを、市民を代表して心から歓迎します。

松本市では、「三ガク都」に象徴される松本らしさをさらにシンカさせ、一人ひとりが豊かさや幸せを実感できるまちの実現に向け、誰もが生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

この大会に臨む皆さんには、仲間とともに積み重ねてきた経験と確かな自信があると思います。大学生活を通して磨いてきたプレーを存分に発揮して、フィールドを盛り上げてください。そして、全国から集う仲間との交流を通じ、新たな刺激や学びを得て、実り多い大会になることを願っています。

全国から参加された皆さんには、松本市の豊かな自然や多彩な文化の魅力を存分に体感し、この地で過ごすひとときを楽しんでください。

大会の開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆さんに深く敬意を表するとともに、選手の皆さんにとって大会の経験と出会いが、それぞれの未来を広げることを期待しています。



歓迎のあいさつ

小諸市長 小泉 俊博

初夏の爽やかな風が吹き抜けるここ長野県小諸市において、全国から精鋭の集う「第6回全日本大学野球軟式野球選抜大会」が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

また、全国各地からお越しいただいた選手、役員、そして応援の皆様を、市民を代表して心から熱烈に歓迎いたします。

このたび、本大会の熱戦の舞台として、我が街の誇る「大栄小諸球場」が選ばれたことは、大変光栄であり大きな喜びです。

白球を追いかけて、熱い情熱を燃やす大学生の皆様の姿は、この街に大いなる活気と感動をもたらしてくれるものと確信しております。

小諸市は、美しい浅間山の麓に広がる、豊かな自然と歴史に彩られた街です。

私たちは日頃から「スポーツを通じた健康で活力あるまちづくり」を推進しております。

大栄小諸球場をはじめとするスポーツ施設の充実に努め、子どもから高齢者までが心地よく汗を流せる環境づくりに力を入れてまいりました。

本大会のように、全国トップレベルの若者が競い合う大会をこの地で開催できることは、地域のスポーツ振興や次世代を担う子どもたちの夢を育む上でも、大変意義深いものです。

さて、選手の皆様には、試合での全力プレーはもちろんのこと、ぜひ小諸の多彩な魅力に触れ、心身ともにリフレッシュしていただきたいと願っております。

小諸市は「温泉のまち」としても知られております。

市内には個性豊かな天然温泉が点在し、浅間山の絶景を望む露天風呂や、明治の文豪・島崎藤村ゆかりの温泉などが日々の疲れを優しく癒やしてくれます。激戦の後は、ぜひ極上の湯に浸かり、戦いの疲れをリセットしてください。

また、小諸は美味しい「食」の宝庫でもあります。冷涼な気候と清らかな水が育んだ名物の「信州そば」は絶品です。

地元の新鮮な高原野菜や、豊かな自然の恵みを取り入れた郷土料理も自慢です。美味しい食事は、明日への大きな活力となるでしょう。

選手諸君におかれましては、日頃の厳しい練習の成果を遺憾なく発揮し、大栄小諸球場の緑の芝生の上で、仲間を信じて悔いのない最高のプレーを見せてください。

皆様の健闘と、本大会の素晴らしい成功を祈念いたします。そして、この小諸での出会いと経験が、皆様にとって生涯忘れられない輝かしい1ページとなりますことを心より願い、歓迎のあいさつといたします。



＜大学軟式野球の未来を担う すべての方へ＞

全日本大学軟式野球連盟

理事長 中村 充治

第6回全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2026の開催にあたり、主催者を代表いたしまして、ご挨拶と御礼を申し上げます。

本大会は、全国各地のリーグ戦やブロック大会を勝ち抜いた代表チームが一堂に会し、日頃の練習の成果を競い合う、大学軟式野球界における夏の大舞台です。令和3年に全国規模の選抜大会としてスタートし、今年で第6回を迎えることとなりました。歴史を重ねる中で、「夏の長野を目指す」ことが、全国の大学軟式野球部員にとって大きな目標の一つとして定着していることを、大変うれしく感じております。

今大会には、全国22連盟の代表チームと、各ブロック大会を経て選抜されたチームを合わせ、29チームが出場します。長野市、中野市、佐久市、松本市、小諸市の各球場を舞台に繰り広げられる熱戦が、大学軟式野球の高い競技性と魅力を広く発信する機会となることを期待しております。

選手の皆さんには、これまで支えてくださったご家族、指導者、大学関係者、そしてチームメートへの感謝を胸に、日頃培ってきた力を存分に発揮していただきたいと思います。勝利を目指して最後まで全力を尽くすことはもちろん、フェアプレーとスポーツマンシップを大切に、相手を尊重する大学生らしい清々しい姿を見せてください。また、全国から集う仲間との出会いや交流を通じて、競技者としてだけでなく、一人の人間としても大きく成長されとともに、この大会が競技人生の大きな節目となることを願っております。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご理解とご尽力を賜りました長野県軟式野球連盟をはじめ、開催自治体、後援団体、ご協賛各社、審判員ならびに大会運営に携わるすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

厳しい暑さが予想されますが、体調管理と安全に十分留意され、本大会が参加される皆様にとって、生涯忘れることのできない実り多き大会となることを祈念し、主催者としてのご挨拶といたします。

第6回 全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2026 in Nagano 大会役員

大会名誉顧問	長塚 将	(全日本大学軟式野球連盟 顧問)
大会会長	友重 竜一	(全日本大学軟式野球連盟 会長)
大会副会長	松坂 繁治	(全日本大学軟式野球連盟 副会長)
	福田 克俊	(全日本大学軟式野球連盟 参与)
大会顧問	山口 宏	(全日本大学軟式野球協会 顧問)
	小山 吉男	(全日本大学軟式野球協会 顧問)
	松岡 弘記	(全日本大学軟式野球協会 会長)
大会委員長	中村 充治	(全日本大学軟式野球連盟 理事長)
大会副委員長	皆巳 幸也	(全日本大学軟式野球連盟 副理事長)
	名古屋 光彦	(全日本大学軟式野球連盟 副理事長)
大会委員	五味 敏雄	(全日本大学軟式野球協会 副理事長)
	児玉 正輝	(全日本大学軟式野球協会 理事)
	奥村 浩正	(全日本大学軟式野球協会 理事)
	三室 陽一	(全日本大学軟式野球協会 監事)
	駒井 叶登、小笠原 理貴、鈴木 勝博、谷村 好洋、栗田 友太郎、相場 奨太、 菊池 安武、和田 駿、奥野 水晶、金光 祐大、八尾坂 治、尾山 武史、 加納 正雄、村上 俊夫、足立 太一、安田 政彦、中村 真梨央、荒谷 健太郎、 田原 晃生、上木 卓、上原 将司 (全日本大学軟式野球連盟 理事)	
	蛭間 栄介、福島 慎一、星 恭平、津田 好成、尾村 匠、クレイ 力、高嶋 勇喜 (全日本大学軟式野球連盟 指名理事)	
	秋定 孝史、西牟田 晃平 (全日本大学軟式野球連盟 監事)	
	鹿野 陽大、刀根 征良、高月 凱士 (全日本大学軟式野球連盟 学生理事)	
競技委員	鹿野 陽大	(全日本大学軟式野球連盟 委員長)
	刀根 征良、高月 凱士	(全日本大学軟式野球連盟 副委員長)
	大崎 拓海、時田 太輝、蘓武 周、川越 輝、鈴木 歩夢、坂田 佑介、松尾 俊太、 丹下 雄太、高橋 尚汰、小林 咲太郎、左近 悠翔、井熊 拓成、森 洋介、 中野 太陽、出葉 凜太郎、久保 裕翔、大土井 海翔、佐藤 貴志、岸本 浩徳 (全日本大学軟式野球連盟 連盟委員)	
	戸田 幸希、高梨 薫 (全日本大学軟式野球連盟 指名連盟委員)	
審判長	臼井 博章	(長野県軟式野球連盟)
審判員	長野県軟式野球連盟 審判員	

第6回 全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2026 in Nagano 実行委員会

委員長	鹿野 陽大	(全日本大学軟式野球連盟 委員長)
副委員長	皆巳 幸也	(全日本大学軟式野球連盟 副理事長)
	戸田 幸希	(全日本大学軟式野球連盟 指名連盟委員)
	高梨 薫	(全日本大学軟式野球連盟 指名連盟委員)
委員	谷村 好洋	(全日本大学軟式野球連盟 総務部長)
	上木 卓	(全日本大学軟式野球連盟 国際事業部長)
	奥野 水晶	(全日本大学軟式野球連盟 渉外部長)
	足立 太一	(全日本大学軟式野球連盟 国内事業部長)
	津田 好成	(全日本大学軟式野球連盟 会計部長)
	和田 駿	(全日本大学軟式野球連盟 広報部長)
	相場 奨太	(全日本大学軟式野球連盟 記録部長)
	鹿野 陽大	(全日本大学軟式野球連盟 学生理事)
	刀根 征良	(全日本大学軟式野球連盟 学生理事)
	高月 凱士	(全日本大学軟式野球連盟 学生理事)
協力	長野県大学軟式野球連盟	

令和8（2026）年度 全日本大学軟式野球選手権大会 全日本大学軟式野球選抜大会

大会規定

全日本大学軟式野球連盟主催の全日本大学軟式野球選手権大会および全日本大学軟式野球選抜大会競技は公認野球規則および本規定に基づいて行われる。

大会規定の構成

1. 大会特別規定
別表 ユニフォーム等に関する規定
2. 競技運営に関する注意事項
3. 試合に関する注意事項
4. 指名打者制度に関する細則
5. 大会期間中の注意事項
6. 選抜大会特例事項
7. 投手の12秒ルールおよび20秒ルールの運用基準
8. 改訂履歴

全日本大学軟式野球連盟

大会特別規定

1. 大会使用球

大会使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟（以下「全軟連」という。）公認M号球とする。

2. 表彰選手

大会の表彰は、以下のとおりとする。

- ・最優秀選手　：優勝チームから1名選出
- ・最優秀投手　：優勝チームの投手から1名選出
- ・優秀選手　　：準優勝チームから1名選出
- ・敢闘賞　　　：3位のチームから1名ずつ選出
- ・特別賞　　　：特に目立った、活躍した選手がいた場合のみ選出

3. 用具

大会で使用する用具および装具は、公認野球規則で規定されるもののほか、次による。

- (1) 金属・ハイコン（複合）バットはJ・S・B・Bのマークをつけた全軟連公認のものに限る。色の制限はない。
- (2) 金属・ハイコン（複合）以外のバットは、一本の木材で作った木製バットのほか、竹片、木片などの接合バットであること。
- (3) 試合に出場する捕手、シートノックに参加する捕手およびブルペン捕手は、安全のためプロテクター、レガーズ、スロットガード付マスク、捕手用ヘルメットを着用すること。なお、捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は使用を禁止する。
- (4) 捕手は、S・GマークおよびJ・S・B・Bマークのついた全軟連公認のマスク、ヘルメット、レガーズおよびプロテクターを必ず装着しなければならない。
- (5) 打者、次打者、走者およびベースコーチは、S・GマークおよびJ・S・B・Bマークのついた全軟連公認のヘルメットを必ず着用しなければならない。ヘルメットは両側か片側にイヤラップのついたものとする。また、ヘルメットに後から顎ガードを取りつけるなど、ヘルメットを不正に改造することを禁止する。
- (6) 打者のエルボーガード、フットガードは大会本部の承認をもって使用するものとする。カラーはメーカーロゴを除き、本体およびバンドは単色（白、黒、紺）とし、メーカーロゴの表示は1箇所までとする。なお、着脱にあたっては、試合の進行を妨げないこと。
- (7) サングラスは大会本部の承認なしに使用できる。

4. ユニフォーム等

ユニフォーム、スパイク等は、公認野球規則で規定されるもののほか、次による。

- (1) 同一チームの監督、コーチ、選手は同色、同形、同意匠の学生らしいユニフォームでなければならない。
- (2) ユニフォーム等の詳細は、別表「ユニフォーム等に関する規定」（2007年12月2日制定）による。
- (3) グランドコートは、走者になった投手およびベースコーチの着用を認める。
- (4) ネックウォーマーは、季節を考慮して着用することができる。
- (5) アームバンド、アームスリーブ（アームサポーター）は、アンダーシャツと同色とし、同色のものが市販されていない場合は、アンダーシャツと同系色の単色とする。
- (6) 投手がアームスリーブ（アームサポーター）を着用する場合は、長袖のアンダーシャツの下に着用するものとする。

- (7) 投手が手首にリストバンド、サポーターなどを使用することを禁止する。なお、負傷で手首に包帯等を巻く必要があるときは、大会本部等の承認が必要である。
- (8) ヘアバンド、インナーキャップ等の頭部への装着物は、黒またはネイビーの単色とする。

5. チーム編成等

- (1) チームは、加盟届に登録がなされている部長1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー（有資格者）1名、選手25名以内で構成される。
- (2) 背番号は、監督30番、コーチ29番、28番（1名の場合は29番を優先）、主将10番とし、選手は1番から99番とする。選手は30番、29番、28番を着用できない。

6. 試合運営

- (1) 試合は9回戦とする。
- (2) 1回戦、2回戦、準々決勝は得点差によるコールドゲームを適用し、5イニング以降10点差、7イニング以降7点差以上でコールドゲーム成立とする。
- (3) 暗黒、降雨などで9回までイニングが進まなくても、1回戦から準々決勝までは5回を終了した時点で、準決勝以降は7回を終了した時点で試合成立とする。これ以前に試合続行不可能となった場合はノーゲームとなり、再試合を行う。試合続行の可否については、大会本部、審判団の協議により判断する。（後攻のチームの得点が、先攻のチームの得点より多い場合は、5回もしくは7回の裏を行わなかったとき、または5回もしくは7回の裏の途中で試合終了が命じられたとしても正式試合となる）
- (4) 9回終了時点で同点の場合は延長戦を行う。延長戦の回数は最長15回までとし、それでも勝敗が決しない場合は、再試合を行う。再試合は原則翌日とする。
- (5) 延長戦において1回戦、2回戦、準々決勝は試合開始後2時間を、準決勝は試合開始後2時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を採用する。

※タイブレーク方式

- 継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者は一塁走者の前の打者として0アウト一塁、二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様、選手の交代は認められる。また、イニング開始時に一塁または二塁走者となる者が投手または捕手である場合は、当該投手または捕手の前の打者による臨時代走を置くことができる。ただし、当該投手または捕手の前の打順の打者が捕手または投手（投手兼任の指名打者も含む。）である場合は、さらにその前の打順の打者を臨時代走とする。なお、臨時代走を置く場合は、代走者2名のうち打順が先の打者を二塁走者、後の打者を一塁走者とする。
- (6) 決勝戦のみ延長戦の時間制限を設けないが、延長戦は最長15回までとし、勝敗が決しない場合は、新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を採用する。
 - (7) ナイター設備のない球場では、日没コールドを適用することがある。
 - (8) 3位決定戦は行わない。準決勝で敗れた2チームを3位とする。

7. 試合放棄

正当な理由なく、試合開始の整列時に9名以上の登録選手が集合しない場合、また放送で呼び出しても主将がメンバー表交換に本部席に現れない場合は試合放棄とみなす。

8. トレーナー

トレーナーの処置は、いかなるときも緊急時のトラブル対応が最優先される。

ユニフォーム等に関する規定

ユニフォーム	
①色、形、意匠	・全員同色、同形、同意匠 ・メーカーの商標表示は禁止 ・メッシュ地と普通生地などは、全員同一とは問わない ・ズボン裾はふくらはぎ上部まで上げ、チームで統一すること ・袖の長さは左右同一にする ・デザイン性より、安全性にこだわること
②背番号	・主将 10番 ・監督 30番 ・コーチ 28番および29番（1名の場合は29番を優先） ・選手は10番、28番、29番および30番以外の 1番から99番まで
③表示	・全員同一の表示を必要とする ・背番号（胸や肩も可）、地域名（都道府県名、市町村名、旧名称など）、大学名（準じるもの）、校章（準じるもの）、個人名（背番号の上にローマ字による姓のみ可。ただし同姓がいる場合は、名の頭文字を入れることも可）の範囲で表示可とする
帽子	・全員同色、同形、同意匠 ・メーカーの商標表示は禁止
アンダーシャツ	・全員同色 ・選手毎の袖の長さの統一は問わない ・メーカーの商標表示は禁止
ストッキング	・全員同色 ・メーカーの商標表示は禁止
スパイク	・全員同色（メーカー統一は問わないが、配色は統一とする）
アクセサリー	・金属、非金属問わず、いかなるものも不可（リストバンド、サポーター等除く）
レッグガード エルボーガード	・大会本部の承認をもって使用すること ・カラーはメーカーロゴを除き、本体およびバンドは（白、黒または紺）の単色 ・メーカーロゴの表示は1箇所まで

競技運営に関する注意事項

1. 主将会議

- (1) 出場チームは、必ず主将1名とマネージャー（または主務）1名の合計2名を主将会議に出席させること。なお、マネージャー（または主務）がいないチームは選手を代わりに出席させること。
- (2) 出席のないチームは原則として大会を棄権したものとみなす。
- (3) 主将会議で説明または決定された事項は、チーム全員に徹底させること。
- (4) 選手登録メンバーの変更は、所定の様式にて主将会議の受付時までに大会本部に提出し、受理されることにより認める。以降の変更はいかなる理由があっても認めない。主将会議にて大会本部に受理された登録の変更内容を確認し、主将会議の終了時をもって選手登録は最終確定とする。また、大会本部は、主将会議で最終確定した全出場チームの選手登録メンバーを主将会議終了後速やかに全出場チームに対して配付する。
- (5) 出場チーム出席者は必ず主将または主将の代理として出席する選手はユニフォーム着用、マネージャー（または主務）は正装で参加すること。

2. 開会式

- (1) 主将会議にて登録確認が済んでいる者（25名以内）は全員出席すること。
- (2) 大会本部の許可なく開会式に出席しない者が出たチームは原則として棄権とみなす。
- (3) 入場行進は主将を先頭に、背の高い順に2列で行進をする。腕の振りは、真下から45度の角度を目安とし、チーム全体で合わせること。
- (4) 迅速な行動をとること。
- (5) 球場のスタンドにおける荷物の置き場は実行委員会より指定するところとする。開会式の間、盗難などの被害に遭わないよう各チームで注意すること。
- (6) 開会式は、スパイク着用を禁止とする。全員アップシューズにて入場行進すること。色やデザインは統一することが望ましい。
- (7) 学校名のプラカードは、マネージャー（または主務）により持つようにする。マネージャー（または主務）のいないチームは、実行委員会より代理者を派遣することとする。
- (8) 登録選手がやむを得ない理由により開会式を欠席する場合は、主将が事前に各加盟会員連盟の理事長に報告し、所定の欠席届を主将会議終了時までに大会本部に提出すること。大会本部が受理し、これを認めた場合のみ欠席を許可する。

3. ダッグアウト

- (1) 組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
 - (2) ベンチ入り有資格者
 - i) 主将会議にて登録確認の済んでいる選手25名以内と、部長1名、監督1名、コーチ2名以内とスコアラー1名、トレーナー1名の計31名以内。なお、スコアラーおよびトレーナーにつき、パンフレットに記載された者であれば、試合毎にベンチに入ることのできる者を変更することができる。
 - ii) ベンチ入りできるトレーナーについては次の要件のいずれかを満たすものとする。
 - ①アスレティックトレーナー資格をもつ者（公的機関による）
 - ②医師（国家資格による）
 - ③柔道整復師、理学療法士、看護師等国家資格による準医療資格をもつ者
 - ④日本赤十字社救急法「救急員養成講習」受講認定をもつ者
- なお、要請があった場合は資格確認ができるよう資格証等を常時携帯すること。

4. グラウンドに入れる者の制限

- (1) ノッカーも必ず選手と同じ服装とすること。
- (2) 練習中およびノック中に、ユニフォームを着用していないもの、登録されていない者はグラウンド内への立ち入りを禁ずる。
- (3) シートノック開始前に限り、次の条件でサイドノックを認める。内野手のサイドノックは、ベンチ前を利用して塁間程度の距離でゴロ打球の捕球練習をすること。外野手のサイドノックは、一塁または三塁後方のファウル領域から、安全な方向に向けてノックを行うこと。ノッカーにボールを渡す選手、または野手からの送球をノッカーの近くで捕球する選手は必ずヘルメットを着用すること。
- (4) シートノック中にダートサークル内に留まる、あるいは出入りする補助員は、大会特別規定 3. 用具で定めるヘルメットを必ず着用すること。ただし、捕手用、打者・走者用は問わない。
- (5) ベンチ入りするスコアラーは正装とする。また、ハイヒールでグラウンド内に入ることを禁止する。
- (6) 各チームのトレーナーは、仕事のしやすい服装（トレーニングウェアなど）を着用すること（ジーンズ等は不可。）。

5. メンバー表の交換および攻守の決定

- (1) 第1試合に出場する両チームの主将は、試合開始予定時刻の1時間前に、当連盟所定のメンバー表4通を持って本部席に集合する。初日は開会式直後に移動がある場合には各球場到着直後に集合するものとする。
- (2) 第2試合以降に出場するチームの主将は、自チームの直前の試合の5回裏終了時に当連盟所定のメンバー表4通を持って本部に集合すること。
- (3) 試合の攻守は大会第1日目の試合は主将会議で、それ以外の試合はメンバー表交換時に（審判または大会本部役員立会いの下）主将のジャンケンによって決定する。
- (4) やむを得ない理由により監督代行をおく場合は、監督代行となるものをメンバー表に明示するとともに、メンバー表交換時にあらかじめ大会本部ならびに審判団に申告すること。
- (5) 選手兼監督がいる場合には、メンバー表交換時にあらかじめ本部ならびに審判団に申告すること。

6. 試合開始前のアップ

- (1) グラウンド周辺でのアップは一般客等に十分配慮して行うこと。
- (2) グラウンド周辺でのバット、ボールの使用を禁止する。
- (3) 第1試合に出場するチームは、外野でのアップ、キャッチボール、トスバッティングを認める。
- (4) 第2試合以降は原則として球場内でのアップ時間はとらない。
- (5) 第2試合以降の出場チームのキャッチボール、トスバッティングはシートノック開始前に限り、ファールグラウンドで行うことを認める。このとき外野の使用を認める場合もある。
- (6) 次の試合の先発バッテリーはメンバー表交換後、競技場内のブルペンを使用することができる。ただし、試合中のチームの使用を優先する。
- (7) グラウンド内には、野球用具以外のあらゆるトレーニング器具類の持ち込みを禁止する。

7. シートノック

- (1) シートノックは後攻チームからそれぞれ7分間ずつ行う。
- (2) 第1試合のシートノックは試合開始予定時刻の30分前より行う。
- (3) 第2試合以降は、原則として前試合終了後準備が出来次第行う。
- (4) 大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。この場合は攻守決定時に通知する。

8. 試合中の注意事項

- (1) 試合中、ブルペンを除きファウルグラウンドでキャッチボールを行うことを禁止とする。ただし、出場中の投手が投球練習を行うため、当該投手と当該投手の投球を受ける者（1名に限る）に限り、ファウルグラウンドでキャッチボールを行うことを認める。
- (2) 試合中のプレーヤーは実際に競技に携わっている者のほかには、ベースコーチ、次打者以外はベンチに入っていないなければならない。
- (3) バットボーイはベンチ内で待機すること。
- (4) ベンチ内への電子機器類（携帯電話、スマートフォン、パソコン、カメラ等の録音・録画機器等）および携帯マイクの持ち込みを禁止する。
- (5) 攻守交代時に、守備につくチームの控え選手が整列して声掛けを行う際は、ベンチの前とし、インフィールドに近づきすぎないこと。
- (6) メガホンはベンチ内に限り1個の使用を認める。
- (7) 試合中、守備側のタイムにおいて、ベンチの指示を伝えるための伝令を許可する。この時、伝令に出られるのはベンチ入りの選手の中の1名とする。

9. 各球場での注意事項

- (1) 球場外でのスパイクの使用を厳禁する。また球場内においても使用を禁止されているところはスパイクで入らないこと。
- (2) 球場周辺でのアップは原則体操、ランニングのみとする。

10. 雨天

- (1) 試合の有無は各自で判断しないこと。試合の有無については大会本部より主将もしくは主務に直接あるいは携帯電話にて連絡する。
- (2) 当日、試合を全て中止する場合と、午前中は見合わせて午後から行う場合があるので、大会本部からの連絡に注意すること。
- (3) 少雨の場合でも、日程の都合上、球場の使用が可能な限りは試合を行う。各チームは独自の判断で延期または遅刻をしてはならない。その場合は、原則として棄権したものとみなす。

11. 日程

- (1) 試合の日程が著しく遅れた場合には、その後の試合を予定以外の会場で行うことがある。
- (2) 天候等の理由により日程が著しく遅れた場合あるいは遅れそうな場合は、会場と試合数を変更することがある。

12. その他

- (1) 大会に関する全事項、大会委員、審判団、競技委員の指示は必ず守り、大会の運営に支障がないように協力する。
- (2) 予測不能な事態が生じた場合、大会委員、審判団、競技委員の判断にゆだねる。
- (3) 何か疑問があれば主将会議時に質問すること。それ以外でのクレームは認めない。本大会の規定においてこの原則は全て適用される。

試合に関する注意事項

1. 選手交代は必ず監督が球審に申し出ること。なお、監督がいない場合は監督代行または主将が必ず代行し、選手交代通告時に試合進行の妨げとならないよう行うこと。
2. 試合開始前に、審判団による用具の確認が行われる。
3. 試合球の交換は審判員が認めたときに限る。
4. 試合のスピード化に関して次のことを遵守すること。
 - (1) 試合はスピーディに運ぶよう努め、1試合の競技時間は90分以内を目標とする。
 - (2) 攻守交替は駆け足で行うこと。
 - (3) 攻守交替の際、守備側は必ず投手板にボールを置いてベンチに戻ること。
 - (4) 投手と捕手について
 - i) 投球を受けた捕手は、その場から速やかに投手に返球すること。
 - ii) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板に触れて投球姿勢をとること。
 - iii) あまりインターバルが長かったり、無用なけん制が多いと審判員が判断したら、遅延行為として投手にボークを課すことがある。
 - iv) 投手の12秒ルールおよび20秒ルールを採用する。詳細は投手の12秒ルールおよび20秒ルールの運用基準を参照すること。
 - (5) 打者について
 - i) 打者は速やかに打席に入ること。
 - ii) 次打者は必ずネクストバッターサークルに入ること。投手であっても必ず実行すること。投手が投球に関する動作（サインを見る姿勢）に入ったら、速やかにスイングをやめ投球を注視すること。
 - iii) 打者はみだりにバッターボックスを外さないこと。また、必ずバッターボックス内でサインを見ること。
 - iv) 打者がタイムを要求するときは、投手が投球動作に入る前でなければならない。また打者は、投手が投球動作に入ったらバッターボックスを出てはならない。
 - v) 打者が四死球で走者となり保護具（レッグガード、エルボーガード、その他）を外すときには、本塁周辺で外し一塁へ向かうこと。
 - (6) 内野手について
 - i) 試合中、内野手間で転送球を行う際は、1回以内とする。
 - ii) 試合進行が遅れている場合には転送球を止めさせることがある。
 - (7) 審判員はスピード化を図るため、打者の頭部へのヒットバイピッチが発生した場合およびプレーヤーが負傷などで治療が長引く場合は、相手チームに伝え、試合に出ている9人の中から代走（臨時代走者）を認めて試合を進行させる。このとき、代走者は、打順の前位のもの（投手および捕手は除くことができる）とする。
5. 指名打者制度について
 - (1) 出場チームは、試合において指名打者制度を使うことができる。
 - (2) 指名打者制度を試合で採用する場合は、別紙「指名打者制度に関する細則」に従うものとする。

6. タイムの制限について

- (1) タイムは1分以内を限度とする。ただし、審判員が必要と認めた場合はこの限りではない。
- (2) タイムは、プレーヤーの要求したときではなく、審判員が宣告したときである。
- (3) 監督等（監督、監督代行、コーチ）が投手の所へ行く回数の制限
監督等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）は、2イニングに1回行くことができる。
- (4) 守備側のタイムの制限
 - i) 捕手または野手が1試合に投手の所へ行ける回数は合計3回以内とする。ただし、投手交代時にサイン等の確認で捕手との打ち合わせのために、準備投球の前または後に少しだけ行う会話は回数に含めない。なお、延長戦（タイブレーク方式を含む）は、2イニングに1回行くことができる。
 - ii) 捕手または野手が投手のところへ行った場合、そこへ監督等が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とするが、投手交代の場合は、監督等のタイムの回数についてのみ含めない。
 - iii) 選手兼監督がいる場合は、その選手が投手の所へ行けば野手としての1度に数えるが、協議があまり長引けば、監督等が投手の所へ1度行ったこととし通告する。
- (5) 攻撃側のタイムの制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦（タイブレークを含む）は2イニングに1回とする。

7. ストライク、ボール、アウト、セーフ、ハーフスイング、フェア、ファールなどの判定に対する抗議は認めず厳禁とする。審判員の判定が誤って下された疑いがあるときには、監督または主将が判定の確認を求めることができる。

8. 球審が下したハーフスイングの判定には抗議できないが、球審がボールと判定したときのみ、捕手が球審に対し、振ったか否かの確認を求めることができる。

9. 試合中の禁止事項

- (1) 足を高く上げてスライディングすること。なお、これが守備妨害になったと審判員が認める場合は、走者をアウトとする。
- (2) プレーヤーが塁上に腰をおろすこと。
- (3) プレーヤーおよび審判員に対する野次。
- (4) プレーヤーおよび審判員に手をあげること。
- (5) ガム等を噛むこと。

10. 投手の投球フォームについて

- (1) 投手は、審判団から注意を受けた場合やバークを宣告された場合はそれに従い、投球フォームを改めること。
- (2) セットポジションから投球する投手は、投球するまでに必ずボールを両手で保持したことを明らかにしなければならない。その保持に際しては、身体の前側ならどこで保持してもよいが、同一打者のときは同じ位置でなければならない。ただし、打者によって止める位置を変えることは構わない。

11. 故意四球について

故意四球（いわゆる敬遠）をするときは、実際に投手が投球し、打者が打撃中にボール4個を得ることとする。ただし、審判団が申告での故意四球を認めた場合はこの限りではない。申告敬遠は守備側のチームの監督が申告するものとし、監督がいない場合は監督代行または主将が申告するものとする。

指名打者制度に関する細則

1. 試合において指名打者制度を採用する場合は、公認野球規則 5.11 指名打者 (a) 項および (b) 項に従うものとする。

(制定：2023年6月25日、施行：2023年8月27日)

大会期間中の注意事項

1. 大会参加に際しては、「大会特別規定」「競技運営に関する注意事項」「試合に関する注意事項」「大会期間中の注意事項」等をよく読んで、全部員に周知徹底し、これらを遵守すること。
2. 大学軟式野球競技者として、常に規律規範を守る行動を心掛け、試合だけでなく、移動中、宿舎やその他の行動についても迷惑などかからぬよう十分注意すること。
3. 試合中の暴力行為、暴言に関しては、当該選手の退場および当該試合没収の処分に処することがある。また、審判員の下した判断に対する抗議は、試合運営に支障をきたすと審判員および大会本部が判断した場合、審判員および大会本部は上記の処置をとることができる。
4. 大会中の各会場への移動は、遅刻のないようにする。
5. 大会中のユニフォーム着用中での喫煙を厳禁する。また、観客その他関係者が多い球場周辺においての喫煙は、ユニフォームを着用していなくても禁止とする。大会期間中は代表校の一員であることを自覚し、宿舎等での生活においても、周囲に迷惑のかかるような喫煙は厳に慎み、喫煙マナーを守ること。
6. 大会中の各会場の本部席、ならびに記録室等への立ち入りは、関係者以外禁止とする。なお、関係者とは、大会役員（審判員を含む）、実行委員会スタッフ、報道関係者を指す。ただし、大会本部の許可があり、運営上必要な場合はこの限りではない。
7. カメラマン席への立ち入りは、関係者以外禁止とする。ただし、大会本部の許可がある場合はこの限りではない。
8. 大学軟式野球競技者として相応しくない行為があった場合は、大会役員および審判員等から注意する。この場合は、当該選手ならびにチームは注意、指示に従わなければならない。
9. 全てにおいて迅速に行動すること。
10. 各自で出したゴミは責任を持って持ち帰ること。弁当のゴミについては、各大学でまとめて所定の位置におくこと。
11. ゴミ、タバコに関する規律が守られてない大学に対して注意を促しても従わなかった場合、何らかのペナルティーを与える。
12. 貴重品の管理は十分注意すること。

選抜大会特例事項

1. 試合開始時刻は原則トーナメント表に記載されている時刻とする。ただし、第3試合はその限りではない。
2. 天候不良等で試合開始時刻に変更が生じた場合は、その後の試合は開始時刻が前後する可能性がある。
3. 第2試合に出場する両チームがグラウンドに入れる時間は第1試合と同様の時刻（試合開始70分前）とする。
4. 第2試合のメンバー表交換は試合開始予定時刻の1時間前に行うこととし、大会規定 競技運営に関する注意事項5（2）は適用しない。
5. 第2試合のシートノックは試合開始予定時刻の30分前より行うこととし、大会規定 競技運営に関する注意事項7（3）は適用しない。

投手の12秒ルールおよび20秒ルールの運用基準

1. 計測

計測は二塁塁審がストップウォッチを持って行う。

2. 12秒ルールの適用

- (1) 走者がいない場合に適用する。
- (2) 12秒の計測は、投手がボールを所持し、打者がバッターボックスに入り、投手に面した時に始まり、投手が投球に関する動作を開始した時に終わる。
- (3) 12秒を経過したとき、二塁塁審は「タイム」を宣告し、頭上で大きく手首を叩いて球審に12秒が経過したことを知らせる。
※二塁塁審のタイムの宣告と同時にボールデッドとなる。
※タイムの宣告にもかかわらず投手が投球した以降のプレイは無効とする。
- (4) 二塁塁審の知らせを受けた球審は、ボールを宣告する。その際、球審は投手および守備側の監督に12秒ルールを適用したことを告げる。

3. 20秒ルールの適用

- (1) 走者がいる場合に適用する。
- (2) 20秒の計測は、次の時に始まり、いずれの場合も投手が投球に関連する動作を開始した時に終わる。
 - A) イニングが始まる時やボールデッドになったときは、球審がプレイを宣告した時。
 - B) ボールインプレイの状態、新しい打者が打撃を開始するときや、打者がバッターボックスの外に出ざるを得なくなったときなど、投手がボールを所持し、打者がバッターボックスに入り、投手に面した時。
 - C) ボールインプレイの状態、打者がバッターボックス内で打撃を継続しているときは、投手が捕手や他の野手からボールを受け取った時。
- (3) 20秒を経過したとき、二塁塁審は「タイム」を宣告し、頭上で大きく手首を叩いて球審に20秒が経過したことを知らせる。
※二塁塁審のタイムの宣告と同時にボールデッドとなる。
※タイムの宣告にもかかわらず投手が投球した以降のプレイは無効とする。
- (4) 二塁塁審の知らせを受けた球審は、ボールを宣告する。その際、球審は投手および守備側の監督に20秒ルールを適用したことを告げる。
- (5) 投手が塁に牽制球を送球したときは、20秒の計測をリセットする。
※投手板を外しただけのときや偽投のときは、計測を継続する。
※送りバントのケースなど、捕手が内野手にサインを出している間も、計測は継続する。

4. 本運用基準の適用について

本運用基準は、本連盟が運営する全ての大会に適用するが、大会を担当する審判団との事前協議の結果、一部または全部を適用しないことがある。本運用基準と異なる内容で適用する場合は、当該大会の主将会議において周知徹底するものとする。

以上

(制定、施行：2026年 6月21日)

改訂履歴

2017年 6月25日	全面改訂
2018年 6月24日	・大会使用球の規定変更 ・エルボーガード、フットガードの規定変更（使用条件明示） ・選手登録変更の方法の規定変更（前々日正午までに提出） ・ファールグラウンドでのキャッチボール禁止規定の追加 ・2段モーションの禁止規定の追加 ・故意四球の規定追加
2021年 8月 1日	・大会名称の変更 ・用語の記載表現の統一 ・アームスリーブに関する規定の追加
2022年 7月15日	・用具（捕手用マスク、打者・走者用ヘルメット）の規定変更 ・ヘアバンド、ヘアキャップに関する規定の追加 ・投手の2段モーションに関する規定の削除 ・その他形式的な条文見直し
2023年 6月25日	・捕手の臨時代走免除にかかる規定見直し ・用具、ユニフォームにかかる規定の整理および商標表示にかかる規定の厳格化 ・選手登録期限にかかる規定の見直し ・試合前のシートノック中の補助者にかかる規定の新設 ・ファウルグラウンドでの投球練習にかかる規定の新設 ・ベンチ内への電子機器持ち込み禁止の厳格化 ・指名打者にかかる規定の新設 ・その他形式的な条文見直し
2023年10月15日	・先発バッテリーがブルペンを使用できるタイミングの見直し ・別紙「指名打者制度に関する細則」の追加
2024年 6月23日	・ノッカーの服装に関する規定の見直し ・次打者のネクストバッタースサークル内での所作に関する規定見直し
2025年 7月20日	・主将会議出席者の服装に関する規定の見直し ・サイドノックに関する規定の新設 ・メンバー表に関する規定の見直し ・選抜大会特例事項の追加
2026年 6月21日	・用具（ヘルメット）に関する規定の一部見直し ・タイブレーク方式のイニング開始時の臨時代走に関する規定の追加 ・レッグガードおよびエルボーガードに関する規定の追加 ・サイドノックに関する規定の見直し ・守備側のタイムの制限に関する規定の一部削除 ・投手の投球フォームに関する規定の追加 ・投手の12秒ルールおよび20秒ルールの運用基準の新設 ・その他表現等の軽微な修正

第6回 全日本大学軟式野球選抜大会 実施要項

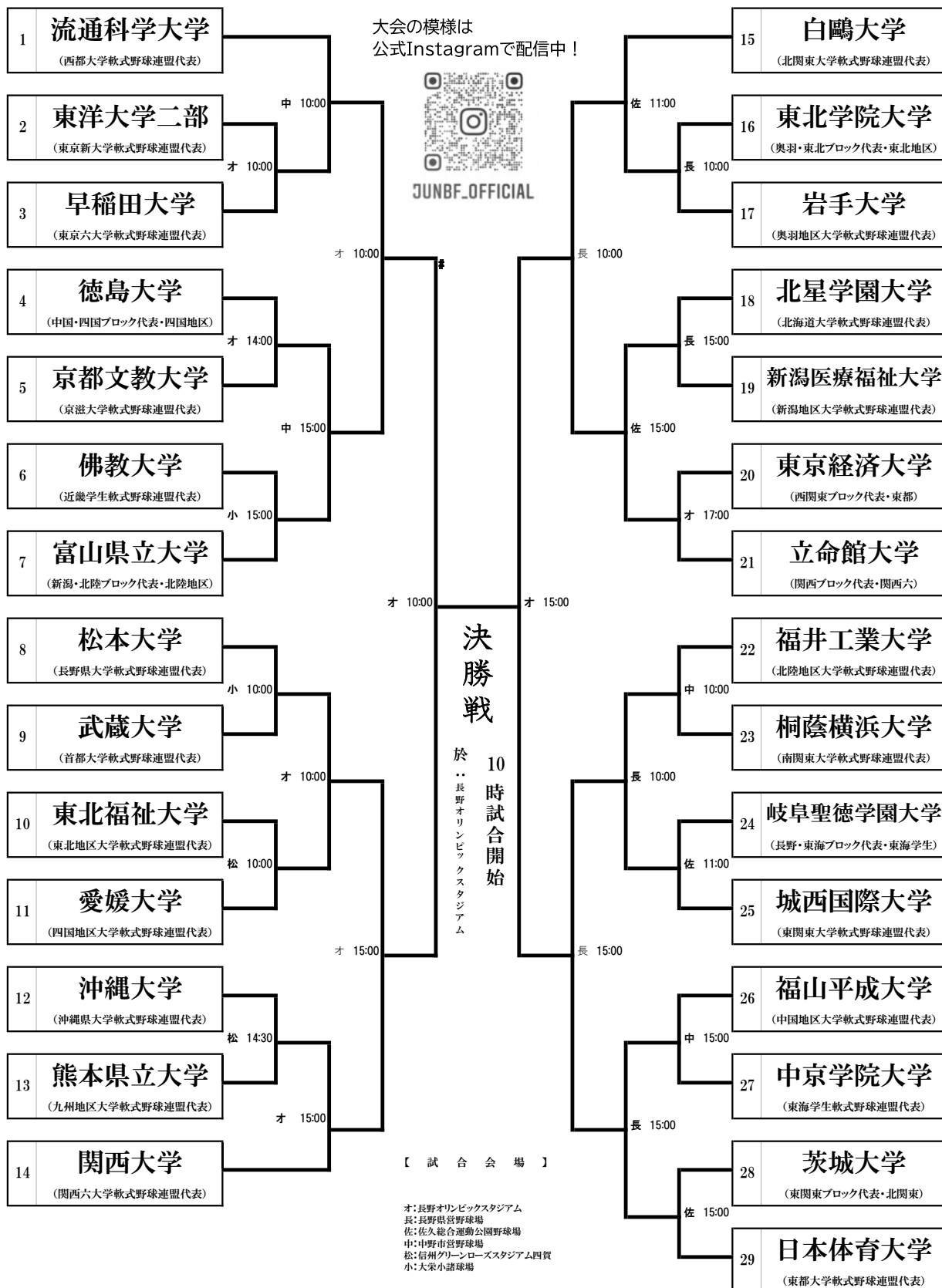
令和8年6月21日

1. 主催 全日本大学軟式野球連盟
2. 後援 スポーツ庁、長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会、中野市、中野市教育委員会、佐久市、佐久市教育委員会、松本市、松本市教育委員会、小諸市、小諸市教育委員会、公益財団法人全日本軟式野球連盟、長野県軟式野球連盟、全日本大学軟式野球協会、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、ABN長野朝日放送、INC長野ケーブルテレビ、公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
3. 事務局 〒380-0835 長野市大字南長野新田町1485-1 もんぜんぶら座4F
公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー内
4. 協賛 ナガセケンコー株式会社、株式会社共同写真企画、ゼット株式会社、キリンビバレッジ株式会社
J Aながの、J Aグリーン長野、株式会社近畿日本ツーリスト
FoseKift 株式会社（予定、順不同）
5. 会期 令和8年8月16日(日) から21日(金)まで ※ 雨天順延、予備日8月22日(土)
6. 会場 長野市／南長野運動公園野球場（長野オリンピックスタジアム）、長野県営野球場、
中野市／中野市営野球場、佐久市／佐久総合運動公園野球場、
松本市／信州グリーンローズスタジアム四賀、小諸市／大栄小諸球場
7. 参加範囲 全日本大学軟式野球連盟に所属する22連盟から代表1チーム、および各ブロック大会で選抜された
7チームの合計29チーム
8. 参加資格 出場チームは下記の条件を満たしていること
Ⅰ. 令和8年（2026年）5月31日現在、全日本大学軟式野球連盟に加盟している
（加盟届の提出及び加盟費の納金がともに完了している）
Ⅱ. 各連盟が主催する地方大会もしくは各ブロック大会を経て選出されている
Ⅲ. Ⅰの加盟届にて登録がなされている部長（1名）、監督（1名）、コーチ（2名）、
トレーナー（1名）、選手（25名）以内で構成されている
Ⅳ. 背番号は監督30、コーチ29・28（29を優先）、主将10、選手は1～99を付けていること
上記8を満たしたチームは、実行委員会が配付する『参加申込書』『(パンフレット用)登録用紙』
及び『宿泊交通費等申込書』を提出し、参加費を振り込むこと
※令和8年7月4日（土）必着
※振込の際には振込名を大学名にし、1大学ずつ振り込み、7月25日までに着金のこと。
ゆうちょ銀行 店名〇一八（ゼロイチハチ）店番号018 口座番号8948638
口座名 全日本大学軟式野球連盟 ゼンニホンダイガクナンシキヤキュウレンメイ
10. 参加費 1チーム60,000円
11. 試合組合せ 6月20日に開催予定の全日本大学軟式野球連盟学生委員会にて抽選により決定する
※天候等により組合せ表に記載された試合会場及び開始時刻が変更となる場合がある
※22日を予備日にあてがうが、順延が2日にわたる場合はダブルヘッダーで試合を行う可能性がある
12. 主将会議 日時：令和8年8月16日(日) 15:00～ 場所：長野オリンピックスタジアム会議室
※主将1名に加え、ベンチ入りが予想される構成員から1名(部長・監督・コーチ・トレーナーを除く)、
合計2名出席すること
※『大会参加マニュアル』を熟読・持参し、参加するものとする
※事務連絡(旅行代理店等) 15:30～16:00
13. 開会式 日時：令和8年8月16日(日) 16:30～ 場所：長野オリンピックスタジアム
※『大会参加マニュアル』を熟読したうえで大会参加するものとする
14. 使用球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認M号球
15. 大会規則 2026年公認野球規則及び本連盟が定める全日本大学軟式野球選手権大会・選抜大会の大会規定を適用する
16. 大会規律 規則違反については、全日本大学軟式野球連盟規約に基づき処罰する
17. 表彰 全日本大学軟式野球選手権大会・選抜大会の大会規定に基づき表彰する
18. 交通 ①長野県までの往復交通は、大会実行委員会が指定する旅行代理店を利用するなどして、各出場チームが
責任を持って手配するものとする（往復移動中は正装またはそれに準ずるものを着用し
移動するものとする）
② 宿泊施設から野球場までの移動は、原則として大会実行委員会所定手段の利用とする
③ ①②いずれも大学所有や民間の貸切バスをチームの責任で使用する場合はこの限りでない
ただし、事前に大会実行委員会あて書面にてその旨を連絡し、許可を得なければならない
19. 宿泊 現地での宿泊は大会実行委員会が指定する旅行代理店及び宿泊施設を通して各出場チームが手配する
ものとし、一切の責任は当該チームが負うものとする
ベンチ入り構成員は主将会議（開会式）当日からの宿泊および試合当日の宿泊を義務とするが、
決勝戦（閉会式）の日に限り、キャンセル料100%の支払条件で当日朝のチェックアウトを認める
20. その他 出場チームの学生が大会参加に際して自家用車やレンタカー等を使用することを禁止する
（出場チームの教職員またはそれに準ずる者が運転するバス等を除く）
出場チームは参加にあたって別途配信されている注意事項を熟読の上厳守すること

第6回全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2026 in Nagano

令和 8年 8月 16日(日)～ 21日(金) ※雨天順延の可能性有
開会式:16日(日)16時半より / 閉会式:21日(金)決勝戦終了後 いずれも長野オリンピックスタジアムにて

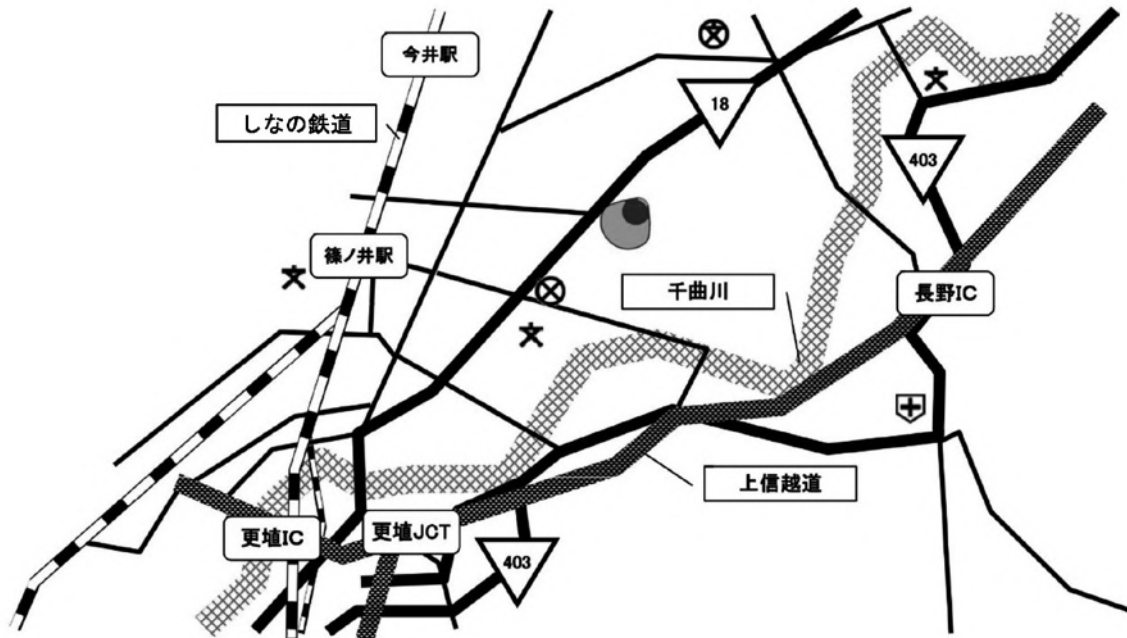
17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	20 (木)	19 (水)	18 (火)	17 (月)
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------



第6回全日本大学軟式野球選抜大会 球場案内

長野オリンピックスタジアム

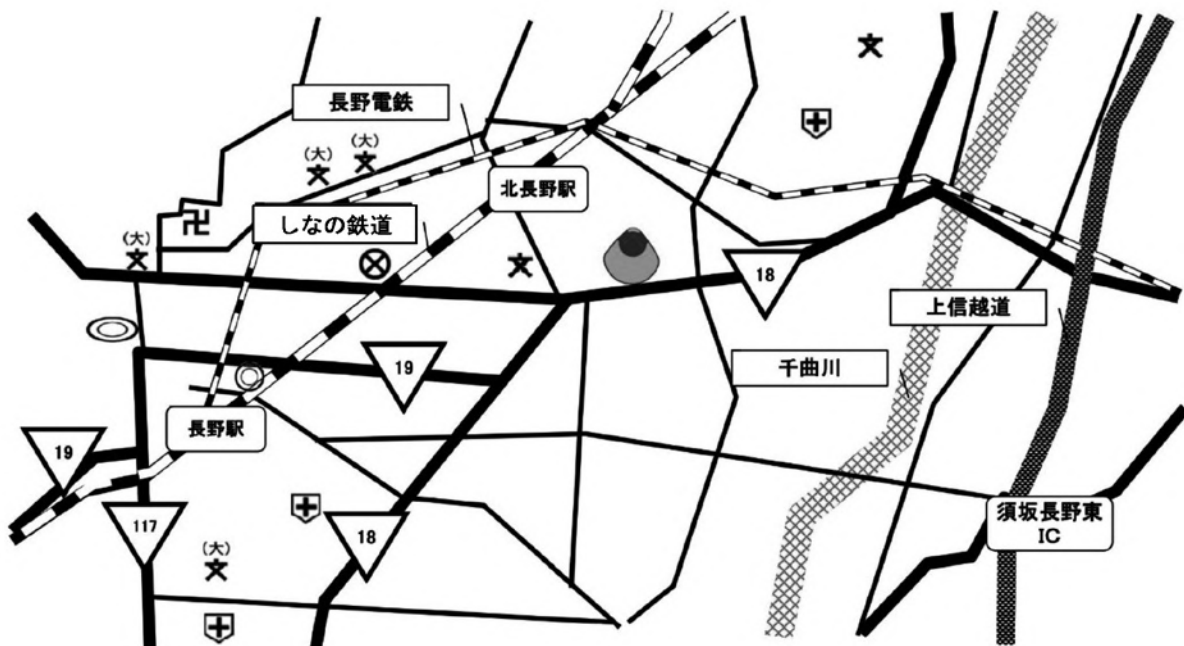
長野市篠ノ井東福寺320 南長野運動公園
TEL:026-293-4062



JR篠ノ井駅より3.3km 車で11分 / 篠ノ井ぐるりん号 南長野運動公園下車 ※平日のみ

長野県営野球場

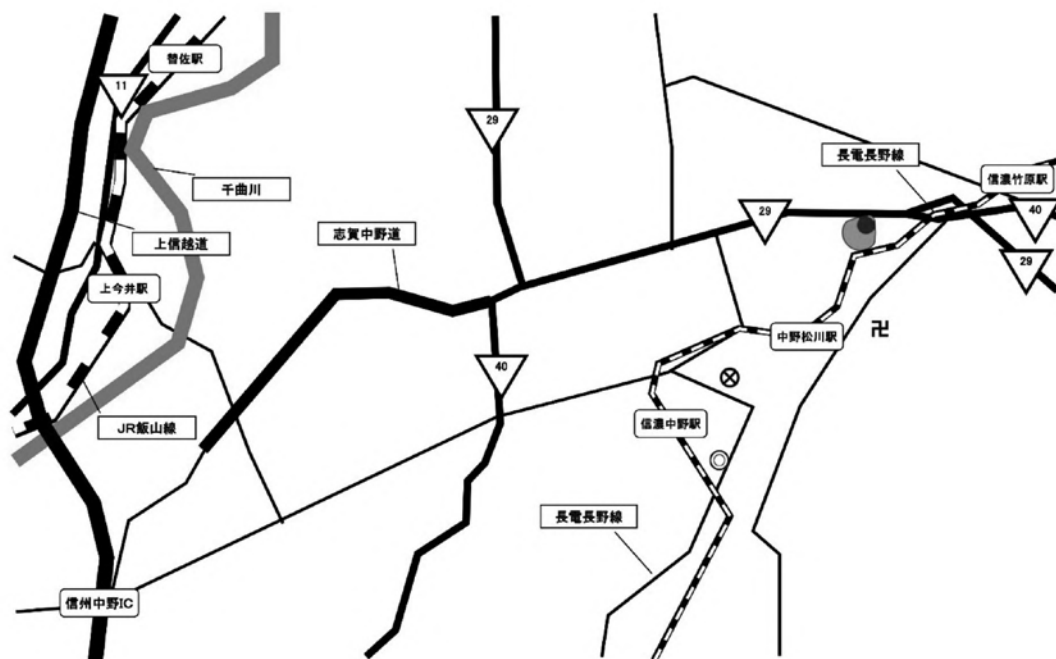
長野市大字東和田587 長野運動公園
TEL:026-244-0117



JR北長野駅より1.5km 車で6分 / 長野電鉄バス 長野駅善光寺口より運動公園線、運動公園下車

中野市宮野球場

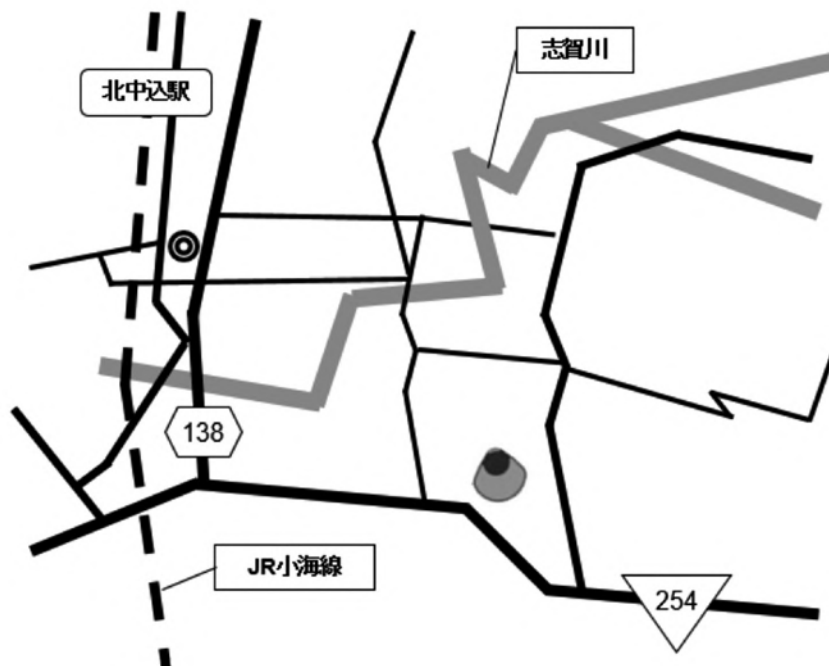
中野市一本木522
TEL:0269-26-3572



長電長野線 信州中野駅より3.2km 車で10分 / 長電長野線 中野松川駅から徒歩10分

佐久総合運動公園野球場

長野県佐久市平賀3011
TEL:0267-63-7101



北中込駅より4.1km 車で10分

信州グリーンローズスタジアム四賀

長野県松本市会田2920
TEL:0263-64-2060



明科駅より車で15分

大栄小諸球場

長野県小諸市甲1856
TEL:0267-22-1700



東小諸駅より徒歩15分

第6回全日本大学軟式野球選抜大会

SUMMER CUP 2026 in Nagano

出場校一覧

◎地区連盟代表

〈北海道地区大学軟式野球連盟〉	北 星 学 園 大 学	000
〈奥羽地区大学軟式野球連盟〉	岩 手 大 学	000
〈東北地区大学軟式野球連盟〉	東 北 福 祉 大 学	000
〈東京六大学軟式野球連盟〉	早 稲 田 大 学	000
〈首都大学軟式野球連盟〉	武 蔵 大 学	000
〈東都大学軟式野球連盟〉	日 本 体 育 大 学	000
〈北関東大学軟式野球連盟〉	白 鷗 大 学	000
〈東関東大学軟式野球連盟〉	城 西 国 際 大 学	000
〈南関東大学軟式野球連盟〉	桐 蔭 横 浜 大 学	000
〈東京新大学軟式野球連盟〉	東 洋 大 学 二 部	000
〈新潟地区大学軟式野球連盟〉	新 潟 医 療 福 祉 大 学	000
〈長野県大学軟式野球連盟〉	松 本 大 学	000
〈北陸地区大学軟式野球連盟〉	福 井 工 業 大 学	000
〈東海学生軟式野球連盟〉	中 京 学 院 大 学	000
〈近畿学生軟式野球連盟〉	佛 教 大 学	000
〈関西六大学軟式野球連盟〉	関 西 大 学	000
〈西都大学軟式野球連盟〉	流 通 科 学 大 学	000
〈京滋大学軟式野球連盟〉	京 都 文 教 大 学	000
〈中国地区大学軟式野球連盟〉	福 山 平 成 大 学	000
〈四国地区大学軟式野球連盟〉	愛 媛 大 学	000
〈九州地区大学軟式野球連盟〉	熊 本 県 立 大 学	000
〈沖縄県大学軟式野球連盟〉	沖 縄 大 学	000

◎ブロック代表

〈奥羽・東北ブロック〉	東 北 学 院 大 学	000
〈西 関 東 ブ ロ ッ ク〉	東 京 経 済 大 学	000
〈東 関 東 ブ ロ ッ ク〉	茨 城 大 学	000
〈新潟・北陸ブロック〉	富 山 県 立 大 学	000
〈長野・東海ブロック〉	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学	000
〈関 西 ブ ロ ッ ク〉	立 命 館 大 学	000
〈中国・四国ブロック〉	徳 島 大 学	000

北星学園大学

北海道地区大学軟式野球連盟

2年連続 2回目

北海道札幌市厚別区大谷地西2-3-1

部長	山本 耕太	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	武田 勇斗	タケダ ハヤト	3	文	札幌静修
2	6	五十嵐 良太郎	イガラシリョウタロウ	4	経済	札幌第一
3	11	柏山 幹太	カシヤマ カンタ	4	経済	札幌大谷
4	27	対馬 陸	ツシマ リク	4	社会福祉	札幌北陵
5	51	永嶋 大揮	エイジマ ダイキ	4	経済	石狩南
6	60	佐藤 悠	サトウ ユウ	4	経済	札幌国際情報
7	21	小林 歩夢	コバヤシ アユム	4	経済	石狩南
8	77	長井 翔洋	ナガイ ショウヨウ	4	経済	江別
9	20	増田 光希	マスダ コウキ	4	経済	江別
10	—	高野 涼太	タカノ リョウタ	4	経済	北広島
11	—	長田 紗依	ナガタ サエ	4	文	千歳
12	—	宗片 日々暖	ムネカタ ヒビナ	4	文	北見北斗
13	23	桐野 真颯	キリノ マサキ	3	経済	札幌創成
14	66	高橋 大空	タカハシ ソラ	3	経済	稚内大谷
15	13	木元 碧尉	キモト アオイ	3	文	札幌大谷
16	16	笹原 宏葵	ササハラ ヒロキ	2	経済	札幌北陵
17	9	佐藤 祐斗	サトウ ヒロト	2	社会福祉	恵庭北
18	25	岡村 京平	オカムラ キョウヘイ	2	経済	札幌平岡
19	18	木村 駿斗	キムラ ハヤト	2	経済	恵庭南
20	29	桑原 大樹	クワバラ ダイキ	2	経済	北星学園大学附属
21	14	齋藤 翔空	サイトウ カケル	2	経済	札幌平岡
22	17	諏訪 大斗	スワ ダイト	2	社会福祉	函館西
23	12	高山 大夢	タカヤマ ヒロム	2	経済	札幌平岡
24	1	竹田 伊吹	タケダ イブキ	2	経済	札幌大谷
25	3	耳浦 和摩	ミミウラ カズマ	2	文	土別翔雲
26	99	森脇 諒輔	モリワキ リョウスケ	2	経済	札幌西陵
27	78	横谷 航	ヨコヤ ワタル	2	経済	札幌平岡
28	33	横山 太一	ヨコヤマ タイチ	2	経済	札幌大谷
29	2	古関 空	コセキ ソラ	2	経済	北海道科学大学
30	58	佐藤 羽	サトウ ツバサ	2	経済	北海道科学大学
31	55	馬場 翔大	ババ ショウダイ	2	経済	千歳
32	—	小山 紗依	コヤマ サヨリ	2	文	札幌新川
33	—	竹村 悠那	タケムラ ユナ	2	文	札幌旭丘
34	15	竹田 璃人	タケダ リント	1	経済	札幌西陵
35	19	長山 碧空	ナガヤマ ソラ	1	経済	北海道科学大学
36	54	松原 光心朗	マツバラ コウシロウ	1	国際	湧別
37	7	溝口 陸	ミゾグチ リク	1	経済	札幌創成
38	5	山村 瑞貴	ヤマムラ ミズキ	1	社会福祉	札幌北斗
39	4	渡邊 日悠河	ワタナベ ヒュウガ	1	文	札幌日本大学
40	80	阿部 将大	アベ ショウタ	1	社会福祉	登別明日
41	92	栃木 琉斗	トチギ リュウト	1	文	札幌稲雲
42	53	原田 惇平	ハラダ ジュンペイ	1	文	札幌白石
43	37	安井 佑太郎	ヤスイ ユウタロウ	1	経済	札幌白石
44	—	齋藤 彩乃	サイトウ アヤノ	1	国際	札幌創成
45	—	竹内 ひなた	タケウチ ヒナタ	1	文	札幌創成
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	4	勝	1	敗	分
●	0 - 1×	対	北海学園大学			
○	9 - 0	対	北海道教育大学札幌校			
○	9 - 3	対	北翔大学			
○	8 - 0	対	北海道医療大学			
○	7 - 5	対	札幌国際大学			
	—	対				
	—	対				

—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 6	五十嵐 良太郎	24 ⅓	2	1	1.85
2 11	柏山 幹太	4	0	0	4.50
3 33	横山 太一	10 ⅔	2	0	0.84
4					
5					

試合数 5	打率 0.268	本塁打 1
犠打 2	盗塁 6	失策 10
防御率 1.85	奪三振 24	盗塁阻止率 0.00

連盟からのコメント

春季大会の開催においてご尽力いただいた方々皆様に北海道地区大学軟式野球連盟一同、厚く御礼申し上げます。

そして現地に足を運んでくださった方々、たくさんのあたたかい応援のコメントをいただいた方々にも厚く御礼申し上げます。今回、代表校の北星学園大学はエースの五十嵐を中心とした強力な投手陣で相手の攻撃を抑え、打撃では打ち出したら止まらない強力打線で他のチームを圧倒しました。春季大会の勢いを維持しての全国制覇を期待しています。

北海道地区大学軟式野球連盟 委員長 大崎拓海

チームからのコメント

はじめに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

2年連続の出場となる本大会では、エース五十嵐を擁する投手陣と爆発力のある打線を武器に、昨年よりも磨きをかけた野球で最後まで戦い抜きます。

主将 武田勇斗

岩手大学

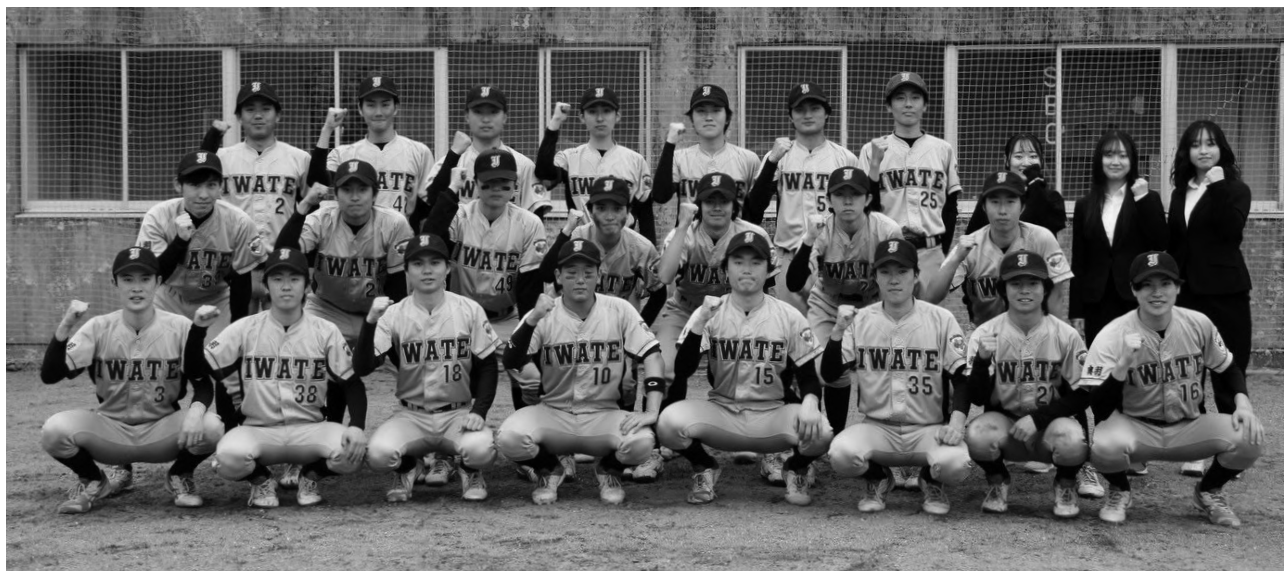
奥羽地区大学軟式野球連盟

3年連続 3回目

岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

部長	村上 武	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	秋元 勇真	アキモト ユウマ	3	理工	烏山
2	15	加賀 駿太	カガ シュンタ	3	農	横手
3	60	飯塚 麟	イイズカ リン	3	農	春日部共栄
4	2	岩渕 隼翔	イワブチ ハヤト	3	理工	一関第一
5	35	黒崎 友稀	クロサキ ユウキ	3	理工	栃木翔南
6	27	茂内 誉高	シゲナイ ホダカ	3	教育	横手
7	3	根子 雄成	ネコ ユウセイ	3	理工	花巻北
8	39	曲山 玲以	マガリヤマ レイ	3	理工	安積
9	55	今野 涼太	コンノ リョウタ	3	教育	福島東
10	77	齊藤 駿太	サイトウ シュンタ	3	教育	横手
11	8	齊藤 陸斗	サイトウ リクト	3	教育	五所川原
12	18	田上 晴喜	タガミ ハルキ	3	農	盛岡市立
13	16	長谷山 大智	ハセヤマ タイチ	3	理工	横手
14	38	藤村 桜成	フジムラ オウセイ	3	教育	盛岡第三
15	—	千坂 美和	チサカ ミオ	3	教育	富谷
16	43	佐藤 陸大	サトウ リクト	2	理工	水沢
17	42	板橋 暖人	イタバシ ヒナト	2	人文社会科	花巻北
18	99	加藤 卓也	カトウ タクヤ	2	農	東北学院
19	1	菊川 優輝	キクカワ ユウキ	2	農	一関第一
20	33	武田 悠希	タケダ ユウキ	2	理工	泉館山
21	72	船津 稔也	フナツ トシヤ	2	理工	相馬
22	19	吉田 啓太	ヨシダ ケイタ	2	理工	佐倉
23	24	及川 颯大	オイカワ ソウタ	2	理工	水沢
24	5	鎌田 悠汰	カマダ ユウタ	2	教育	黒沢尻北
25	49	菅野 颯太	カンノ ソウタ	2	理工	泉館山
26	22	高橋 凜	タカハシ リン	2	人文社会科	新庄北
27	—	鎌田 もも	カマダ モモ	2	人文社会科	一関第一
28	—	柴田 葵	シバタ アオイ	2	人文社会科	湯沢
29	67	菊地 太陽	キクチ タイヨウ	1	理工	水沢
30	21	佐々木 瞭和	ササキ リョウワ	1	理工	秋田
31	11	高田 浩太郎	タカダ コウタロウ	1	教育	大曲
32	25	中原 快	ナカハラ カイ	1	理工	札幌光星
33	69	星野 志陽	ホシノ ショウ	1	理工	花巻北
34	4	高橋 佳祐	タカハシ ケイスケ	1	理工	盛岡第一
35	20	菅原 優吾	スガワラ ユウゴ	1	理工	仙台育英
36	6	藤澤 亮介	フジサワ リョウスケ	1	人文社会科	盛岡北
37	50	荒岡 央	アラオカ ヒロ	1	理工	三本木
38	51	梅木 蒼波	ウメキ セイハ	1	農学部	酒田東
39	87	千葉 悠平	チバ ユウヘイ	1	人文社会科	一関第一
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4 戦 4 勝 0 敗 0 分

○	8	—	1	対	秋田大学
○	2	—	0	対	弘前大学
○	15	—	1	対	八戸工業大学
○	7	—	1	対	北里大学獣医学部
		—		対	
		—		対	
		—		対	

	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 15	加賀 駿太	13	2	0	0.69
2 25	八巻 雄	5	1	0	0.00
3 10	秋元 勇真	4	0	0	2.25
4 27	茂内 誉高	3	0	0	3.00
5 22	高橋 凜	3	0	0	0.00
6 16	長谷山 大智	1	0	0	0.00
7 43	佐藤 陸大	1	0	0	0.00

試合数 4	打率 0.302	本塁打 1
犠打 1	盗塁 21	失策 1
防御率 0.91	奪三振 21	盗塁阻止率 0.00

連盟からのコメント

岩手大学は自慢の攻撃力を生かしつつ、接戦での粘り強さを発揮し見事代表を勝ち取りました。全国大会では奥羽地区の代表として、最後まで自分たちの野球を貫き、戦ってきてほしいと思います。本大会開催にあたりご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

奥羽地区理事長 小笠原理貴

岩手大学はすべての際において全力を尽くし、勝ちにこだわりつつ、野球を楽しむチームであるように感じられました。持ち前の「繋ぐ野球」を全国大会でも存分に発揮していただきたいです。

奥羽地区学生委員長 時田太輝

チームからのコメント

今年は投手を中心とした堅い守備が持ち味のチームです。選手同士が積極的にコミュニケーションを取り、連携の取れたプレーを発揮しています。昨年度は2回戦で敗れたため、その悔しさを胸に日々の練習やリーグ戦を通してチーム力を磨いてきました。これまで支えてくださった多くの方々への感謝を忘れず、岩だらしさを全開に全力で全国大会に挑みます。

主将 秋元 勇真

東北福祉大学

東北地区大学軟式野球連盟

3年連続 4回目

宮城県仙台市青葉区国見1丁目8-1

部長	阿部 靖彦	監督	富樫 純平	コーチ	繁田 悠斗	コーチ	高部 凜	トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	-------	-----	------	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	福島 綾人	フクシマ アヤト	4	総合福祉	作新学院
2	11	中野 泰智	ナカノ タイチ	4	総合福祉	鶴岡東
3	2	大場 悠汰	オオバ ユウタ	4	総合福祉	東北
4	51	谷地 宏太	ヤチ コウタ	4	総合福祉	鶴岡東
5	—	沓澤 綸	クツザワ リン	4	総合福祉	湯沢
6	—	水本 華蓮	ミズモト カレン	4	教育	福島成蹊
7	90	及川 諒也	オイカワ マサヤ	3	総合福祉	花巻東
8	1	佐々木 唯天	ササキ ユイマ	3	総合福祉	花巻東
9	13	伊藤 海琉	イトウ カイリ	3	総合福祉	利府
10	8	大沼 琉玖	オオヌマ リュウク	3	総合福祉	作新学院
11	3	伊部 隼太	イベ シュンタ	3	総合福祉	聖和学園
12	39	大槻 周也	オオツキ シュウヤ	3	健康科学	塩釜
13	5	佐々木 新太	ササキ アラタ	3	総合福祉	利府
14	66	高橋 瑛士	タカハシ エイジ	3	総合福祉	聖和学園
15	24	高山 誠匠	タカヤマ セイショウ	3	総合福祉	利府
16	7	千葉 琥太郎	チバ コタロウ	3	総合福祉	利府
17	9	村松 鷹	ムラマツ タカ	3	総合マネジメント	三浦学苑
18	6	横田 大輝	ヨコタ ダイキ	3	健康科学	利府
19	32	菅原 瑞輝	スガワラ ミズキ	2	総合福祉	能代
20	27	高橋 悠佑	タカハシ ユウスケ	2	総合福祉	泉松陵
21	21	松下 榮太	マツシタ エイタ	2	総合福祉	聖和学園
22	31	添田 寿	ソエダ ヒサシ	2	健康科学	黒沢尻北
23	14	大沼 陸	オオヌマ リク	2	健康科学	山形中央
24	55	鎌田 健真	カマタ ケンシン	2	総合福祉	花巻東
25	42	工藤 晃斗	クドウ アキト	2	総合福祉	能代
26	58	遠藤 瞬弥	エンドウ シュンヤ	2	健康科学	東北学院榴ヶ岡
27	25	千葉 日向	チバ ヒュウガ	2	総合福祉	宮城広瀬
28	—	大下 萌波	オオシタ モナミ	2	健康科学	八戸
29	4	鈴木 幸生	スズキ コウセイ	1	総合福祉	秋田商業
30	77	大竹 航太郎	オオタケ コウタロウ	1	総合福祉	仙台城南
31	99	佐藤 瑠星	サトウ リュウセイ	1	共生まちづくり	花巻東
32	12	佐川 裕基	サガワ ユウキ	1	総合福祉	鉾田第一
33	63	本郷 瑠音	ホンゴウ ルイト	1	共生まちづくり	仙台商業
34	22	橋間 功貴	ハシマ コウキ	1	総合福祉	山形中央
35	34	山路 進介	ヤマジ シンスケ	1	総合福祉	仙台城南
36	37	村形 謙太	ムラカタ ケンタ	1	共生まちづくり	能代
37	62	宇部 智也	ウベ トモヤ	1	健康科学	久慈
38	94	鈴木 幸心	スズキ コウシ	1	健康科学	東北学院榴ヶ岡
39	23	菊池 大翔	キクチ ヒロト	1	総合福祉	仙台育英
40	35	伊藤 輝人	イトウ キラト	1	共生まちづくり	仙台商業
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

8 戦 8 勝 0 敗 0 分

○	1	— 0	対 東北学院大学
○	3	— 1	対 仙台大学
○	10	× — 0	対 日本大学工学部
○	7	× — 0	対 東北工業大学
○	3	— 0	対 宮城教育大学
○	7	× — 0	対 山形大学
○	8	× — 0	対 尚絅学院大学

○	9	× — 0	対 東北大学
		—	対
		—	対
		—	対
		—	対
		—	対
		—	対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 4	鈴木幸生	1			0.00
2 10	福島綾人	16	2		0.56
3 11	中野泰智	15	2		0.00
4 27	高橋悠佑	7	2		0.00
5 32	菅原瑞輝	2			0.00
6 90	及川諒也	21	2		0.00

試合数 8	打率 0.26	本塁打 4
犠打 8	盗塁 25	失策 3
防御率 0.15	奪三振 78	盗塁阻止率 0.67

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。東北福祉大学は、東北地区リーグ戦を8試合で失点1という強力な投手陣を擁し、全勝で、本大会出場を決めました。投手陣が抑え、堅い守備からの1点を確実に取りに行く攻撃が持ち味です。昨年は、本大会で優勝という快挙を成し遂げましたが、今年は、連覇を是非期待しております。

東北地区大学軟式野球連盟理事長 鈴木 勝博

チームからのコメント

初めに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。今年度は、昨年度の秋の悔しさを糧に、どのような試合においても、「勝ちきる」ということにこだわってきました。今回の大会では、日頃より軟式野球部を支えてくださっている学校関係者の皆様、そして応援してくださる全ての方々への感謝の気持ちを胸に、私たちが全力でプレーします。

主将 福島綾人

早稲田大学

東京六大学軟式野球連盟

2年ぶり 2回目

東京都新宿区戸塚町1-104

部長	柳澤 明	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	松本 優太	マツモト ユウタ	3	商	市立千葉
2	77	田中 洸太郎	タナカ コウタロウ	4	商	城北
3	94	中松尾 悠	ナカマツオ ユウ	4	商	桐朋
4	15	網本 憲太	アミモト ケンタ	3	基幹理工	都立八王子東
5	92	國見 拓実	クニミ タクミ	3	政治経済	早稲田実業
6	51	正津 葵	ショウツ アオイ	3	商	立命館慶祥
7	57	白石 雄大	シライシ ユウダイ	3	スポーツ科学	久留米大学附設
8	5	藤野 巧真	フジノ タクマ	3	人間科学	県立相模原
9	1	小林 蒼空	コバヤシ ソラ	3	商	武田
10	33	本田 浩杜	ホンダ ヒロト	3	政治経済	仙台第二
11	—	飯島 一葉	イジマ イチハ	3	文化構想	前橋女子
12	—	石松 紗佳	イシマツ スズカ	3	政治経済	早稲田大学本庄高等学院
13	—	表 莉緒	オモテ リオ	3	法	広島大学附属福山
14	—	福原 遥花	フクハラ ハルカ	3	教育	県立川和
15	13	Weisberg Kendel	ウェイスバーグ ケンデル	2	商	NeoCity Academy
16	46	藤本 永遠	フジモト トワ	2	文化構想	都立立川
17	26	宮西 聡史	ミヤニシ サトシ	2	社会科学	淑徳巣鴨
18	11	元谷 聡志	モトヤ サトシ	2	社会科学	県立静岡
19	17	矢島 璃久	ヤジマ リク	2	商	市立千葉
20	2	西原 森	ニシハラ モリ	2	政治経済	桐朋
21	36	大畑 祐貴	オオハタ ユウキ	2	商	早稲田実業
22	50	柏木 健吾	カシワギ ケンゴ	2	商	都立小山台
23	55	佐藤 圭将	サトウ ケイスケ	2	政治経済	聖光学院
24	27	高須 一貴	タカス カズキ	2	政治経済	早稲田
25	99	辻 快翔	ツジ カイト	2	商	福岡大学付属大濠
26	6	松村 望来	マツムラ ミライ	2	国際教養	都立小山台
27	34	浦野 裕人	ウラノ ヒロト	2	先進理工	聖光学院
28	40	塩田 一晴	シオタ イッセイ	2	基幹理工	県立東葛飾
29	38	富田 敬大	トミタ アキト	2	法	聖光学院
30	9	中川 大稀	ナカガワ ダイキ	2	教育	県立石橋
31	7	松元 大樹	マツモト タイキ	2	文化構想	桐朋
32	80	柳澤 壮一郎	ヤナギサワ ソウイチロウ	2	文化構想	安積
33	24	山岸 春輝	ヤマギシ ハルキ	2	商	明星
34	48	淀川 晴太郎	ヨドガワ セイタロウ	2	人間科学	宮崎北
35	—	浅井 友希	アサイ ユキ	2	基幹理工	市立浦和
36	—	勝 香里奈	カツ カリナ	2	法	早稲田大学本庄高等学院
37	—	熊谷 優那	クマガイ ユウナ	2	社会科学	市立浦和
38	—	栗原 茉優	クリハラ マユ	2	教育	一ツ葉
39	—	澤田 保乃加	サワダ ホノカ	2	人間科学	広島大学附属福山
40	—	宮原 茉優	ミヤハラ マユ	2	教育	都立国立
41	—	山口 真央	ヤマグチ マヒロ	2	人間科学	県立相模原
42	18	大澤 翔	オオサワ ショウ	1	法	駒場東邦
43	14	久保田 悠樹	クボタ ユウキ	1	政治経済	渋谷幕張
44	12	杉本 丈亮	スギモト ジョウスケ	1	教育	桐朋
45	19	渡邊 瑛太	ワタナベ エイタ	1	スポーツ科学	福岡大学付属大濠
46	25	林 凌生	ハヤシ リョウセイ	1	商	城北
47	30	大石 健人	オオishi ケント	1	基幹理工	県立湘南
48	67	大芝 毅	オオシバ ツヨシ	1	政治経済	早稲田
49	21	小西 慶喜	コニシ ケイキ	1	社会科学	東大寺学園
50	4	野間 研吾	ノマ ケンゴ	1	教育	県立春日部

51	86	原 涼太郎	ハラ リョウタロウ	1	基幹理工	県立静岡
52	42	三浦 快	ミウラ カイ	1	法	県立御影
53	3	大島 宗悟	オオシマ シュウゴ	1	教育	県立浦和西
54	20	川端 峻	カワバタ シュン	1	創造理工	市立大宮北
55	23	中嶋 健太	ナカジマ ケンタ	1	社会科学	県立磐田南
56	16	松山 滯	マツヤマ レイ	1	基幹理工	県立多摩
57	ー	新田 萼花	ニッタ イチカ	1	人間科学	専修大学松戸
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10	戦	7	勝	3	敗	分						
○	10	—	4		対	慶應義塾大学	○	4	—	3	対	立教大学
○	12	—	5		対	法政大学	●	5	—	6	対	慶應義塾大学
●	4	—	6		対	明治大学	○	2	—	1	対	立教大学
○	5	—	3		対	東京大学					対	
●	5	—	6		対	法政大学					対	
○	5	—	1		対	明治大学					対	
○	5	—	4		対	東京大学					対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 11	元谷 聡志	23 ⅓	1	1	5.79
2 15	網本 憲太	12	1	0	0.00
3 17	矢島 璃久	21	2	2	6.86
4 26	宮西 聡史	26 ⅓	3	0	1.71
5 46	藤本 永遠	4	0	0	2.25

試合数	打率	本塁打
10	0.271	3
犠打	盗塁	失策
9	23	11
防御率	奪三振	盗塁阻止率
4.12	49	0.27

連盟からのコメント

まず初めに、第6回全日本大学軟式野球選抜大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に御礼申し上げます。早稲田大学はリーグ戦でも安定したチーム力の高さを見せており、強力な打撃陣と層の厚い投手陣のコンビネーションは輝きを放っていました。その高い総合力を全国の舞台でも発揮できるように頑張ってきてください。そして、全国という舞台でプレーすることを全力で楽しみながら、勝利を掴み取ってきてください。

委員長 鹿野陽大

チームからのコメント

「継勝」、2年連続で全国大会に出場した先輩方の思いを受け継ぎ、一戦一戦目の前の勝利を積み重ね、その先へつないでいくという決意を込めた今年のチームスローガンです。私たち早稲田大学軟式野球部は、固い守備を軸に、正津・小林を中心とした切れ目のない打線で、どこからでも得点を奪えることを強みとしています。目標である日本一に向け、選手・マネージャーが一丸となり、一戦一戦勝利を積み重ねていきます。

監督 藤野巧真

武蔵大学

首都大学軟式野球連盟

2年連続 2回目

東京都練馬区豊玉上1丁目26-1

部長	中嶋 幹	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	西野 竜貴	ニシノ タツキ	3	経済	成田
2	4	緑川 優斗	ミドリカワ ユウト	4	社会	磐城
3	11	柳谷 宙	ヤナギヤ ヒロシ	4	人文	竜ヶ崎第一
4	48	小松 真大	コマツ マヒロ	3	国際教養	小松川
5	41	松井 伶央弥	マツイ レオヤ	3	人文	小平南
6	23	竹澤 諒	タケザワ リョウ	3	経済	大東文化大学第一
7	55	晴山 太陽	ハレヤマ タイヨウ	3	経済	花巻東
8	31	高取 輝	タカトリ カガヤキ	3	社会	西武台
9	51	松本 歩睦	マツモト アユム	3	人文	西武台
10	—	植木 萌乃佳	ウエキ ホノカ	3	国際教養	小山台
11	18	有木 瞬	アリキ シュン	2	経済	成城
12	50	長尾 敦俊	ナガオ アツトシ	2	経済	習志野
13	53	赤澤 颯太	アカザワ ソウタ	2	人文	市立前橋
14	13	篠原 絃希	シノハラ ゲンキ	2	国際教養	千葉商科大学付属
15	8	南雲 柑太	ナグモ カンタ	2	社会	実践学園
16	46	勝野 颯	カツノ ハヤト	2	人文	横浜氷取沢
17	54	齋藤 陽太	サイトウ ヒナタ	2	社会	小平南
18	—	奥谷 世玲奈	オクタニ セレナ	2	経済	埼玉栄
19	—	廣川 心海	ヒロカワ ココミ	2	人文	武蔵野大学
20	—	依田 彩花	ヨダ アヤカ	2	社会	本庄東
21	17	横倉 佑樹	ヨコクラ ユウキ	1	社会	小平南
22	1	後藤 公佑	ゴトウ コウスケ	1	経済	能代松陽
23	—	島内 葉ばな	シマウチ ハバナ	1	人文	鶴嶺
24	—	曾根田 梨乃	ソネダ リノ	1	人文	石橋
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	4	勝	1	敗	分
●	3	—	8	対	大東文化大学	—
○	3	—	2	対	明星大学	—
○	8	—	1	対	東京理科大学	—
○	4×	—	2	対	東京電機大学	—
○	9	—	2	対	東京学芸大学	—
	—			対		—
	—			対		—

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 4	緑川 優斗	5 ⅓	1	0	0.00
2 41	松井 怜央弥	26 ⅔	3	0	2.03
3 46	勝野 颯	11 ⅓	0	1	2.38
4					
5					

試合数 5	打率 0.267	本塁打 7
犠打 4	盗塁 9	失策 8
防御率 1.88	奪三振 22	盗塁阻止率

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。そして武蔵大学の皆さん、第6回選抜大会への出場、本当におめでとうございます。力強い長打力の打線と、素晴らしい投手力を武器に掴み取ったリーグ戦優勝、実に見事でした。全国から強豪が集まる選抜大会という大舞台ですが、これまで仲間と共に積み上げてきた努力を信じ、武蔵大学らしい全員野球で、最後まで諦めずに戦い抜いてください。皆様の熱い戦いを、心から応援しています。

首都大学軟式野球連盟委員長 川越輝

チームからのコメント

私たち武蔵大学軟式野球部は、「むさなん」の愛称のもと「野球を全力で楽しむ」をモットーに活動しています。今季の春季リーグでは、試合を重ねるごとに成長し、チームの目標である「個々の役割の体現」が如実に表れるようになりました。夏の全国大会では、さらに成長した姿をグラウンドで証明し、リーグ戦で培った強みを最大限に発揮します。チャレンジ精神を忘れず、最終日に笑顔でトップに立てるよう、一戦必勝で精進します。

主将 西野竜貴

日本体育大学

東都大学軟式野球連盟

6年連続 6回目

東京都世田谷区深沢7-1-1

部長	福井元	監督		コーチ	豊住 悠馬	コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-----	----	--	-----	-------	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	伊佐次 快麻	イサジ カイマ	4	体育	中京
2		市川 愛斗	イチカワ マナト	4	体育	杉並
3		齋藤 篤志	サイトウ アツシ	4	スポーツ文化	聖光学院
4		佐藤 央芽	サトウ オウガ	4	体育	本荘
5		白川 僚羽	シラカワ リョウ	4	スポーツマネジメント	日本体育大学荏原
6		一柳 壮太	イチヤナギ ソウタ	4	スポーツマネジメント	横浜商業
7		佐藤 浩太郎	サトウ コウタロウ	4	体育	暁星国際
8		新川 航平	シンカワ コウヘイ	4	体育	高松北
9		市川 裕大	イチカワ ヒロト	4	体育	上田東
10		松井 颯土	マツイ ハヤト	4	体育	中京
11		伊藤 佑真	イトウ ユウマ	4	児童スポーツ教育	村上
12		川井 大輝	カワイ ダイキ	4	児童スポーツ教育	滑川総合
13		今井 駿	イマイ シュン	3	体育	中京
14		本多 祐太	ホンダ ユウタ	3	児童スポーツ教育	昭和第一学園
15		沼宮内 隼人	ヌマクナイ ハヤト	3	体育	日本体育大学柏
16		日下 遙琉	クサカ ハル	3	スポーツマネジメント	習志野
17		小林 大智	コバヤシ ダイチ	3	体育	関根学園
18		小林 竜弥	コバヤシ リュウヤ	3	児童スポーツ教育	日本体育大学荏原
19		鈴木 歩夢	スズキ アユム	3	体育	足利
20		鈴木 優太郎	スズキ ユウタロウ	3	スポーツマネジメント	三浦学苑
21		宅野 正悟	タクノ セイゴ	3	体育	日本体育大学柏
22		平田 昌大	ヒラタ ショウタ	3	スポーツ文化	羽咋工業
23		松岡 洲平	マツオカ シュウヘイ	3	スポーツ文化	鶴岡東
24		秋葉 俊太	アキバ シュンタ	3	スポーツマネジメント	日本体育大学柏
25		宇田川 椋平	ウダガワ リョウヘイ	3	体育	暁星国際
26		金野 隼也	キンノ ジュンヤ	3	体育	上尾
27		小池 永倭	コイケ トウワ	3	体育	上尾
28		小泉 凱	コイズミ カイ	3	スポーツ文化	日本体育大学柏
29		佐藤 日向	サトウ ヒムカ	3	体育	あべの翔学
30		浅野 秀宇	アサノ シュウ	2	体育	平塚学園
31		折田衛 聖	オリタエ サトシ	2	スポーツマネジメント	習志野
32		滝童内 一吹	タキドウウチ イブキ	2	体育	足立
33		橋本 泰成	ハシモト タイセイ	2	スポーツマネジメント	習志野
34		渡辺 悠太	ワタナベ ユウタ	2	体育	水戸第一
35		玉木 遼哉	タマキ リョウヤ	2	体育	平塚学園
36		石井 悠翔	イシイ ユウト	2	体育	日本体育大学柏
37		五十洲 寛太	イソス カンタ	2	体育	青森南
38		川上 裕輝	カワカミ ユウキ	2	スポーツマネジメント	日本体育大学柏
39		清水 隆之介	シミズ リュウノスケ	2	体育	中京
40		関 慧人	セキ ケイト	2	スポーツ文化	八潮
41		中本 凌太	ナカモト リョウタ	2	体育	藤嶺学園藤沢
42		村 柳二	ムラ リュウジ	2	体育	岡山学芸館
43		伊藤 太郎	イトウ タロウ	2	体育	日本体育大学柏
44		井藤 柊真	イトウ シュウマ	2	体育	日本体育大学荏原
45		木暮 草汰	コブレ ソウタ	2	体育	上尾
46		瀧浪 楓太	タキナミ フウタ	2	スポーツマネジメント	光南
47		六川 航	ムカワ ワタル	2	スポーツマネジメント	日本体育大学柏
48	—	西島 美波	ニシジマ ミナミ	2	体育	普天間
49	—	保科 綾花	ホシナ アヤカ	2	スポーツ文化	日本体育大学桜華
50		木村 龍司	キムラ リュウジ	1	スポーツマネジメント	横浜商業

51		中嶋 元太	ナカジマ ゲンタ	1	体育	錦城学園
52		伊藤 怜大	イトウ レオ	1	スポーツマネジメント	横浜商業
53		佐野 颯翔	サノ ハヤト	1	体育	赤穂
54		島田 圭太郎	シマダ ケイタロウ	1	体育	藤嶺学園藤沢高校
55		武内 俊太	タケウチ シュンタ	1	スポーツマネジメント	三浦学苑
56		野口 滉太	ノグチ コウタ	1	体育	昭和第一学園
57		前島 健生	マエジマ タケル	1	体育	流通経済大学付属柏
58		山口 慶悟	ヤマグチ ケイゴ	1	スポーツマネジメント	川崎北
59		山田 尚弥	ヤマダ ナオヤ	1	体育	あべの翔学
60		垣内 惺矢	カキウチ セイヤ	1	体育	中京
61		堀内 星那	ホリウチ セナ	1	体育	土浦日本大学
62	—	加賀谷 夢夏	カガヤ ユナ	1	スポーツマネジメント	日本体育大学荏原
63	—	渡辺 さくら	ワタナベ サクラ	1	体育	日本体育大学荏原
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10	戦	10	勝		敗		分				
○	1	—	0	対	東京経済大学	○	20	—	6	対	二松学舎大学
○	7	—	4	対	日本大学商学部	○	6	—	0	対	国土舘大学
○	14	—	1	対	東京経済大学	○	9	—	0	対	日本大学商学部
○	10	—	2	対	青山学院大学			—		対	
○	16	—	3	対	二松学舎大学			—		対	
○	6	—	0	対	青山学院大学			—		対	
○	7	—	3	対	国土舘大学			—		対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 18	斎藤 篤志	34	5	0	0.26
2 11	橋本 泰成	24	3	0	0.38
3 21	渡辺 悠太	16 ⅔	1	0	1.08
4 15	今井 駿	11	1	0	3.27
5 20	浅野 秀宇	4	0	0	2.25

試合数 10	打率 0.304	本塁打 16
犠打 4	盗塁 59	失策 13
防御率 1.19	奪三振 75	盗塁阻止率 0.84

連盟からのコメント

第6回全日本大学軟式野球選抜大会の開催を心よりお慶び申し上げます。本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。昨夏・昨秋の悔しさを糧に、日本一を目指して鍛錬を重ねてきた日本体育大学の皆様は、投手を中心とした守備と粘り強い打撃を軸に、この舞台で真価を発揮されることでしょう。日体大らしく全力で戦い抜き、目標の実現に向けて力を尽くしてください。健闘を祈っています。

東都大学軟式野球連盟 理事長 相場奨太

チームからのコメント

初めに本大会開催にあたりご尽力いただきました関係者の方々に御礼申し上げます。私達の目標は日本一です。昨年の夏、秋の大会で悔しい結果をしたことから、夏に日本一になるために練習に取り組んできました。投手を中心に守備から流れを作り、粘り強い打撃で勝ち進みます。日頃から応援してください。日体大軟式野球部全員で日本一を取ります！ご声援よろしくお願い致します。

日本体育大学 主将 伊佐次快麻

白鷗大学

北関東大学軟式野球連盟

6年連続 6回目

栃木県小山市大行寺1117

部長	島田 剛	監督	金田 健史	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	添田 羽琉	ソエタ ハル	3	教育	須賀川桐陽
2	77	有馬 拓海	アリマ タクミ	4	教育	鹿沼東
3	21	大塚 樹	オオツカ イツキ	4	教育	宇都宮短期大学付属
4	19	横田 勇優	ヨコタ ユウヤ	4	教育	水戸桜ノ牧
5	22	伊藤 海輝	イトウ カイキ	4	教育	宇都宮南
6	31	朝武 叶夢	トモタケ カナム	4	教育	久喜北陽
7	5	服部 颯人	ハットリ ハヤト	4	教育	尚志
8	3	前田 龍之介	マエダ リュウノスケ	4	法	那須拓陽
9	37	辻 瞬吏	ツジ シュンリ	4	教育	宇都宮南
10	2	西野 修生	ニシノ シュウ	4	教育	光南
11	—	齋藤 香奈	サイトウ カナ	4	教育	宇都宮南
12	—	佐藤 咲月	サトウ サツキ	4	教育	鶴岡南
13	13	長島 泰誠	ナガシマ タイセイ	3	教育	白鷗大学足利
14	75	松尾 倖多	マツオ コウタ	3	法	真岡
15	56	皆川 遼太	ミナカワ リョウタ	3	教育	水戸桜ノ牧
16	55	坂田 佑介	サカタ ユウスケ	3	教育	白鷗大学足利
17	15	武澤 昊希	タケザワ コウキ	3	教育	勝田
18	99	筋内 望人	ヤナイ ハルト	3	経営	白鷗大学足利
19	17	川崎 朝陽	カワサキ アサヒ	3	経営	水戸商業
20	80	矢口 霸王	ヤグチ ハオ	3	経営	水戸啓明
21	42	岡本 祐悟	オカモト ユウゴ	2	教育	下妻第二
22	11	小林 翼	コバヤシ ツバサ	2	経営	白鷗大学足利
23	48	齋藤 航大	サイトウ コウダイ	2	法	國學院大學栃木
24	47	大丸谷 敬太	ダイマルヤ ケイタ	2	教育	下妻第二
25	12	野本 智敏	ノモト チハル	2	教育	古河中等教育学校
26	16	袴田 創也	ハカマタ ソウヤ	2	教育	能代
27	41	小暮 太陽	コグレ タイヨウ	2	教育	土浦第三
28	20	小林 晃大	コバヤシ コウダイ	2	教育	多賀
29	38	佐々木 陽大	ササキ ヨウタ	2	教育	福島成蹊
30	52	佐山 瑞來	サヤマ ミズキ	2	経営	聖光学院
31	4	鈴木 拓海	スズキ タクミ	2	経営	水城
32	7	荒井 良斗	アライ リョウト	2	教育	宇都宮南
33	9	浦野 航輔	ウラノ コウスケ	2	教育	白鷗大学足利
34	33	岡部 将英	オカベ ショウエイ	2	教育	水戸桜ノ牧
35	26	滝田 悠真	タキタ ユウマ	2	法	大田原
36	—	多田 ひかり	タダ ヒカリ	2	教育	下館第二
37	—	古川 千菜	フルカワ チナ	2	教育	会津
38	—	吉村 陽香	ヨシムラ ハルカ	2	教育	小山西
39	27	佐々木 翔麻	ササキ ショウマ	1	教育	館林
40	23	野口 豪之輔	ノグチ ゴウノスケ	1	教育	小山
41	6	野口 稜斗	ノグチ リョウト	1	教育	境
42	1	青木 慶斗	アオキ ケイト	1	経営	水城
43	14	落合 瑛大	オチアイ エイタ	1	法	宇都宮南
44	8	杉田 将真	スギタ ショウマ	1	経営	岩瀬日本大学
45	39	高橋 楓	タカハシ カエダ	1	教育	新庄北
46	51	大沼 悠真	オオヌマ ユウマ	1	教育	宇都宮南
47	32	佐藤 駿	サトウ シュン	1	経営	須賀川桐陽
48	50	篠塚 翔	シノツカ ショウ	1	法	宇都宮短期大学付属
49	—	余田 海音	ヨダ ミオン	1	教育	佐渡
50	—	渡邊 帆乃夏	ワタナベ ホノカ	1	教育	鹿島学園



地区大会戦績

5	戦	5	勝	敗	分
○	17×	0	対	作新学院大学	
○	6×	1	対	茨城キリスト教大学	
○	3	2	対	茨城大学	
○	1	0	対	上武大学	
○	5×	1	対	筑波大学	
			対		
			対		

	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 11	小林 翼	15	1	0	0.00
2 16	袴田 創也	3	0	0	0.00
3 19	横田 勇優	15	2	0	0.60
4 56	皆川 遼太	3	1	0	3.00
5 75	松尾 倖多	4	0	0	0.00
6 77	有馬 拓海	3	1	0	0.00

試合数 5	打率 0.185	本塁打 3
犠打 2	盗塁 40	失策 3
防御率 0.42	奪三振 53	盗塁阻止率 1.00

連盟からのコメント

第6回全日本大学軟式野球選抜大会の開催おめでとうございます。また開催にあたり御尽力いただきありがとうございます。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。最近、白鷗大選手と話すとき聞こえてくる「今年は…」「あと1本が…」などの声、、、そんなことはない！皆さんは北関東連盟が誇る最強・白鷗大学軟式野球部。そのユニフォームの左袖エンブレムを誇りに、選抜大会でもいつもの大活躍、そして3年ぶりの全国制覇を期待しております！

北関東大学軟式野球連盟 理事長 菊池安武

チームからのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいております関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。今年のチームは、「機動力を生かした攻撃」と「守備からリズムをつくる野球」を持ち味に、学年の垣根を越えた全員野球で戦ってきました。日頃より支えてくださる皆様への感謝の気持ちを胸に、一戦一戦に全力で挑み、3年ぶりの夏の優勝を目指して、チーム一丸となって最後まで戦い抜きます！

白鷗大学軟式野球部主将 添田羽琉

城西国際大学

東関東大学軟式野球連盟

2年連続 5回目

千葉県東金市求名1丁目

部長	寺原 譲治	監督	宮下 昌己	コーチ	上原 夢翔	コーチ	佐藤 伶	トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	-------	-----	------	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	照屋 心海	テルヤ コウ	4	観光	松山学院
2	16	柳谷 優斗	ヤナギヤ ユウト	4	観光	松山学院
3	81	大沢 良太	オオサワ リョウタ	4	メディア	利根商業
4	1	大城 来気	オオシロ ライキ	4	経営情報	松山学院
5	—	小黒 紗也香	オグロ サヤカ	4	観光	市立船橋
6	—	チェ ミンジ	チェ ミンジ	4	観光	交河
7	20	上原 拓実	ウエハラ タクミ	3	観光	宇和
8	19	仲島 凜	ナカシマ リン	3	経営情報	小祿
9	3	新井 棕介	アライ リョウスケ	3	健康科	市立太田
10	18	刀根 征良	トネ セイリョウ	3	経営情報	花巻東
11	6	小川 俊博	オガワ トシヒロ	3	健康科	二松學舎大学付属
12	4	栗原 立樹	クリハラ リツキ	3	経営情報	足利工業
13	2	久保 快生	クボ カイセイ	3	健康科	桐生第一
14	—	木原 麻侑	キハラ マユ	3	健康科	神栖
15	11	櫻井 康心	サクライ コウシン	2	経営情報	立志舎
16	23	豊田 航	トヨタ コオ	2	観光	松山学院
17	21	星 大晴	ホシ タイセイ	2	健康科	聖カタリナ
18	5	大木 雄太	オオキ ユウタ	2	健康科	成田
19	14	山田 壮哉	ヤマダ ソウヤ	2	経営情報	大森学園
20	8	佐藤 佑介	サトウ ユウスケ	2	健康科	四街道
21	7	須江 球道	スエ キュウドウ	2	経営情報	川口市立
22	13	兵頭 重春	ヒョウドウ シゲハル	2	観光	宇和
23	—	樺沢 里桜	カバサワ リオ	2	国際人文	盛岡商業
24		神原 一輝	カンバラ イッキ	1	健康科	光丘
25	27	三平 洋翔	ミヒラ ヒロト	1	健康科	千葉学芸
26	12	森川 天太	モリカワ テンタ	1	観光	拓殖大学紅陵
27	31	森 真偉人	モリ マイト	1	健康科	千葉敬愛
28	15	串崎 優太	クシザキ ユウタ	1	健康科	綾羽
29	25	山内 慎貴	ヤマウチ ミツキ	1	観光	松山学院
30	17	白尾 幸音	シラオ ユキト	1	健康科	関東第一
31	9	鈴木 琉生	スズキ ルイ	1	経営情報	千葉学芸
32	—	橋爪 利弥	ハシズメ リミ	1	国際人文	甲斐清和
33	—	パク ジミン	パク ジミン	1	薬	明德義塾
34	—	吉田 彩乃	ヨシダ アヤノ	1	国際人文	自由ヶ丘
35	—	吉田 智	ヨシダ サト	1	観光	和光
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

6 戦 6 勝 敗 分

12 — 2 対 中央学院大学
 6 — 0 対 流通経済大学
 不戦勝 — 不戦敗 対 日本大学理工学部
 15 — 2 対 日本大学生産工学部
 9× — 2 対 帝京大学
 2 — 1 対 日本大学経済学部
 — 対

— 対
 — 対
 — 対
 — 対
 — 対
 — 対
 — 対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 12	森川 天太	4 ⅓	1	0	0.00
2 16	柳谷 優斗	6 ⅓	1	0	0.00
3 20	上原 拓実	6 ⅓	1	0	2.08
4 23	豊田 航	8 ⅓	2	0	2.25
5					

試合数 5	打率 0.328	本塁打 2
犠打 2	盗塁 14	失策 5
防御率 1.08	奪三振 18	盗塁阻止率 0.33

連盟からのコメント

本大会の大舞台をつくり上げてくださった大会関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。出場される皆さんは、日々の練習の積み重ねと、チームメイトと交わした言葉のひとつひとつを力に変えて、この舞台にたどり着いたことと思います。その歩みそのものが、すでに大きな誇りです。勝負の世界に緊張はつきものですが、仲間を信じ、自分を信じて振り抜いた一球、駆け抜けた一歩は、必ず観る人の心を動かします。どうか結果を恐れず、東関東の代表として胸を張り、一戦一戦を全力で楽しんでください。皆さんが最高の笑顔でグラウンドを去れることを、連盟一同、心から願い、応援しています！

東関東大学軟式野球連盟 理事長 和田駿

チームからのコメント

昨年は全国大会ベスト8という結果で終わりました。今年はその結果を超え、全国制覇を目標にチーム一丸となって取り組んできました。昨年と同じ悔しさを繰り返さないためにも、全員野球で一戦一戦を大切に、一戦必勝の気持ちで戦い抜きます。

城西国際大学 主将 照屋心海

桐蔭横浜大学

南関東大学軟式野球連盟

6年連続 6回目

神奈川県横浜市青葉区鉄町1614

部長		監督	富澤 力凰	コーチ		コーチ		トレーナー	山岸 勇楓	トレーナー	大塚 海翔
----	--	----	-------	-----	--	-----	--	-------	-------	-------	-------

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	土屋 尊人	ツチヤ タカト	3	スポーツ科学	関東第一
2	18	渡辺 千斗	ワタナベ カズト	4	現代教養学環	立花学園
3	20	林 大耀	ハヤシ タイヨウ	3	スポーツ科学	成立学園
4	21	小泉 魁	コイズミ カイ	3	スポーツ科学	横浜創学館
5	9	高芝 聡太	タカシバ ソウタ	3	スポーツ科学	相洋
6	97	富澤 力凰	トミサワ リオ	3	スポーツ科学	山形中央
7	1	戸村 良和	トムラ リョウワ	3	スポーツ科学	山形中央
8	2	堀口 寛太	ホリグチ カンタ	3	スポーツ科学	済美
9	3	中武 寛大	ナカタケ カンダイ	3	スポーツ科学	藤沢翔陵
10	6	青山 倅次郎	アオヤマ コウジロウ	3	スポーツ科学	国土館
11	25	岡本 将暉	オカモト マサキ	3	現代教養学環	武相
12	12	山本 紘斗	ヤマモト ゲント	3	スポーツ科学	日本航空山梨
13	—	平栗 美紗	ヒラクリ ミスズ	3	スポーツ科学	光明学園相模原
14	11	門倉 歩夢	カドクラ アユム	2	法	新羽
15	14	小澤 颯大	オザワ ソウタ	2	スポーツ科学	八王子学園八王子
16	39	寶代 一斗	ホウダイ イット	2	法	立花学園
17	7	米倉 海七渡	ヨネクラ カナト	2	現代教養学環	大森学園
18	5	藤野 駿太	フジノ シュンタ	2	スポーツ科学	藤沢清流
19	22	猪野 晃介	イノ コウスケ	2	法	立花学園
20	43	巴 唯人	トモエ ユイト	2	スポーツ科学	岸根
21	—	古賀 恵	コガ メグミ	2	スポーツ科学	目黒日大
22	—	榊原 美羽	サカキバラ ミウ	2	スポーツ科学	美原
23	15	田中 眞仁	タナカ マサヒト	1	スポーツ科学	立花学園
24	16	田村 拓永	タムラ ヒロト	1	スポーツ科学	アレセイア湘南
25	19	島村 響	シマムラ ヒビキ	1	現代教養学環	立花学園
26	49	村越 淳之介	ムラコシ ジュンノスケ	1	スポーツ科学	金沢総合
27	24	増田 龍聖	マスダ リュウセイ	1	法	相模原弥栄
28	26	邊見 晴汰	ヘンミ セイタ	1	スポーツ科学	綾瀬
29	37	熊澤 翔太	クマザワ ショウタ	1	スポーツ科学	伊志田
30	4	米原 巧真	ヨネハラ タクマ	1	スポーツ科学	横浜
31	44	平本 優翔	ヒラモト ユウト	1	現代教養学環	埼玉平成
32	55	渡邊 悠輝	ワタナベ ハルキ	1	スポーツ科学	桐陽
33	66	平田 一郎	ヒラタ イチロウ	1	法	立花学園
34	77	二宮 照	ニノミヤ テル	1	法	アレセイア湘南
35	99	安藤 翔倭	アンドウ トウ	1	スポーツ科学	牛久
36	8	秋山 悠斗	アキヤマ ユウト	1	現代教養学環	相洋
37	42	山崎 蓮斗	ヤマザキ レント	1	スポーツ科学	湘南学院
38	51	内藤 碧汰	ナイトウ アオタ	1	法	向上
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

8 戦	7 勝	1 敗	分
● 3 — 4	対 東海大学	○ 10 — 0	対 横浜市立大学
○ 6 — 0	対 産業能率大学	—	対
○ 12 — 4	対 横浜商科大学	—	対
○ 14 — 0	対 健康科学大学	—	対
○ 不戦勝 — 不戦敗	対 文教大学	—	対
○ 9 — 2	対 明治大学	—	対
○ 12 — 0	対 鶴見大学	—	対

投手成績

背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1 11	門倉歩夢		0	0	0.00
2 14	小澤颯大		0	0	1.06
3 18	渡辺千斗		0	0	0.90
4 20	林 大耀		0	0	0.00
5					

試合数	打率	本塁打
7	0.308	4
犠打	盗塁	失策
4	36	2
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.84	37	

連盟からのコメント

桐蔭横浜大学は、全員が走攻守揃ったつわもの揃いのチームです。勝つための執念や、野球に対する姿勢や思いは他のどの大学にも引けを取らないチーム力があります。夏の全国大会でも、優勝に向けて、全員が一つ一つのプレーを大切に、最後のアウトまで全力で戦い抜きます。また、ベンチメンバーや応援する部員を含め、全員が同じ目標に向かって団結していることも強みです。昨年ベスト4と、あと一歩で終わった無念を胸に、桐蔭横浜大学らしい打ち勝つ強い野球で日本一を目指します。

チームからのコメント

今年のチームは3年生を中心に、一人ひとりが役割と責任を果たしながら全国制覇を目標に日々練習に励んできました。私たちの強みは、ミスの少ない堅実な守備と、つながりから一気に流れを引き寄せる爆発力のある打線です。秋の全国大会では、新チームとして臨んだ初めての全国大会で初戦敗退という悔しい結果に終わりました。その悔しさを糧に積み重ねてきた成果を発揮し、今大会ではベスト4の壁を越え、優勝を目指して最後まで全力で戦います。

東洋大学Ⅱ部

東京新大学軟式野球連盟

2年連続 2回目

東京都文京区白山5-28-20

部長	加賀見一彰	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	田原 和樹	タハラ カズキ	3	文	広陵
2	2	長谷川 咲己	ハセガワ コウキ	4	文	春日部東
3	11	奥田 孝祐	オクダ コウスケ	3	社会	松商学園
4	47	津留崎 翔大	ツルサキ ショウタ	3	経営	成田
5	55	畑 勇輝	ハタ ユウキ	3	経営	篠山鳳鳴
6	9	山本 英春	ヤマモト エイス	3	法	広陵
7	41	渡邊 拓実	ワタナベ タクミ	3	経済	市ケ尾
8	22	上野 朔太郎	ウエノ サクタロウ	3	経営	春日部東
9	27	星野 竜河	ホシノ リュウガ	3	経営	桐生第一
10	94	小串 太一	オグシ タイチ	3	法	市原中央
11	5	川口 雄大	カワグチ ユウダイ	3	文	習志野
12	99	鈴木 瑛太	スズキ エイタ	3	法	東洋大学付属牛久
13	6	関 斗和	セキ トワ	3	経済	向上
14	8	成宮 琉	ナルミヤ リュウ	3	文	橘学苑
15	53	福島 航平	フクシマ コウヘイ	3	経済	神奈川大学付属
16	1	松本 朱央	マツモト スオウ	3	経済	広陵
17	24	丸茂 京悟	マルモ キョウゴ	3	健康スポーツ	埼玉栄
18	21	森内 天晴	モリウチ テンセイ	3	法	北広島
19	7	川内 康友	カワウチ ヤストモ	3	社会	賀茂
20	14	藤田 那音	フジタ ナオト	3	経営	大田原
21	—	酒井 啓多	サカイ ケイタ	3	法	昌平
22	—	鈴木 阜心	スズキ ココロ	3	社会	秋田南
23	—	依田 優梨亜	ヨダ ユリア	3	国際観光	麗澤
24	42	家入 健太郎	イエイリ ケンタロウ	2	国際	小平南
25	18	高木 琉貴	タカギ リュウキ	2	社会	国府台
26	92	高橋 佑吏	タカハシ ユウリ	2	経営	上溝南
27	20	柳田 瑛太	ヤナギダ エイタ	2	社会	石橋
28	61	吉岡 勇翔	ヨシオカ ハヤト	2	経営	四ツ葉学園
29	60	浜田 友貴	ハマダ ユウキ	2	法	豊岡
30	40	梅原 大晴	ウメハラ タイセイ	2	経営	細田学園
31	66	大崎 颯斗	オオサキ ハヤト	2	国際	伊勢崎清明
32	2	片岡 恭二郎	カタオカ キョウジロウ	2	経済	豊岡
33	96	坂口 史仁	サカグチ フミト	2	経済	長野吉田
34	56	関口 空良	セキグチ ソラ	2	経営	国府台
35	58	土屋 佑太朗	ツチヤ ユウタロウ	2	理工	明星
36	4	山口 慎治	ヤマグチ シンジ	2	経済	安田学園
37	12	吉村 佑太	ヨシムラ ユウタ	2	国際	浦安
38	44	内山 祥太	ウチヤマ ショウタ	2	社会	小平南
39	91	北市 暁大	キタイチ アキヒロ	2	経済	富山商業
40	37	冨塚 顕仁	トミツカ アキヒト	2	経営	第一学院
41	70	成迫 颯	ナリサコ ハヤテ	2	経済	金沢
42	64	沼田 和輝	ヌマタ カズキ	2	社会	日出学園
43	45	宮崎 廣清	ミヤザキ ヒロスミ	2	国際観光	成田
44	39	宮崎 道智	ミヤザキ ミチトシ	2	国際	神奈川総合産業
45	3	百地 陽人	モモチ ハルト	2	経営	小平南
46	9	八木下 友真	ヤギシタ ユウマ	2	経営	アレセア湘南
47	69	安成 遼平	ヤスナリ リョウヘイ	2	経済	大和
48	33	山口 陽輝	ヤマグチ ハルキ	2	健康スポーツ	富山第一
49	—	今井 裡菜	イマイ リナ	2	福祉社会デザイン	東洋大学付属牛久
50	—	小西 未花子	コニシ ミカコ	2	社会	昭和

51	—	佐藤 愛唯	サトウ メイ	2	経済	安積黎明
52	—	中里 日和	ナカザト ヒヨリ	2	経営	松戸国際
53	32	赤坂 侑来	アカサカ ユラ	1	国際	大船
54	77	大坪 零	オオツボ レイ	1	文	広陵
55	23	佐伯 心翼	サエキ シンスケ	1	国際	武蔵野
56	58	中村 匠	ナカムラ タクミ	1	経営	水戸桜ノ牧
57	15	野田 鴻志	ノダ コウジ	1	文	東洋大牛久
58	17	平間 翔大	ヒラマ ショウタ	1	社会	石橋
59	89	古屋 達輝	フルヤ タツキ	1	経済	甲府西
60	16	星 柚太	ホシ ユウタ	1	法	会津学鳳
61	88	三ツ木 樫斗	ミツギ ケント	1	健康スポーツ	國學院大學栃木
62	36	山崎 巧馬	ヤマザキ タクマ	1	経済	関東一
63	52	大澤 宏昌	オオサワ ヒロマサ	1	国際	佼成学園
64	37	佐平 優太	サヒラ ユウタ	1	健康スポーツ	東洋大牛久
65	62	皆上 秀真	ミナカミ シュウマ	1	経済	川越東
66	87	相澤 実里	アイザワ ミノリ	1	国際	上田染谷丘
67	54	江口 太一郎	エグチ タイチロウ	1	福祉社会デザイン	安田学園
68	99	小山 哲輝	コヤマ テツキ	1	福祉社会デザイン	西武台
69	50	柴田 笑太	シバタ ショウタ	1	健康スポーツ	大館鳳鳴
70	61	島貫 杏奈	シマヌキ アンナ	1	健康スポーツ	春日部共栄
71	63	田川 大惺	タガワ タイセイ	1	経済	広陵
72	31	田嶋 太一	タジマ タイチ	1	法	日本大学習志野
73	97	永井 陽	ナガイ ハル	1	法	安田学園
74	74	松下 直司	マツシタ ナオシ	1	文	修学館
75	46	村上 寛斗	ムラカミ ヒロト	1	健康スポーツ	越ヶ谷
76	26	柳澤 瑛心	ヤナギサワ エイシン	1	総合情報	東洋大牛久
77	12	横井 勇実	ヨコイ イサミ	1	健康スポーツ	横浜瀬谷
78	71	上田 莞太郎	ウエダ カンタロウ	1	法	西武台
79	51	江原 宗太郎	エハラ ソウタロウ	1	国際	郁文館
80	38	藤森 滉太	フジモリ コウタ	1	健康スポーツ	光英VERITAS
81	92	松本 夢生	マツモト イブキ	1	福祉社会デザイン	横浜瀬谷
82	34	森山 光太郎	モリヤマ コウタロウ	1	法	広陵
83	48	今井 優菜	イマイ ユウナ	1	福祉社会デザイン	不動岡
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

4	戦	3	勝	敗	1	分
○	9	—	2	対 國學院大學		
△	2	—	2	対 駒澤大学		
○	20	—	1	対 東京理科大学		
○	10	—	0	対 東京都立大学		
		—		対		
		—		対		
		—		対		

	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対
	—		対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	18	高木 琉貴	20	2		1.35
2	39	宮崎 道智	1			0.00
3	55	畑 勇輝	6	1		1.50
4						
5						

試合数 4	打率 0.261	本塁打 0
犠打 1	盗塁 24	失策 5
防御率 1.33	奪三振 10	盗塁阻止率

連盟からのコメント

第6回全日本大学軟式野球選抜大会の開催おめでとうございます。また、開催にあたり御尽力いただいております関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今年の東洋大学は、リーグ戦4試合で計41得点の攻撃力に是非注目していただければと思います！その攻撃力を武器に、全国制覇してくれることを期待しています！

東京新大学軟式野球連盟委員長 丹下 雄太

チームからのコメント

初めに、今大会の開催にあたりご尽力頂きましたすべての関係者の皆様に御礼申し上げます。チームの持ち味は、安定した投手陣を軸とした堅実な守備と、粘り強く出塁し、機動力を生かして着実に得点を重ねる力です。攻守が噛み合った野球で一戦必勝で試合に臨みます。

東洋大学Ⅱ部軟式野球部主将 田原 和樹

新潟医療福祉大学

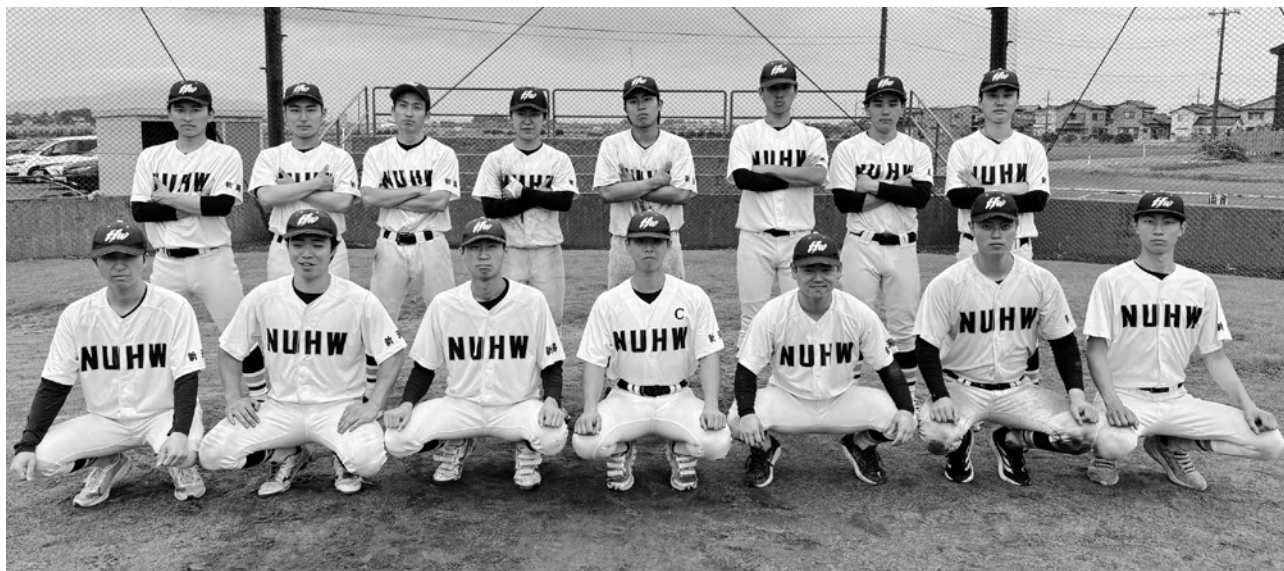
新潟地区大学軟式野球連盟

6年連続 6回目

新潟県新潟市北区島見町1398番地

部長	小池 大輔	監督	宮内 匡汰	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	宮崎 俊輔	ミヤザキ シュンスケ	3	健康科	日本文理
2	44	五十嵐 竜	イガラシ リュウ	4	医療技術	羽黒
3	19	佐藤 陽眞	サトウ ハルマ	4	健康科	村上桜ヶ丘
4	35	高橋 尚汰	タカハシ ショウタ	3	健康科	十日町
5	12	平野 感太	ヒラノ カンタ	3	健康科	新潟商業
6	22	井深 恵太	イブカ ケイタ	3	健康科	日本文理
7	23	鈴木 綾瑛	スズキ リョウエイ	3	医療技術	新津
8	16	松原 輝	マツバラ ヒカル	3	リハビリテーション	湯沢
9	58	根津 勇真	ネツ ユウマ	3	健康科	十日町
10	47	畠山 凱	ハタケヤマ カイ	3	医療技術	能代
11	—	高坂 梨桜	コウサカ リオ	3	看護	松商学園
12	17	小池 胡太郎	コイケ コタロウ	2	健康科	開志学園
13	24	杉山 幹希	スギヤマ ハルキ	2	健康科	新津
14	15	谷 恭輔	タニ キョウスケ	2	リハビリテーション	館林
15	18	星 航太	ホシ コウタ	2	リハビリテーション	東北学院
16	97	荻原 悠	オギハラ ユウ	2	リハビリテーション	丸子修学館
17	37	近藤 颯太郎	コンドウ ソウタロウ	2	健康科	東京学館新潟
18	99	亀谷 和来	カメヤ ワク	2	医療技術	聖和学園
19	39	鈴木 梢真	スズキ ショウマ	2	健康科	秋田西
20	48	杉木 健人	ソマキ ケント	2	看護	日本文理
21	55	橋本 貴児	ハシモト カンジ	2	健康科	新潟商業
22	21	堀田 翔己	ホリタ ショウキ	2	健康科	福井工業大学付属
23	7	山田 優光	ヤマダ マサミツ	2	健康科	十日町
24	2	渡辺 真生	ワタナベ マサキ	2	リハビリテーション	十日町
25	52	亀山 貴裕	カメヤマ タカヒロ	2	リハビリテーション	富山第一
26	8	関 将大	セキ ショウタ	2	健康科	長岡大手
27	42	皆川 実樹	ミナガワ ミズキ	2	リハビリテーション	五泉
28	49	阿部 祐希	アベ ヨシキ	1	医療技術	寒河江
29	25	斎藤 湧大	サイトウ ユウダイ	1	医療技術	上田西
30	89	都丸 翔汰	トマル ショウタ	1	健康科	中野西
31	56	秋本 大耀	アキモト タイヨウ	1	医療技術	金足農業
32	11	菊池 駿太	キクチ シュンタ	1	診療放射線	米沢東
33	66	北村 心結	キタムラ シンユウ	1	診療放射線	新発田
34	53	小宮山 大智	コミヤマ タイチ	1	医療技術	十日町
35	1	杉本 遥	スギモト ヨウ	1	医療技術	日本大学山形
36	13	松永 佑隼	マツナガ ユウト	1	健康科	中越
37	27	美野 倅恵	ミノ コウエ	1	作業療法	村上
38	51	柳瀬 悠河	ヤナセ ユウガ	1	医療技術	長岡向陵
39	—	但野 絢乃	タダノ アヤノ	1	視機能	原町
40	—	戸谷 愛奈	トヤ アイナ	1	看護	佐久長聖
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4	戦	4	勝	敗	分
○	7	—	0	対	新潟国際情報大学
○	20	—	0	対	新潟大学歯学部
○	10	—	0	対	新潟県立大学
○	20	—	8	対	新潟国際情報大学
	—			対	
	—			対	
	—			対	

—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 19	佐藤陽真	11	1	0	0.00
2 24	杉山幹希	6	2	0	0.00
3 44	五十嵐竜	5	1	0	0.00
4 49	安部祐希	2 $\frac{2}{3}$	0	0	13.50
5 18	星航太	1 $\frac{1}{3}$	0	0	27.00

試合数 4	打率 0.407	本塁打 3
犠打 2	盗塁 22	失策 2
防御率 2.77	奪三振 31	盗塁阻止率 -

連盟からのコメント

初めに、本大会開催にあたりご尽力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。新潟医療福祉大学軟式野球部は春季リーグ戦を圧倒的な力で勝ち上がってきました。今年のチームは走塁に力を入れ、1番から9番まで走れる選手を揃えました。全国の舞台でも自慢の機動破壊で日本一を目指して頑張りたいと思います。

新潟地区大学軟式野球連盟 委員長 高橋尚汰

チームからのコメント

初めに、本大会開催にあたりご尽力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。今期のチームの強みは積極的な走塁やエンドランなど足を使った攻撃です。リーグ戦では積極的な走塁で相手にプレッシャーを与えて戦いました。今大会でも自慢の走塁で自分たちの野球をし、優勝を目指して戦います。

新潟医療福祉大学 主将 宮崎俊輔

松本大学

長野県大学軟式野球連盟

2年ぶり 4回目

長野県松本市新村2095-1

部長	濱田 淳志	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	上條 大地	カミジョウ ダイチ	3	人間健康	田川
2	11	田村 優悟	タムラ ユウゴ	4	人間健康	丸子修学館
3	—	宮崎 陽菜	ミヤザキ ヒナ	4	人間健康	中野西
4	33	小林 咲太朗	コバヤシ サクタロウ	3	人間健康	松本美須々ヶ丘
5	1	成澤 克己	ナルサワ カツキ	3	人間健康	松商学園
6	35	小林 蓮	コバヤシ レン	3	総合経営	梓川
7	7	島田 和歩	シマダ カズホ	3	人間健康	長野工業
8	24	水出 圭斗	ミズイデ ケイト	3	人間健康	上田西
9	9	山崎 社悟	ヤマザキ トウゴ	3	人間健康	松商学園
10	—	小西 成弥	コニシ ナルミ	3	人間健康	松本美須々ヶ丘
11	—	内藤 凜凜	ナイトウ リンダ	3	人間健康	松商学園
12	45	水嶋 陽輝	ミズシマ ハルキ	2	人間健康	新潟県立糸魚川高校
13	6	増沢 尊	マスザワ タケル	2	人間健康	松商学園
14	15	馬場 龍希	ババ リュウキ	2	人間健康	塩尻志学館
15	86	松下 愛子	マツシタ アコ	2	人間健康	松川
16	—	赤羽 結	アカハネ ユイ	2	総合経営	伊那弥生ヶ丘
17	66	山田 統也	ヤマダ トウヤ	1	教育	松本美須々ヶ丘
18	5	亀田 蒼太	カメダ ソウタ	1	教育	山梨県立山梨高校
19	12	小林 恒介	コバヤシ コウスケ	1	総合経営	豊科
20	16	藤森 琴葉	フジモリ コトハ	1	人間健康	松本国際
21	2	平林 唯斗	ヒラバヤシ ユイト	1	教育	豊科
22	13	井口 瑛太	イグチ エイタ	1	総合経営	下諏訪向陽
23	8	上原 龍人	ウエハラ リュウト	1	教育	山梨県立身延高校
24	17	宮崎 湊	ミヤザキ ミナト	1	人間健康	山梨県立駿台甲府高校
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

8 戦 6 勝 1 敗 1 分

○	11	— 1	対 長野保健医療大学
△	3	— 3	対 公立諏訪東京理科大学
○	8	— 0	対 信州大学松本
●	1	— 3	対 信州大学長野
○	8	— 7	対 長野保健医療大学
○	6	— 0	対 公立諏訪東京理科大学
○	8	— 0	対 信州大学松本

○	8	— 2	対 信州大学長野
			対
			対
			対
			対
			対
			対

投手成績

背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1 1	成澤 克己	10 ⅓	1		0.00
2 16	藤森 琴羽	0 ⅓			0.00
3 33	小林 咲太郎	16 ⅔	1	1	3.78
4 45	水嶋 陽輝	30 ⅔	3		2.64
5 66	山田 統也	4	1		0.00

試合数	打率	本塁打
8	0.23	2
犠打	盗塁	失策
1	8	17
防御率	奪三振	盗塁阻止率
2.32	39	0.50

連盟からのコメント

はじめに、本大会開催にあたりご尽力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。
本大会の長野県代表校である松本大学は今季リーグ戦で最少失点とバッテリー陣のレベルの高さをみせました。また、一発がある打者が多く並び、攻撃的なバッティングが持ち味のチームです。守備から流れをつかみ、得点を重ねていき、全国の強豪へ挑みます。
長野県連盟悲願の全国一勝を掴み取ってください。応援しております。

長野県大学軟式野球連盟 委員長 小林 咲太郎

チームからのコメント

今大会では、どのような形でも得点を積み重ね、0点で守り抜いていく、いわゆる泥臭くプレーしていきます。3.4年生は今大会で大学野球の最後を迎えることになります。悔いが残らぬよう、最後まで全力プレーで戦い抜きます！
応援よろしくお願いいたします！！

松本大学 主将 上條 大地

福井工業大学

北陸地区大学軟式野球連盟

3年連続 5回目

福井県福井市学園3丁目6番地1号

部長	坂崎 貴彦	監督	坂崎 貴彦	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	中条 航哉	ナカジョウ コウヤ	3	経営情報	初芝立命館
2	11	清水 棧太	シミズ サンタ	3	スポーツ健康	羽水
3	41	惣宇利 翔太	ソウリ ショウタ	3	経営情報	丹生
4	25	高瀬 功太郎	タカセ コウタロウ	3	スポーツ健康	羽水
5	51	田中 優希	タナカ ユウキ	3	工	富山北部
6	—	中野 紬維	ナカノ ユウイ	3	経営情報	武生商工
7	—	藤田 滉惺	フジタ コウセイ	3	経営情報	鯖江
8	—	川上 輝人	カワカミ ライト	3	経営情報	鯖江
9	6	木下 徹成	キノシタ テッセイ	3	スポーツ健康	啓新
10	65	橋本 琢己	ハシモト タクミ	3	工	桜井
11	—	石野 結翔	イシノ ユイト	2	工	上越総合技術
12	—	伊藤 慎吾	イトウ シンゴ	2	経営情報	本庄第一
13	—	左近 悠翔	サコン ユウト	2	工	八幡
14	—	寺下 航生	テラシタ コウ	2	工	伊香
15	—	江川 楓華	エガワ フウカ	2	スポーツ健康	北陸
16	—	三上 怜也	ミカミ レイヤ	1	工	科学技術
17	—	鈴木 結叶	スズキ ユイカ	1	環境	日本航空
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4	戦	3	勝	1	敗	分
○	6	—	0	対	金沢学院大学	
●	3	—	4	対	富山県立大学	
○	8	—	2	対	富山大学	
○	不戦勝	—	不戦敗	対	石川県立大学	
		—		対		
		—		対		
		—		対		

投手成績

	背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1	10	中条航哉	17	2	0	0.53
2	11	清水棧太	3	0	0	0.00
3	65	橋本琢巳	1	0	0	0.00
4	1	左近悠翔	5	0	1	3.60
5						

試合数	打率	本塁打
3	0.278	1
犠打	盗塁	失策
1	3	15
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.03	17	0.00

連盟からのコメント

福井工業大学は、リーグ戦では2位という結果でしたが、決勝トーナメントではここの一番での勝負強さを発揮し、接戦を次々と制して選抜大会への出場を勝ち取りました。粘り強い戦いぶりとチーム一丸となったプレーが持ち味です。全国の舞台でも福井工業大学らしい粘り強い野球を存分に発揮し、上位進出を目指した活躍を期待しています。

委員長 左近悠翔

チームからのコメント

まず、全国大会という、大舞台でプレーできることを大変うれしく思います。今シーズンは打率2割7分8厘と良い成績を残せなかったが、チャンス場面でも1本だったり、つなぐ野球ができていたため、秋のリーグ戦から大幅な成長ができました。全国では、打線の主軸の木下、中野、惣宇利の打撃に期待です！そして、私たちの最大の武器は防御率1.03を誇る鉄壁の投手陣です。特に主将の中条は防御率0点台であり、巧みな投球で打者を翻弄してきました。全国では切れ味抜群の変化球で打者を打ち取る姿に期待しましょう！全国大会では工大魂で一戦必勝で優勝目指して頑張ります。

主将 中条航哉

中京学院大学

東海学生軟式野球連盟

6年連続 6回目

岐阜県中津川市千旦林1-104

部長	須栗 大	監督	太居 建人	コーチ	高柳 昌弘	コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	-------	-----	-------	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	臼井 陸渡	ウスイ リクト	4	経営	鹿児島実業
2	61	菅原 壮太	スガワラ ソウタ	4	経営	佐用
3	22	寺前 雅翔	テラマエ マサト	4	経営	あべの翔学
4	70	丸山 佳祐	マルヤマ ケイスケ	4	経営	長野俊英
5	56	水之浦 然	ミズノウラ ゼン	4	経営	鹿児島実業
6	24	新井 大翔	アライ タイト	3	経営	西武台
7	20	井熊 拓成	イクマ タクナリ	3	経営	開志学園
8	25	井上 武尊	イノウエ タケル	3	経営	あべの翔学
9	34	谷 真ノ輔	タニ シンノスケ	3	経営	鶴岡東
10	35	福盛 晃誠	フクモリ コウセイ	3	経営	鹿児島実業
11	14	榊井 仁翔	マスイ ジント	3	経営	あべの翔学
12	2	松浦 嶺	マツウラ リョウ	3	経営	松本国際
13	18	松田 夢羽	マツダ トワ	3	経営	松本国際
14	7	宮田 蒼羅	ミヤタ ソラ	3	経営	鶴岡東
15	15	大藪 紘道	オオヤブ ヒロミチ	2	経営	あべの翔学
16	11	中野 千弥	ナカノ ユキヤ	2	経営	鹿児島実業
17	55	中山 真人	ナカヤマ マナト	2	経営	あべの翔学
18	4	藤村 愁斗	フジムラ シュウト	2	経営	京都翔英
19	57	渡邊 航汰	ワタナベ コウタ	2	経営	鶴岡東
20	21	會田 大嘉	アイタ タイガ	1	経営	羽黒
21	13	川畑 巧希	カワバタ コウキ	1	経営	鹿児島実業
22	31	川辺 大智	カワベ ダイチ	1	経営	鶴岡東
23	5	後藤 大輝	ゴトウ ダイキ	1	経営	東北
24	47	志村 駿	シムラ シュン	1	経営	鶴岡東
25	19	平 悠永	タイラ ユウエイ	1	経営	専大北上
26	51	田中 勇飛	タナカ ユウヒ	1	経営	鶴岡東
27	32	永井 功誠	ナガイ コウセイ	1	経営	開志学園
28	3	長尾 青空	ナガオ ソラ	1	経営	鶴岡東
29	1	藤井 悠一郎	フジイ ユウイチロウ	1	経営	鶴岡東
30	23	藤村 宇多	フジムラ ウタ	1	経営	花巻東
31	33	森岡 和獅	モリオカ カズシ	1	経営	あべの翔学
32	17	山田 琉生	ヤマダ リュウセイ	1	経営	文徳
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4	戦	4	勝	敗	分	
○	6	—	0	対 東海学園大学	—	対
○	4	—	0	対 岐阜聖徳学園大学	—	対
○	不戦勝	—	不戦敗	対 名古屋大学	—	対
○	11	—	1	対 名城大学	—	対
		—		対	—	対
		—		対	—	対
		—		対	—	対

投手成績

背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1 1	菅原壮太	10	2	0	0.00
2 10	臼井陸渡	1	0	0	0.00
3 18	井熊拓成	4	0	0	0.00
4 20	榎井仁翔	3	0	0	0.00
5 21	山田琉生	1	0	0	0.00
6 31	志村駿	4	1	0	2.25

試合数	打率	本塁打
3	0.211	1
犠打	盗塁	失策
2	9	2
防御率	奪三振	盗塁阻止率
0.39	22	1.00

連盟からのコメント

本大会にご尽力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。東海学生連盟の代表は、昨年の選抜大会に続き、中京学院大学を送り出す事になりました。前回大会では悔しい結果に終わりましたが、昨年から出場しているメンバーに新戦力も加わりさらにレベルアップした姿を見せていただきたいとともに、代表としての自覚持ち全力でプレーしてくれることを期待しています。

東海学生軟式野球連盟 委員長 井熊拓成

チームからのコメント

本大会の運営に携わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。今大会は自分達の強みを発揮できるように、どんな状況でも自分達の野球を貫き、優勝を目指して戦います。日頃から支えてくださる方々、応援してくださる方々への感謝を胸にプレーと結果で恩返しできるよう一戦一戦全力で挑みます。

中京学院大学 松浦 嶺

佛教大学

近畿学生軟式野球連盟

3年連続 4回目

京都府京都市北区紫野北花ノ坊町96

部長	久米 良慶	監督	新谷 哲平	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	新谷 哲平	シンヤ テッペイ	3	教育	塔南
2	15	今井 琢己	イマイ タクミ	3	社会	宮津天橋
3	16	加藤 翼	カトウ ツバサ	3	仏教	塔南
4	11	登田 樹念	トダ ジュネン	3	仏教	大谷
5	1	吉岡 優汰	ヨシオカ ユウタ	3	社会福祉	京都皇學館
6	27	福島 鉄平	フクシマ テッペイ	3	社会	東山
7	13	小林 龍牙	コバヤシ リュウガ	3	歴史	洛西
8	2	野中 稟太	ノナカ リンタ	3	教育	東山
9	4	平田 春之介	ヒラタ ハルノスケ	3	歴史	東明
10	7	堀野 直道	ホリノ ナオミチ	3	教育	天王寺学園
11	19	米田 一星	ヨネダ イッセイ	3	文学	敦賀気比
12	24	奥村 大夢	オクムラ ヒロム	3	歴史	大谷
13	6	小林 峻大	コバヤシ シュンタ	3	歴史	金光大阪
14	9	下川 葉晴	シモカワ ヨウセイ	3	仏教	東山
15	20	山崎 陸杜	ヤマサキ リクト	3	社会	大阪体育大学付属浪商
16	63	米田 悠人	ヨネダ ユウト	3	社会	鳥取城北
17	—	緒方 乃亜	オガタ ノア	3	社会福祉	京都先端科学大学付属
18	—	久保田 結羽	クボタ ユウ	3	社会	浜名
19	—	西野 しおり	ニシノ シオリ	3	文学	鴨沂
20	—	土野 愛月	ヒジノ アヅキ	3	教育	常翔啓光学院
21	14	内田 光祐	ウチダ コウスケ	2	仏教	京都翔英
22	8	福永 尚史	フクナガ ヒサシ	2	保健医療技術	若狭
23	17	吉田 郁也	ヨシダ イクヤ	2	社会	城陽
24	18	清水 琉海	シミズ ルカイ	2	歴史	金光大阪
25	5	平良 皓亮	タイラ コウスケ	2	歴史	塔南
26	35	中村 陽成	ナカムラ ヨウセイ	2	社会福祉	北稜
27	23	山川 遥斗	ヤマカワ ハルト	2	歴史	浪速
28	51	梅元 陸	ウメモト リク	2	歴史	東山
29	41	永山 琥太郎	ナガヤマ コタロウ	2	歴史	槻の木
30	—	大前 実葉	オオマエ ミオリ	2	保健医療技術	京都女子
31	—	古川 真央	フルカワ マオ	2	教育	草津東
32	22	大橋 輝雄	オオハシ キュウ	1	仏教	京都翔英
33	29	倉貫 生久真	クラヌキ イクマ	1	社会	近江
34	77	辻 勇吹	ツジ イブキ	1	教育	塔南・開建高校
35	33	行待 瑠星	ユキマチ リュウセイ	1	歴史	東海大仰星
36	38	福山 晴丈	フクヤマ ハルタケ	1	仏教	京都翔英
37	37	稲岡 大知	イナオカ ダイチ	1	社会	金光大阪
38	28	井本 悟暉	イモト サトキ	1	社会	近江
39	34	谷口 駿介	タニグチ シュンスケ	1	歴史	三本松
40	55	西 拓真	ニシ タクマ	1	歴史	甲南
41	99	横川 陽大	ヨコガワ ヨウタ	1	教育	福知山成美
42	50	吉岡 幸輝	ヨシオカ コウキ	1	教育	東山
43	36	和田 侑大	ワダ ユウト	1	社会福祉	大阪産業大学付属高校
44	3	大谷 琉葵	オオタニ ルキ	1	社会	敦賀気比
45	25	久野 拓海	クノ タクミ	1	社会	城陽
46	58	小瀧 隆仁	コタキ リュウジン	1	仏教	久居
47	44	渋谷 奏太	シブタニ ソウタ	1	社会福祉	京都洛西
48	12	西岡 孝太	ニシオカ コウタ	1	社会福祉	金光大阪
49	21	望月 廉陽	モチヅキ レンヤ	1	社会	東山
50	26	森田 海	モリタ カイ	1	教育	東海大仰星

51	—	太田 乃愛	オオタ ノア	1	教育	北陵
52	—	趙 華那	チョウ ハナ	1	教育	京都すばる
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10 戦 7 勝 2 敗 1 分

○	5	—	1	対	神戸医療未来大学
○	7	—	3	対	京都産業大学
●	0	—	3	対	京都産業大学
○	9	—	0	対	大阪体育大学
○	4	—	2	対	大阪体育大学
△	4	—	4	対	大阪学院大学
○	11	—	4	対	神戸医療未来大学

○	6	—	4	対	大阪学院大学
○	6	—	5	対	神戸大学
●	0	—	7	対	神戸大学
		—		対	
		—		対	
		—		対	
		—		対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 1	吉岡 優汰	20	2	1	1.75
2 8	福永 尚史	32	3	0	1.97
3 11	登田 樹念	2	0	0	3.50
4 14	内田 光祐	3	0	1	7.00
5 15	今井 琢己	4	0	0	1.75
6 27	福島 鉄平	22	2	0	1.59

試合数 10	打率 0.247	本塁打 3
犠打 4	盗塁 21	失策 19
防御率 2.02	奪三振 44	盗塁阻止率 0.75

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、多くの関係者の皆様にご支援とご協力賜りましたことに、心より感謝申し上げます。佛教大学は3季連続の出場となりますが、いずれも序盤で姿を消し、辛酸を舐めてきました。今年はその悔しさを糧に全国制覇を目標に掲げ、忸怩たる思いをした先輩方や支えてくださる皆様の想いを背負い、この夏の全国の舞台を全力で駆け抜けます。3季連続、3度目の正直、全国の舞台で躍動する佛教大学の勇姿を、ぜひご覧ください。皆様からの熱いご声援を何卒よろしくお願いいたします。

近畿学生軟式野球連盟委員長 森洋介

チームからのコメント

私たち佛教大学軟式野球部は、リーグ二期連続優勝を果たし、三期連続で全国大会への出場権を獲得いたしました。

これまでの全国大会では悔しい結果が続きましたが、その悔しさをバネに、今年度は結成当初から「全国制覇」を目標に掲げ、チーム一丸となって練習に取り組んでまいりました。

積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮し、悲願である全国制覇に向けて全力で戦い抜きます。応援よろしくお願いいたします。

佛教大学軟式野球部 主将 新谷

関西大学

関西六大学軟式野球連盟

初出場

大阪府吹田市山手町3-3-35

部長	永井 良和	監督		コーチ	中村 優生	コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	-------	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	奥村 海生	オクムラ カイセイ	3	経済	大阪府立東高等学校
2	19	後藤 英仁	ゴトウ ヒデト	4	化学生命工	常翔啓光学園
3	16	内田 翔琉	ウチダ カケル	3	社会安全	岡山県立西大寺高等学校
4	27	山口 陸哉	ヤマグチ リクヤ	3	経済	松本深志高等学校
5	22	小野 航	オノ ワタル	3	商	明誠学院高等学校
6	3	藤井 快斗	フジイ カイト	3	経済	鈴鹿中等教育学校
7	5	柚之上 暁斗	ユノウエ アキト	3	社会	報徳学園高等学校
8	44	内木 喜斗	ナイキ ヨシト	3	政策創造	浜松開誠館高校
9	8	中野 暁斗	ナカノ アキト	3	総合情報	市立尼崎高等学校
10	9	白川 大地	シラカワ ダイチ	3	法	徳島県立城東高等学校
11	26	西川 愛希	ニシカワ アイキ	3	経済	大阪国際高校
12	17	江見 知哉	エミ トモヤ	3	経済	岡山県立林野高等学校
13	55	中野 太陽	ナカノ タイヨウ	3	経済	関西大学第一高等学校
14	—	林野 綾音	ハヤシノ アヤネ	3	経済	小林聖心女子学院高等学校
15	—	福山 菜々美	フクヤマ ナナミ	3	商	枚方高校
16	—	兼清 瑞希	カネキヨ ミズキ	3	社会安全	山口県立萩高等学校
17	—	黒田 八菜絵	クロダ ハナエ	3	社会	兵庫県立龍野高等学校
18	—	福田 紬	フクダ ツムギ	3	経済	大阪府立東高等学校
19	—	眞鍋 志歩	マナベ シホ	3	社会安全	住吉高校
20	11	國平 大雅	クニヒラ タイガ	2	政策創造	徳島県立城南高等学校
21	12	井上 昇	イノウエ ショウ	2	商	和泉高校
22	15	前田 琳久	マエダ リク	2	政策創造	八尾高校
23	21	寺戸 健吾	テラド ケンゴ	2	文	長田高校
24	2	池田 耕太郎	イケダ コウタロウ	2	法	須磨学院高等学校
25	1	東元 大知	ヒガシモト ダイチ	2	政策創造	樫原高校
26	4	浦上 優真	ウラガミ ユウマ	2	文	創志学園高等学校
27	34	新田 詩貴	ニッタ シキ	2	政策創造	富田林高校
28	14	松村 幸汰郎	マツムラ コウタロウ	2	化学生命工	大阪産業大学附属高校
29	24	林 恭成	ハヤシ キョウセイ	2	法	山口県立岩国高等学校
30	25	永山 裕真	ナガヤマ ユウマ	2	法	御影高校
31	—	杉山 千海	スギヤマ チヒロ	2	法	兵庫高校
32	—	今田 小鈴	イマダ コリン	2	文	関西大学北陽高校
33	—	中西 優佳	ナカニシ ユウカ	2	法	箕面高校
34	—	仲島 羽菜	ナカジマ ハナ	2	化学生命工	大手前高等学校
35	—	大塚 依彩希	オオツカ イサキ	2	法	鳳高校
36	—	磯部 航	イソベ ワタル	1	法	関西大学北陽高等学校
37	—	酒徳 夏輝	サカトク ナツキ	1	法	伊勢高校
38	—	橋本 康平	ハシモト コウヘイ	1	ビジネスデータサイエンス	北須磨高校
39	—	山口 結太一	ヤマグチ ユタカ	1	総合情報	市立尼崎
40	—	若林 航太	ワカバヤシ コウタ	1	経済	西大和学園高校
41	—	片渕 絢心	カタフチ ケンシン	1	文	佐賀県立佐賀北高等学校
42	—	青田 一真	アオタ カズマ	1	政策創造	御影高校
43	—	甘崎 獅音	アマサキ シン	1	商	清風南海高等学校
44	—	鎌田 紘太郎	カマダ コウタロウ	1	社会	北嶺高校
45	—	北前 凜太郎	キタマエ リンタロウ	1	環境都市工	大阪桐蔭高校
46	—	西口 蓮斗	ニシグチ レント	1	政策創造	関西大学北陽高等学校
47	—	的場 絢平	マトバ ジュンペイ	1	経済	若狭高校
48	—	浅川 公哉	アサカワ コウヤ	1	法	福岡大学附属大濠高等学校
49	—	市岡 真聖	イチオカ マナト	1	ビジネスデータサイエンス	近江高校
50	—	櫛本 樹生	イチモト イツキ	1	法	明星高校

51	—	齋藤 優毅	サイトウ ユウキ	1	ビジネスデータサイエンス	須磨翔風高校
52	—	徳永 千尋	トクナガ チヒロ	1	文	関西大学北陽高等学校
53	—	本台 悠翔	ホンダイ ハルト	1	法	東海大学付属大阪仰星高校
54	—	足立 遥	アダチ ハルカ	1	社会	寝屋川高校
55	—	新井 怜未	アライ レミ	1	化学生命工	牧野高校
56	—	荒木 薫	アラキ カオル	1	社会	西宮今津高校
57	—	古長 梨沙子	コチョウ リサコ	1	化学生命工	関西大学北陽高等学校
58	—	杉本 光茉莉	スギモト ヒマリ	1	政策創造	関西大学高等部
59	—	橘 光莉	タチバナ ヒカリ	1	社会	大阪学芸高校
60	—	田中 美聡	タナカ ミサト	1	社会	奈良県立桜井高等学校
61	—	松井 花心	マツイ ハナミ	1	化学生命工	関西大学第一高等学校
62	—	三山 美月	ミヤマ ミツキ	1	化学生命工	住吉高校
63	—	摸利 優菜	モウリ ユウナ	1	文	関西大学高等部
64	—	森 葵衣	モリ アオイ	1	環境都市工	関西大学第一高等学校
65	—	山田 怜奈	ヤマダ レナ	1	社会	大阪つくば開成高校
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10 戦 7 勝 3 敗 分

●	1	— 2×	対 甲南大学
○	9×	— 2	対 大阪公立大学
○	6×	— 5	対 関西学院大学
○	4×	— 3	対 立命館大学
○	10×	— 1	対 甲南大学
○	6×	— 5	対 大阪公立大学
○	9	— 0	対 関西学院大学

●	4	— 6	対 同志社大学
○	4	— 0	対 立命館大学
●	6	— 7×	対 同志社大学
		—	対
		—	対
		—	対
		—	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	10	奥村海生	34 ⅓	3	1	2.10
2	19	後藤英仁	28 ⅔	3	2	4.40
3	16	内田翔琉	9 ⅓	1	0	2.00
4						
5						

試合数	打率	本塁打
10	0.246	2
犠打	盗塁	失策
14	6	10
防御率	奪三振	盗塁阻止率
3.35	50	0.13

連盟からのコメント

関西六大学からは、春季リーグ戦で三つ巴の激闘を制した関西大学が初出場します。エースで主将の奥村を中心に、下級生時から主力として試合に出場していたメンバーが残っており投打に戦力十分です。勢いそのままに今大会でも勝ち上がることを期待しています。

理事長

チームからのコメント

13年ぶりの全国大会出場を果たしました。代表としての誇りと挑戦者の気持ちを忘れず、一戦必勝で全国制覇を目指します。チーム一丸となって最後まで全力で戦いますので、ご声援よろしくお願いいたします。

主将

流通科学大学

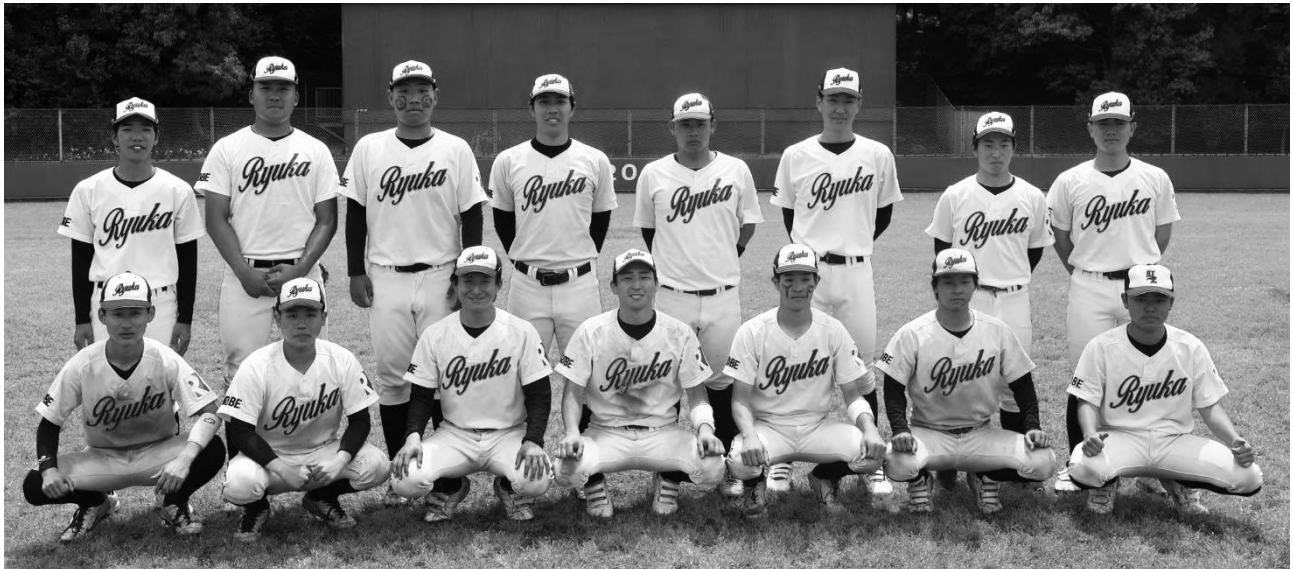
西都大学軟式野球連盟

2年ぶり 3回目

兵庫県神戸市西区学園西町3-1

部長	安田 政彦	監督	家島 大輔	コーチ	久保 祐大	コーチ	藤原 拓馬	トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	有岡 侑哉	アリオカ ユウヤ	3	人間社会	上郡
2	20	高野 修平	コウノ シュウヘイ	4	経済	徳島市立
3	8	近藤 蒼来	コンドウ ソラ	4	人間社会	興国
4	3	濱口 友希	ハマグチ トモキ	3	人間社会	淡路三原
5	34	村口 滉斗	ムラグチ ヒロト	3	人間社会	鳥取商業
6	23	出葉 凜太郎	デハ リンタロウ	3	経済	高松南
7	36	中島 悠希	ナカジマ ユウキ	2	商	神戸北
8	5	柳生 翔海	ヤギユウ ショウマ	2	人間社会	鹿島学園
9	6	大原 飛翔	オオハラ ツバサ	2	経済	池田
10	25	岡吉 大埜	オカヨシ ダイヤ	2	人間社会	神戸国際大附属
11	4	清水 来翔	シミズ ライト	2	商	あべの翔学
12	18	奥田 真太郎	オクダ シンタロウ	1	人間社会	神港学園
13	14	大内 陽聖	オオウチ ヨウセイ	1	人間社会	新田
14	7	寺口 芽生跳	テラグチ メイト	1	商	八頭
15	2	仲村 日向汰	ナカムラ ヒナタ	1	商	あべの翔学
16	—	瀬賀 成龍	セガ セイリュウ	1	人間社会	明石商業
17	1	中居 健太	ナカイ ケンタ	1	人間社会	あべの翔学
18	—	栗垣 志帆	クワガキ シホ	1	商	網干
19	—	花畑 結月	ハナバタ ユツキ	1	人間社会	クラーク記念国際
20	—	日和 優奈	ヒヨリ ユウナ	1	商	愛徳学園
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

10	戦	9	勝	1	敗	分						
○	4	—	0	対	天理大学		○	6	—	4	対	天理大学
○	8	—	4	対	大阪経済法科大学		○	4	—	1	対	大阪国際大学
○	5	—	0	対	大阪国際大学		●	4	—	9	対	桃山学院大学
○	10	—	0	対	帝塚山大学				—		対	
○	2	—	1	対	桃山学院大学				—		対	
○	9	—	2	対	大阪経済法科大学				—		対	
○	12	—	11	対	帝塚山大学				—		対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 20	高野 修平	42	5		1.07
2 18	奥田 真太郎	34 ⅓	3	1	3.67
3 36	中島 悠希	3			9.00
4 34	村口 滉斗	2 ⅓			3.91
5 2	仲村 日向汰	2 ⅓	1		3.91

試合数 10	打率 0.22	本塁打 1
犠打 7	盗塁 35	失策 12
防御率 2.57	奪三振 48	盗塁阻止率 0.67

連盟からのコメント

本大会の開催におかれまして準備、運営に携わられた関係者の皆様に感謝、御礼申し上げます。
西都大学軟式野球連盟から流通科学大学が代表校として出場致します。
投手力を中心とした堅実な守りと持ち前の勝負強い打撃でリーグ優勝を果たしました。
全日本大学軟式野球選抜大会という最高峰の舞台で野球ができるということに感謝の気持ちを持ち、日々の練習の成果を思う存分発揮して、活躍してくれることを期待しております。

理事長 安田 政彦

チームからのコメント

まず初めに、本大会開催にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝、御礼申し上げます。
第6回全日本大学軟式野球選抜大会に出場できることを大変嬉しく思います。
私たちは一人ひとりが役割を果たし、全員で勝利を掴むことを目標に日々練習に取り組んできました。
全国というレベルの高い舞台でも、一戦一戦を大切に、自分たちの持ち味である粘り強さを発揮し戦っていききたいと思います。
応援の程よろしくお願いいたします。

主将 有岡侑哉

京都文教大学

京滋大学軟式野球連盟

2年ぶり 4回目

京都府宇治市槇島町千足80

部長	名塩 匡	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	西出 成那	ニシデ セイナ	3	総合社会	京都廣学館
2	22	東原 寛佳	ヒガシハラ ヒロヨシ	4	総合社会	西乙訓
3	23	松田 拓斗	マツダ タクト	4	総合社会	京都すばる
4	1	佐原 みな実	サハラ ミナミ	4	臨床心理	西城陽
5	—	山田 沙和	ヤマダ サワ	4	子ども教育	日吉ヶ丘
6	55	奥田 蒼央	オクダ アオ	3	総合社会	田辺
7	2	北村 洸	キタムラ コウキ	3	総合社会	堅田
8	11	大月 颯人	オオツキ ハヤト	3	総合社会	久御山
9	7	音羽 悠斗	オトワ ユウト	3	総合社会	田辺
10	56	久保 裕翔	クボ ユイト	3	総合社会	京都翔英
11	8	西田 太陽	ニシダ タイヨウ	3	総合社会	田辺
12	51	西出 敦哉	ニシデ アツヤ	3	総合社会	京都文教
13	14	市瀬 玲緒	イチセ レオ	2	総合社会	綾羽
14	65	松田 和樹	マツダ カズキ	2	総合社会	延暦寺学園比叡山
15	31	村田 真一	ムラタ シンイチ	2	総合社会	延暦寺学園比叡山
16	42	大橋 功太郎	オオハシ コウタロウ	2	総合社会	京都精華学園
17	13	西岡 大輝	ニシオカ ハルキ	1	総合社会	城陽
18	6	柳田 政温	ヤナギダ マサハル	1	総合社会	久御山
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

8	戦	7	勝	1	敗	分
○	10	—	5	対	龍谷大学	
○	不戦勝	—	不戦敗	対	滋賀県立大学	
●	3	—	4×	対	びわこ成蹊スポーツ大学	
○	不戦勝	—	不戦敗	対	滋賀県立大学	
○	6	—	2	対	びわこ学院大学	
○	9×	—	2	対	龍谷大学	
○	2	—	0	対	びわこ成蹊スポーツ大学	

○	不戦勝	—	不戦敗	対	びわこ学院大学
		—		対	
		—		対	
		—		対	
		—		対	
		—		対	
		—		対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1	1 佐原 みな実	33	4	0	2.45
2	11 大月 颯人	6 ⅓	0	1	2.70
3	55 奥田 蒼央	4	0	0	6.75
4					
5					

試合数	打率	本塁打
8	0.232	2
犠打	盗塁	失策
2	5	7
防御率	奪三振	盗塁阻止率
3.63	21	0.50

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

京都文教大学は投手を中心に守り勝つ野球で2年ぶりの選抜大会出場を決めました。

エースの佐原は両サイドを丁寧につく投球でゲームを作り、打っては主将の西出成を中心に一戦一戦を勝ち抜いてきました。

全国の舞台では接戦が予想されますが、京滋連盟代表として全力を尽くしてもらえればと思います。

京滋大学軟式野球連盟 委員長 久保裕翔

チームからのコメント

初めに本大会開催にあたり、ご尽力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。

リーグ戦ではエース佐原を中心に、粘り強い守備で勝ち抜いてきました。

全国大会では、粘り強い守備と、数少ないチャンスを生かせる打撃をし、一戦必勝で戦っていきます。

主将 西出成那

福山平成大学

中国地区大学軟式野球連盟

6年連続 6回目

広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

部長	高本 健彦	監督	高本 健彦	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	坂本 太希	サカモト ダイキ	3	福祉健康	興譲館
2	25	成清 拓夢	ナリキヨ タクム	4	福祉健康	創志学園
3	55	前畑 俊介	マエハタ シュンスケ	4	福祉健康	岡山南
4	9	江原 功晟	エバラ コウセイ	4	福祉健康	米子北
5	7	横原 寛大	ヨコハラ ヒロト	4	福祉健康	福山葦陽
6	—	今村 華音	イマムラ カノン	4	福祉健康	国分
7	19	黒木 慎人	クロギ マコト	3	福祉健康	福山葦陽
8	6	社 忠彦	ヤシロ タダヒコ	3	福祉健康	広島広陵
9	34	大土井 海翔	オオドイ カイト	3	福祉健康	神辺
10	15	門田 悠聖	モンデン ユウト	2	福祉健康	福山葦陽
11	31	大田 智治	オオタ トモハル	2	福祉健康	糸満
12	2	占部 海翔	ウラベ カイト	2	福祉健康	松永
13	23	村上 琉偉	ムラカミ ルイ	2	福祉健康	近畿大学附属福山
14	4	川角 駿介	カワスミ シュンスケ	2	福祉健康	おかやま山陽
15	8	早川 諒	ハヤカワ リョウ	2	福祉健康	下関国際
16	—	岡崎 陽菜	オカザキ ヒナ	2	看護	近畿大学附属福山
17	—	道原 彩加	ミチハラ アヤカ	2	福祉健康	大門
18	11	園尾 泰世	ソノオ タイセイ	1	福祉健康	福山葦陽
19	48	新谷 厚支	ニイヤ アツシ	1	福祉健康	矢掛
20	13	松下 尚生	マツシタ ナオ	1	福祉健康	神辺旭
21	5	高橋 巧	タカハシ タクミ	1	福祉健康	福山葦陽
22	44	丸西 大空	マルニシ タク	1	福祉健康	境港総合技術
23	—	佐藤 柚乙妃	サトウ ユズビ	1	福祉健康	広島広陵
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4	戦	4	勝	敗	分
○	11	—	1	対	近畿大学工学部
○	4	—	1	対	福山大学
○	9	—	0	対	近畿大学工学部
○	8	—	2	対	福山大学
		—		対	

—	対
—	対
—	対
—	対
—	対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 15	門田 悠聖	6	1	0	0.00
2 19	黒木 慎人	23	3	0	1.57
3 11	園尾 泰世	1	0	0	0.00
4 48	新谷 厚支	1	0	0	0.00
5					

試合数 4	打率 2.87	本塁打 3
犠打 13	盗塁 6	失策 4
防御率 1.16	奪三振 25	盗塁阻止率 1.00

連盟からのコメント

まずはじめに、今大会の運営にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。
6年連続6度目の出場おめでとうございます。
リーグ戦で圧倒した打力・投手力と福山平成大学らしい野球を存分に出せるよう優勝目指して頑張ってください。

中国地区大学軟式野球連盟 理事長 荒谷健太郎

まずはお尽力いただきました関係者の方々に御礼申し上げます。大会に出場するにあたり、多くの人に支えられこの大舞台に立つことができることへの感謝の気持ちを忘れずに、中国地区連盟の代表として誇りを持って、行動と全力プレーで大会を盛り上げてください。チーム一丸となり全国の舞台で好成績を挙げられることを期待しております。福山平成大学は自慢の投手力、粘り強いバッティングがストロングポイントです。全国大会でもこの自慢の強さを武器に中国地区大学軟式野球連盟代表として優勝を目指して頑張ってください。

中国地区大学軟式野球連盟 委員長 大土井海翔

チームからのコメント

まずは、大会に携わっていただいた関係者方々に御礼申し上げます。感謝の気持ちを忘れず、福山平成大学らしく、最後まで諦めない粘り強いプレースタイルを貫き、多くの人に応援してもらえるよう頑張ります。守備面では、投手を中心に最小失点で守り抜き、打撃面では、つなぐ野球をしました。私たちのチームでは1という数字を大切に、チーム一丸となり、目標である全国制覇を目指して一戦必勝で頑張ります。

福山平成大学 主将 坂本太希

愛媛大学

四国地区大学軟式野球連盟

2年連続 4回目

愛媛県松山市道後樋又10-13

部長	井上 敏憲	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	沖 馨	オキ カオル	3	理	三原
2	11	片浪 遼太郎	カタナミ リョウタロウ	3	社会共創	八鹿
3	6	迫川 昂生	サコガワ コウセイ	3	工	尾道北
4	39	片山 咲空	カタヤマ サク	3	工	三原
5	4	児玉 優大	コダマ ユウタ	3	教育	呉三津田
6	22	杉野 寛	スギノ ヒロシ	3	理	広島工業大学
7	3	田窪 天磨	タクボ テンマ	3	法文	松山南
8	15	福垣内 佑織	フクガイチ ユウリ	3	工	松山南
9	1	梶原 晃太	カジワラ コウタ	3	社会共創	松山南
10	8	菊池 大翔	キクチ ヤマト	3	工	松山南
11	21	白石 蓮太郎	シライシ レンタロウ	3	教育	松山南
12	17	仲村 光汰	ナカムラ コウタ	3	工	八鹿
13	—	武智 百香	タケチ モモカ	3	法文	愛媛大学附属
14	—	辰巳 和	タツミ ノドカ	3	法文	呉宮原
15	48	野田 愛斗	ノダ マナト	2	理	清風
16	23	酒井 史登	サカイ フミト	2	法文	松山南
17	5	世良 祐太	セラ ユウタ	2	教育	修道
18	54	土佐岡 幸陽	トサオカ コウヨウ	2	教育	広島工業大学
19	77	馬場 柊也	ババ シュウヤ	2	農	岡山芳泉
20	57	堀江 一慧	ホリエ イツケイ	2	理	日立第一
21	52	梶川 歩	カジカワ アユム	2	社会共創	広島井口
22	34	角 健太郎	スミ ケンタロウ	2	社会共創	向陽
23	18	田中 優真	タナカ ユウマ	2	社会共創	東洋大学附属姫路
24	9	西村 太一	ニシムラ タイチ	2	教育	広島井口
25	66	福澤 優成	フクザワ ユウセイ	2	法文	日田
26	31	福家 頼人	フケ ライト	2	法文	新居浜東
27	62	渡部 智裕	ワタナベ トモヒロ	2	工	松山南
28	—	宇都宮 心	ウツノミヤ ココロ	2	社会共創	新田
29	—	和田 愛梨	ワダ アイリ	2	法文	愛媛大学附属
30	63	堀川 陽翔	ホリカワ ハルト	1	法文	海田
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	4	勝	1	敗	分
●	3	—	6	対	香川大学	対
○	11	—	2	対	徳島大学	対
○	5	—	0	対	高松大学	対
○	15	—	7	対	高知工科大学	対
○	15	—	8	対	高知大学	対
		—		対		対
		—		対		対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 6	迫川昂生	32	3	1	2.53
2 15	福垣内佑織	4	1	0	4.50
3 11	片浪遼太郎	3	0	0	0.00
4 21	白石蓮太郎	3	0	0	0.00
5					

試合数 5	打率 0.233	本塁打 1
犠打 0	盗塁 23	失策 13
防御率 2.36	奪三振 36	盗塁阻止率 0.00

連盟からのコメント

まず、大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。愛媛大学の皆さん、選抜大会への出場おめでとうございます。リーグ戦では混戦となりましたが、その中で最後まで諦めずプレーし優勝を掴んだ姿に深く感銘を受けました。選抜大会でも、チームの持ち味を存分に発揮し勝利を重ねられることを願っております。皆さんのご健闘を心よりお祈り申し上げます。

四国地区大学軟式野球連盟
理事長 田原晃生
委員長 高月凱士

チームからのコメント

応援してくださる皆さんのおかげで、2年連続の選抜大会への出場を達成することができました。本大会に向けてはチーム力の高さを充分に発揮し、勝利できるようチーム一丸となって準備を進めていきます。応援よろしくお願いいたします。

愛媛大学 主将 沖馨

熊本県立大学

九州地区大学軟式野球連盟

2年連続 2回目

熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号

部長	本田圭市郎	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	宇都宮 巧	ウツノミヤ タクミ	3	総合管理	真和
2	1	川窪 清正	カワクボ キヨマサ	3	総合管理	必由館
3	4	坂本 勝亮	サカモト ショウスケ	3	総合管理	熊本学園大学付属
4	99	中澤 優雅	ナカザワ ユウガ	3	総合管理	熊本北
5	7	中村 優斗	ナカムラ ユウト	3	総合管理	熊本学園大学付属
6	6	宮田 良太郎	ミヤタ リョウタロウ	3	総合管理	マリスト学園
7	11	井島 祐人	イジマ ユウト	3	総合管理	八代
8	14	桑田 颯太	クワタ ソウタ	3	総合管理	宇土
9	9	境 竜輝	サカイ リュウキ	3	総合管理	八代
10	8	佐藤 貴志	サトウ タカシ	3	総合管理	熊本北
11	77	高木 悠聖	タカキ ユウセイ	3	総合管理	熊本北
12	5	高田 裕史	タカタ ユウシ	3	総合管理	熊本学園大学付属
13	45	谷本 剛将	タニモト タケマサ	3	総合管理	熊本北
14	66	野口 大和	ノグチ ヤマト	3	総合管理	熊本学園大学付属
15	56	前田 陽向	マエダ ヒナタ	3	総合管理	マリスト学園
16	25	吉永 覇世	ヨシナガ ハヤセ	3	総合管理	熊本北
17	—	池田 二葉	イケダ フタバ	3	総合管理	大津
18	—	高沢 葵	タカザワ アオイ	3	総合管理	八代
19	16	上村 麟太郎	ウエムラ リンタロウ	2	総合管理	第二
20	13	岡本 陸	オカモト リク	2	総合管理	真和
21	21	河畑 聡	カワハタ サトシ	2	環境共生	広島観音
22	43	竹田 瑛人	タケダ アキト	2	総合管理	第一
23	41	駒木根 煌士	コマキネ コウシ	2	総合管理	玉名
24	2	福原 夏生	フクハラ ナツキ	2	環境共生	熊本学園大学付属
25	23	菊川 恭生	キクカワ キョウセイ	2	文	玉名
26	20	中村 航大	ナカムラ コウダイ	1	総合管理	鹿児島南
27	18	村上 壱心	ムラカミ イッシン	1	総合管理	熊本学園大付属
28	24	那須 蒼汰	ナス ソウタ	1	総合管理	熊本北
29	—	木村 莉久	キムラ リク	1	総合管理	熊本北
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	5	勝	敗	分
○	11	— 1	対 九州看護福祉大学		— 対
○	12	— 1	対 宮崎産業経営大学		— 対
○	3	— 0	対 鹿児島大学		— 対
○	10	— 3	対 崇城大学		— 対
○	不戦勝	—	対 鹿児島国際大学		— 対
		—	対		— 対
		—	対		— 対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	20	中村 航大	15 $\frac{2}{3}$	3	0	1.15
2	16	上村 麟太郎	6	0	0	1.50
3	10	宇都宮 巧	5 $\frac{1}{3}$	1	0	1.69
4						
5						

試合数	打率	本塁打
4	0.235	0
犠打	盗塁	失策
1	17	7
防御率	奪三振	盗塁阻止率
1.33	28	1.00

連盟からのコメント

熊本県立大学の皆さん全日本選抜大会の出場おめでとうございます。昨年に引き続き2年連続の出場となると思いますが昨年達成できなかった全国での1勝を目標にして精一杯頑張ってください。九州地区代表として長野の地で皆さんが躍動して楽しくプレーする姿を心より楽しみにしております。プレーに対して悔いのないようにそして野球ができることに感謝しながら楽しんでください。良い報告を期待しております。

理事長 上木 卓

チームからのコメント

私たちのチームは1年生から3年生までバランスよく構成されたチームで、学年の垣根を越え日々切磋琢磨してきました。私たちの強みは守備力で、守備からリズムを作り試合を戦います。2年連続で全国大会という貴重な舞台で全国の強豪校と試合ができるという喜びを感じながら、去年の経験を活かしつつ1試合でも多く試合ができるようにチーム一丸となって臨みたいと思います。

熊本県立大学 主将 宇都宮巧

沖縄大学

沖縄県大学軟式野球連盟

2年連続 3回目

沖縄県那覇市国場555番地

部長	上原 将司	監督	玉城 祥梧	コーチ	高良 尚武	コーチ	大嶺 俊貴	トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	伊良波 翔也	イラハ ショウヤ	3	人文	知念
2	1	榮門 三志朗	エイモン サンシロウ	4	人文	北中城
3	2	大城 瑠己	オオシロ ルイ	4	人文	沖縄水産
4	3	中谷 陸人	ナカヤ リクト	4	経法商	知念
5	4	嶺井 一輝	ミネイ イツキ	4	経法商	沖縄水産
6	一	比嘉 にこ	ヒガ ニコ	4	人文	沖縄カトリック
7	5	上原 秀介	ウエハラ シュウスケ	3	人文	沖縄尚学
8	6	嘉手刈 朔	カデカル サク	3	経法商	名護
9	7	神里 空弥	カンザト クウヤ	3	経法商	KBC学園未来
10	8	岸本 浩徳	キシモト ヒロノリ	3	人文	日本ウェルネス
11	9	具志堅 智大	グシケン チヒロ	3	経法商	名護
12	11	多宇 恭輔	タウ キョウスケ	3	経法商	八重山農林
13	12	當銘 由己	トウメ ユウゴ	3	経法商	糸満
14	13	仲間 叶翔	ナカマ カナト	3	人文	KBC学園未来
15	14	浜川 理須岐	ハマカワ リズキ	3	人文	北中城
16	15	比嘉 ルキヤ	ヒガ ルキヤ	3	人文	宜野座
17	16	宮城 杏太郎	ミヤギ キョウタロウ	3	経法商	名護
18	17	柳沢 壮	ヤナギサワ ソウ	3	経法商	糸満
19	18	米須 清奈	ヨネス セイナ	3	人文	浦添
20	19	赤嶺 来紗	アカミネ ライサ	2	人文	南部商業
21	20	新垣 未来	アラカキ ミク	2	人文	知念
22	21	島袋 芳智	シマブクロ ヨシトモ	2	人文	KBC学園未来
23	22	瀬底 柊	セソコ シュウ	2	経法商	陽明
24	23	田崎 和	タサキ ナゴム	2	人文	那覇商業
25	24	成山 涼	ナリヤマ リョウ	2	人文	大阪
26	24	比嘉 啓斗	ヒガ ケイト	2	人文	名護商工
27	25	松本 琉	マツモト リュウ	2	経法商	知念
28	26	山川 隼平	ヤマカワ シュンペイ	2	経法商	浦添商業
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

3	戦	2	勝	1	敗	分
○	10	—	7	対	名桜大学	
○	12×	—	1	対	名桜大学	
●	4	—	6	対	名桜大学	
		—		対		
		—		対		
		—		対		
		—		対		

—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	18	上原	9	1	0	7.00
2	8	浜川	5	1	0	1.00
3	16	米須	8	0	1	6.00
4						
5						

試合数 3	打率 0.25	本塁打 1
犠打 1	盗塁 3	失策 11
防御率 5.72	奪三振 18	盗塁阻止率 1.00

連盟からのコメント

沖縄大学の選手のみなさん、出場おめでとうございます。この大会を成功させるために身に多くの役員、学生が準備に奔走しています。そのことを常に忘れないようにしてください。感謝の気持ち、そして素晴らしい球場で全国の強豪と試合できる喜びをかみしめて、沖縄県大学軟式野球連盟の代表として躍動してください。

沖縄大学軟式野球連盟 理事長 上原将司

チームからのコメント

今回のチームでは打撃が強いチームなのでそこを活かして守備でもリズムを作って流れを持っていくように試合運びたいと言っていた。

委員長 岸本浩徳

東北学院大学

東北地区大学軟式野球連盟

3年ぶり 4回目

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

部長	坂本 譲	監督	鈴木 勝博	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	渡辺 雄太	ワタナベウタ	3	人間科学	東北学院
2	15	山田 蓮	ヤマダ レン	4	経営	仙台商業
3	19	千葉 翔太	チバ ショウタ	4	文	尚絅学院
4	7	平間 春多	ヒラマ シュンタ	4	人間科学	東北学院
5	26	狩野 宏人	カリノ ヒロト	4	地域総合	仙台商業
6	13	岡本 歩武	オカモト アユム	3	経営	専修大学北上
7	14	三浦 龍晟	ミウラ リュウセイ	3	地域総合	仙台商業
8	50	工藤 勇太	クドウ ユウタ	3	地域総合	東北学院
9	5	佐藤 杜和	サトウ トワ	3	地域総合	東北学院
10	22	竹内 一颯	タケウチ イッサ	3	法	仙台
11	35	松野 颯太	マツノ ソウタ	3	経営	東北学院
12	42	佐々木 元弥	ササキ モトヤ	3	工	白石
13	66	増子 大羅	マスコ オオラ	3	経営	仙台
14	—	藤本 那琉	フジモト ナイル	3	文	上山明新館
15	18	佐々木 大輔	ササキ ダイスケ	2	地域総合	仙台商業
16	34	楠本 憲新	クスモト ケンシン	2	経営	仙台商業
17	3	平塚 丈流	ヒラツカ タケル	2	経営	東北学院
18	39	黒田 瑛生	クロダ テルキ	2	工	東北学院
19	99	山田 權	ヤマダ カイ	2	工	東北学院
20	37	善林 蓮	ゼンバヤシ レン	2	文	塩釜
21	36	永倉 昭和	ナガクラ アキカズ	2	情報	東北学院
22	27	常川 仁貴	ツネカワ ヒトキ	2	経済	仙台
23	1	藤田 悠生	フジタ ヒサキ	2	経済	東北学院
24	45	早坂 暖汰	ハヤサカ ヒナタ	2	経済	聖和学園
25	88	舩井 健太	マスイ ケント	2	地域総合	茨城キリスト教学園
26	51	佐藤 海渡	サトウ カイト	2	法	東北学院
27	4	千葉 賢汰	チバ ケンタ	2	情報	東北学院
28	60	能登 一晴	ノト イッセイ	2	文	新庄東
29	55	松室 重汰	マツムロ シゲタ	2	情報	就実
30	33	石橋 永	イシバシ エイ	2	地域総合	仙台
31	—	菊地 早穂	キクチ サホ	2	文	仙台三桜
32	25	加藤 緋我	カトウ ヒュウガ	1	経済	仙台商業
33	47	引地 遼汰	ヒキチ リョウタ	1	経営	仙台商業
34	49	大塚 圭吾	オオツカ ケイゴ	1	地域総合	能代
35	20	福岡 八洲	フクオカ ヤシマ	2	法	東北学院
36	16	菅原 千隼	スガワラ チハヤ	4	国際	東北学院
37	6	大槻 俊齊	オオツキ シュンサイ	4	文	聖光学院
38	44	高橋 優生	タカハシ ユウセイ	1	文	利府
39	12	小林 史弥	コバヤシ フミヤ	1	文	秋田南
40	24	加藤 周平	カトウ シュウヘイ	1	情報	仙台
41	31	真壁 遼	マカベ リョウ	1	法	会津学鳳
42	56	佐藤 柚希	サトウ ユズキ	1	法	東北学院
43	68	菊池 絢翔	キクチ アヤト	1	法	クラーク記念国際
44	64	後藤 颯太	ゴトウ ソウタ	1	経済	一関第一
45	23	菊池 洸太郎	キクチ コウタロウ	1	人間科学	能代
46	17	小野 彰真	オノ ショウマ	1	人間科学	東北学院
47	69	玉置 滉太	タマキ コウタ	1	文	泉館山
48						
49						
50						



地区大会戦績

8	戦	6	勝	2	敗	分
●	0	—	1	対	東北福祉大学	
○	11	—	4	対	東北工業大学	
○	4	—	3	対	宮城教育大学	
○	5	—	1	対	山形大学	
○	8	—	0	対	尚絅学院大学	
○	12	—	4	対	東北大学	
○	11	—	0	対	日大工学部	

●	2	—	3	対	仙台大学
				対	
				対	
				対	
				対	
				対	
				対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 3	平塚丈流	4 $\frac{2}{3}$			0.00
2 13	岡本歩武	11			2.76
3 14	三浦龍晟	16 $\frac{1}{3}$			2.76
4 18	佐々木大輔	17 $\frac{2}{3}$			0.51
5 34	楠本憲新	10			3.60
6 50	工藤勇太	1 $\frac{1}{3}$			0.00
7 99	山田 權	1			9.00

試合数 8	打率 0.255	本塁打 4
犠打 4	盗塁 16	失策 8
防御率 2.29	奪三振 54	盗塁阻止率 0.00

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に御礼申し上げます。東北学院大学は、奥羽・東北地区ブロック代表決定トーナメントで優勝し、本大会出場と決めました。タイプの異なる多才な投手陣と、打線では、切れ目が無く、長打力があるバッター陣が魅力です。3年ぶりの出場となりますが、上位目指して全員野球を期待しております。

東北地区大学軟式野球連盟理事長 鈴木 勝博

チームからのコメント

始めに、本大会開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に、御礼申し上げます。東北地区予選では、厳しい戦いを積み重ねるごとにチームが大きく成長し、全国大会出場を掴むことができました。今大会では、日頃支えて下さる学校関係者の皆様、そして応援してくださるすべての皆様への感謝を胸に、「どこよりも楽しみ、常に成長する」東北学院大学らしさを見せて全力プレーで挑みます！

東北学院大学 主将 渡辺 雄太

東京経済大学

東都大学軟式野球連盟

2年連続 3回目

東京都国分寺市南町1-7-34

部長	高井良健一	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	徳山 遼	トクヤマ リョウ	3	現代法	関東第一
2	9	氏原 玄翔	ウジハラ ゲント	4	経済	磐田南
3	5	木内 健達	キウチ タケト	4	経済	西武台
4	22	今西 凜太郎	イマニシ リンタロウ	4	現代法	聖望学園
5	1	上村 俊平	カミムラ シュンペイ	3	経済	川口市立
6	18	斉藤 悠大	サイトウ ユウダイ	3	コミュニケーション	朝霞
7	16	高橋 拓夢	タカハシ タクム	3	経営	新潟明訓
8	17	高山 寛大	タカヤマ ヒロハル	3	経済	大宮南
9	24	秋山 武蔵	アキヤマ ムサシ	3	現代法	甲府昭和
10	47	大島 大輝	オオシマ ダイキ	3	経済	本庄東
11	41	加藤 大輔	カトウ ダイスケ	3	コミュニケーション	山村学園
12	15	金田 映栄	カネダ アキト	3	経営	春日部共栄
13	7	佐藤 悠河	サトウ ユウガ	3	現代法	北越
14	55	関根 祐仁	セキネ ヨシヒト	3	経営	川口市立
15	99	荻野 恵琉	オギノ サトル	3	現代法	西武台
16	51	香川 温大	カガワ ハルト	3	経営	上尾
17	27	瀬谷 匠史	セヤ タクミ	3	経営	錦城学園
18	0	小澤 勇輝	オザワ ユウキ	2	コミュニケーション	豊岡
19	48	関口 凜斗	セキグチ リト	2	経営	深谷商業
20	29	野澤 優太	ノザワ ユウタ	2	現代法	長野商業
21	58	渡部 光汰	ワタナベ コウタ	2	経営	狭山ヶ丘
22	31	渡邊 航喜	ワタナベ コウキ	2	経済	福島商業
23	30	浅井 理来	アサイ リク	2	経済	入間向陽
24	14	荒川 義人	アラカワ ヨシト	2	現代法	西武台
25	23	桜庭 悠吾	サクラバ ユウゴ	2	現代法	郡山
26	57	杉山 隼人	スギヤマ ハヤト	2	経営	矢板東
27	6	黒川 伊吹	クロカワ イブキ	2	現代法	久喜北陽
28	12	豊島 翔太	トヨシマ ショウタ	2	経済	東村山西
29	20	大石 晃生	オオイシ コウキ	2	経済	東京成徳
30	26	大城 卓馬	オオシロ タクマ	2	経営	武蔵丘
31	59	久保田 英輝	クボタ ヒデキ	2	経営	明星
32	56	佐々木 遼	ササキ リョウ	2	経済	小山
33	96	星野 博明ユアン	ホシノ ヒロアキユアン	2	現代法	駿台甲府
34	—	玉井 由莉	タマイ ユリ	2	現代法	日野
35	42	大淵 祐輝	オオフチ ユウキ	1	経済	聖望学園
36	43	中城 立暉	ナカシロ リツキ	1	現代法	東京成徳
37	44	林 天良	ハヤシ テラ	1	経済	御影
38	45	望月 大雅	モチヅキ タイガ	1	現代法	都留
39	46	渡邊 冬雅	ワタナベ トウガ	1	経営	上尾
40	49	入澤 俊太郎	イリサワ シュンタロウ	1	現代法	桐朋
41	50	菊池 悠星	キクチ ユウセイ	1	経営	川口市立
42	52	石塚 慶虎	イシヅカ ケイト	1	経営	日立北
43	53	榎木 大空	エノキ ソラ	1	経済	大成
44	54	奥川 周	オクガワ シュウ	1	経済	城西大学附属城西
45	60	小野 琥太郎	オノ コタロウ	1	経済	川口
46	61	加藤 佑理	カトウ ユウリ	1	経営	新潟明訓
47	62	門田 琥珀	カドタ コハク	1	経営	山村学園
48	63	小牧 柊太	コマキ シュウタ	1	経営	富士森
49	64	澤田 渉	サワダ ワタル	1	経営	川口市立
50	65	清水 日穂	シミズ ヒオン	1	経済	新潟明訓

51	66	鈴木 零二	スズキ レイジ	1	経済	山村学園
52	67	岩佐 寛太	イワサ カンタ	1	経営	東海大学菅生
53	68	浦田 爽	ウラタ ソウ	1	コミュニケーション	富山第一
54	69	高橋 杜	タカハシ モリ	1	現代法	明法
55	70	田部井 慎二	タベイ シンジ	1	経営	浦和
56	71	西村 友稀	ニシムラ トモキ	1	経済	静岡市立
57	—	中野 友美	ナカノ ユミ	1	経済	駒沢学園女子
58	—	久原 結季	ヒサハラ ユウキ	1	コミュニケーション	川越南
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10 戦 7 勝 3 敗 0 分

●	0	—	1	対	日本体育大学
○	42	—	0	対	二松学舎大学
●	2	—	4	対	国士舘大学
○	8	—	2	対	二松学舎大学
○	6	×	3	対	青山学院大学
●	1	—	14	対	日本体育大学
○	6	—	2	対	日本大学商学部

○	6	—	5	対	青山学院大学
○	不戦勝	—	不戦敗	対	日本大学商学部
○	17	—	0	対	国士舘大学
		—		対	
		—		対	
		—		対	
		—		対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 1	上村 俊平	36 $\frac{2}{3}$	3	1	2.83
2 58	渡部 洸太	28 $\frac{1}{3}$	4	0	2.08
3 18	高山 寛大	15	0	2	5.14
4 16	高橋 拓夢	9	0	0	2.00
5 25	野澤 優太	8	1	0	1.13

試合数 10	打率 0.297	本塁打 12
犠打 12	盗塁 26	失策 7
防御率 3.05	奪三振 75	盗塁阻止率 0.62

連盟からのコメント

第6回全日本大学軟式野球選抜大会の開催を心よりお慶び申し上げます。本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。西関東ブロック大会を勝ち抜き、全国の舞台に立つ東京経済大学の皆様は、粘り強い野球を積み重ねてきた自信と誇りを胸に、この大会へ臨まれることと思います。支えてくださる方々への感謝を忘れず、自分たちの野球を貫き、存分に力を発揮してください。健闘を祈っています。

東都大学軟式野球連盟 理事長 相場奨太

チームからのコメント

本大会の関係者様、並びに開催に尽力してくださった皆様に深く感謝申し上げます。本年も西関東ブロック代表として出場する運びとなりました。今年のチームは、昨年の打ち勝つスタイルとは対照的に、泥臭く粘り強い野球が持ち味です。一人ひとりが勝利のために役割を全力で全うします。全国大会でも自分たちの野球を貫き、日頃から支えてくださる方々へ感謝を胸に全力で戦い抜きます。応援のほど、よろしくお願いいたします。

東京経済大学 主将 徳山遼

茨城大学

北関東大学軟式野球連盟

初出場

茨城県水戸市文京二丁目1-1

部長	大津 展子	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	豊田 哲寿	トヨダ テツヒロ	3	教育	日立第一
2	4	竹江 真哉	タケエ マサヤ	4	人文社会科	水戸桜ノ牧
3	21	廣江 直太郎	ヒロエ ナオタロウ	3	教育	太田第一
4	20	向井 凜	ムカイ リン	3	教育	竜ヶ崎第一
5	46	猪股 鴻志郎	イノマタ コウシロウ	3	教育	会津
6	35	安部 魁莉	アベ カイリ	3	工	郡山
7	24	飯島 笙太	イイジマ ショウタ	3	教育	下妻第一
8	38	池野 素晴	イケノ スバル	3	教育	水戸桜ノ牧
9	6	河合 晟	カワイ アキラ	3	工	旭川東
10	25	矢口 駈士	ヤグチ カケル	3	教育	下妻第一
11	55	柳田 大和	ヤナギダ ヤマト	3	教育	土浦第二
12	50	芦間 陽生	アシマ ハルキ	3	工	太田第一
13	5	遠藤 真	エンドウ マコト	3	教育	茨城
14	53	仲宗根 一志	ナカソネ カズシ	3	工	名護
15	13	ホセイン マイムン	ホセイン マイムン	3	工	真岡
16	45	宮本 恒星	ミヤモト コウセイ	3	人文社会科	日立第一
17	—	岩渕 彩葉	イワブチ イロハ	3	教育	下館第一
18	—	佐々木 彩音	ササキ アヤネ	3	教育	土浦第二
19	1	及川 泰生	オイカワ タイセイ	2	教育	八千代松陰
20	18	高松 俊希	タカマツ トシキ	2	人文社会科	土浦日本大学
21	39	廣江 創太郎	ヒロエ ソウタロウ	2	教育	茨城
22	3	田中 亮丞	タナカ リョウスケ	2	教育	盛岡第三
23	—	荻山 紗彩	オギヤマ サヤ	2	教育	砺波
24	—	照山 朋佳	テルヤマ トモカ	2	教育	水戸第二
25	11	菅谷 彰展	スガヤ アキヒロ	1	農	土浦日本大学
26	41	丸山 晴輝	マルヤマ ハルキ	1	教育	日立第一
27	27	赤穂 晴仁	アカホ ハルト	1	工	野沢北
28	16	大谷 龍輝	オオタニ タツキ	1	理	竜ヶ崎第一
29	19	野口 礼央	ノグチ レオ	1	農	都立昭和
30	—	浅野 媛香	アサノ ヒメカ	1	人文社会科	下妻第一
31	—	柴田 優月	シバタ ユヅキ	1	人文社会科	秋田南
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

5	戦	4	勝	1	敗	分
○	4×	3	対 上武大学			
○	10	1	対 筑波大学			
●	2	3	対 白鷗大学			
○	4×	2	対 茨城キリスト教大学			
○	11×	1	対 作新学院大学			
			対			
			対			

	—	対
	—	対
	—	対
	—	対
	—	対
	—	対
	—	対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 1	及川 泰生	16	1	0	1.13
2 18	高松 俊希	2	1	0	0.00
3 20	向井 凜	13	0	0	2.77
4 21	廣江 直太郎	12	2	1	1.50
5					

試合数 5	打率 0.256	本塁打 0
犠打 5	盗塁 21	失策 8
防御率 1.67	奪三振 33	盗塁阻止率 0.25

連盟からのコメント

第6回全日本大学軟式野球選抜大会の開催おめでとうございます。また開催にあたり街尽力いただいております関係者の皆様に心より感謝申し上げます。我が母校「茨城大学」、強豪揃いの東関東ブロック大会を勝ち抜き、なんと34年ぶりの全国大会出場おめでとうございます！北関東リーグ戦で発揮した実力をそのままに、初出場の全日本大学軟式野球選抜大会でも「イバダイ旋風」を期待しております！

北関東大学軟式野球連盟 理事長 菊池安武

チームからのコメント

本大会開催にあたり、ご尽力いただいております大会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本学は34年ぶり2回目の全国大会出場を果たしました。私たちの強みは、学生主体のチームづくりです。学年や出場の有無に関係なく全員で話し合い、主体性をもって活動しています。また、一人ひとりが課題を持ち、日々切磋琢磨しながら技術とチーム力を高めてきました。全国大会という舞台で、チーム最大の武器である一体感を発揮し、全力で戦います。応援をよろしくお願いいたします。

茨城大学主将 豊田哲寿

富山県立大学

北陸地区大学軟式野球連盟

2年連続 3回目

富山県射水市黒河5180

部長	春成円十朗	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	木本 健太	キモト ケンタ	3	工	桜井
2	99	清水 康太郎	シミズ コウタロウ	4	工	大聖寺
3	—	岩見 陽菜	イワミ ヒナ	4	看護	南砺福野
4	23	石井 康喜	イシイ コウキ	3	工	富山いずみ
5	20	上野 太雅	ウエノ タイガ	3	工	関
6	17	堀尾 曜亮	ホリオ ヨウスケ	3	工	新湊
7	21	市川 大凱	イチカワ タイガ	3	工	桜井
8	2	朽木 健汰	クチキ ケンタ	3	工	富山いずみ
9	25	竹島 飛翔	タケシマ ツバサ	3	工	桜井
10	5	村上 駿	ムラカミ シュン	3	情報工	桜井
11	38	市川 尚寛	イチカワ ナオヒロ	3	工	愛知工業大学名電
12	56	高橋 勇輝	タカハシ ユウキ	3	情報工	高田城北
13	62	吉本 賢太	ヨシモト ケンタ	2	工	大府東
14	33	遠藤 綾人	エンドウ アヤト	2	情報工	雄山
15	46	小栗 隼祐	オグリ シュンスケ	2	工	南砺福野
16	16	木坂 匠登	キザカ タクト	2	情報工	金沢錦丘
17	47	西村 淳	ニシムラ アツシ	2	工	富山南
18	37	村上 翔真	ムラカミ ショウマ	2	工	富山いずみ
19	8	田村 颯太	タムラ ソウタ	2	工	富山いずみ
20	—	山本 瑛人	ヤマモト エイト	1	工	遊学館
21	—	市川 悠駕	イチカワ ユウガ	1	情報工	中津
22	—	周詞 睦侍	シュウジ ムサシ	1	情報工	安城
23	—	湊 慶太	ミナト ケイタ	1	工	砺波
24	—	山田 壮真	ヤマダ ソウマ	1	工	豊田南
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4	戦	3	勝	1	敗	分
○	3×	—	2	対	富山大学	—
○	4×	—	3	対	福井工業大学	—
○	11×	—	1	対	石川県立大学	—
●	11	—	13	対	金沢学院大学	—
		—		対		—
		—		対		—
		—		対		—

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 17	堀尾 曜亮	25 ⅓	2	0	2.12
2 23	石井 康喜	6	1	0	1.50
3 46	小栗 隼佑	1 ⅓	0	1	55.38
4					
5					

試合数 4	打率 0.236	本塁打 1
犠打 0	盗塁 5	失策 13
防御率 4.36	奪三振 46	盗塁阻止率 0.00

連盟からのコメント

富山県立大学は、ヒットを積み重ねて得点に繋げるつなぐ野球が持ち味のチームです。また、球威のある投手陣を擁し、攻守のバランスに優れています。選抜大会でも持ち前の粘り強い野球と力強い投球を武器に、一戦一戦全力で戦い抜き、躍進することを期待しています。

チームからのコメント

今年は2、3年生中心のチームとなりました。今年のチームも結束力が強く、楽しみながら野球をするところが特徴です。今年も楽しんで野球をし、初戦突破を目指します。

主将 木本健太

岐阜聖徳学園大学

東海学生軟式野球連盟

3年ぶり 4回目

岐阜県岐阜市柳津町高桑西2丁目

部長	竹本 康史	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	新美 孫佑	ニイミ マゴスケ	3	教育	日本福祉大学付属
2	13	三浦 惇史	ミウラ アツシ	3	教育	豊橋東
3	82	高銚 優希	タカホコ ユウキ	3	教育	清林館
4	14	岸田 倅昇	キシダ コウスケ	3	教育	岐阜聖徳学園
5	77	傍島 倫	ソバジマ リン	3	教育	大垣南
6	25	牧野 竜也	マキノ タツヤ	3	教育	栄徳
7	67	山本 秀海	ヤマモト シュウ	3	外国語	各務原
8	—	百合草 美花	ユリクサ ミハナ	3	教育	各務原
9	6	所 航生	トコロ コウセイ	2	人文	本巣松陽
10	5	伊藤 昌真	イトウ ショウマ	2	教育	南砺福野
11	4	岩本 悠希	イワモト ユウキ	2	経済情報	岐阜聖徳学園
12	55	小栗 孝介	オグリ コウスケ	2	教育	恵那
13	33	兼城 功暉	カネシロ コウキ	2	教育	普天間
14	3	酒井 鼓旺	サカイ コオ	2	教育	美方
15	8	佐藤 航太郎	サトウ コウタロウ	2	教育	横須賀
16	70	多和田 夏音	タワダ ナオ	2	教育	各務原
17	—	築山 美香	ツキヤマ ミカ	2	教育	刈谷北
18	51	岡田 央朗	オカダ ヒロアキ	1	教育	浜名
19	22	石川 大雅	イシカワ タイガ	1	教育	岡崎西
20	34	内野 晴斗	ウチノ ハルト	1	教育	浜名
21	39	柴田 和寿	シバタ カズトシ	1	教育	五条
22	27	平井 琳久	ヒライ リク	1	教育	岐阜聖徳学園
23	11	前田 拓実	マエダ タクミ	1	教育	石動
24	9	室谷 海智	ムロヤ カイチ	1	教育	啓新
25	20	平山 貴大	ヒラヤマ キヒロ	1	教育	名古屋経済大学高蔵
26	17	近山 陽斗	チカヤマ ハルト	1	教育	岐山
27	—	大川原 歩香	オオカワラ ホノカ	1	教育	長良
28	—	河合 紀佳	カワイ ノリカ	1	教育	清林館
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

4 戦 2 勝 2 敗 分

12	—	2	対	名古屋大学
1	—	3	対	名城大学
0	—	4	対	中京学院大学
13	—	3	対	東海学園大学
—			対	
—			対	
—			対	

—			対	
—			対	
—			対	
—			対	
—			対	
—			対	
—			対	

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 10	新美 孫佑	11 $\frac{2}{3}$	0	0	0.00
2 13	三浦 惇史	12 $\frac{2}{3}$	2	1	3.75
3 6	所 航生	5 $\frac{1}{3}$	0	1	8.44
4					
5					

試合数 4	打率 0.345	本塁打 0
犠打 4	盗塁 9	失策 6
防御率 3.10	奪三振 17	盗塁阻止率 0.40

連盟からのコメント

本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。東海・長野ブロック代表として、岐阜聖徳学園大学が3年ぶりに選抜大会へ出場することとなりました。3年ぶりに掴み取った全国への切符は、選手・スタッフが積み重ねてきた努力の証です。全国の舞台では、東海・長野ブロック代表としての誇りを胸に、一球一球に全力を尽くし、持てる力を存分に発揮してくれることを期待しています。最後まで堂々と戦い抜き、悔いのない大会となることを願っています。皆様の温かいご声援をよろしくお願いいたします。

チームからのコメント

このチームで全国の舞台に立てることを、心から幸せに思います。感謝の気持ちを胸に、目の前の1試合に全力を尽くします。チーム一丸となって、1試合でも多くこのチームで戦えるよう頑張ります。

主将 新美 孫佑

立命館大学

関西六大学軟式野球連盟

6年連続 6回目

京都府京都市北区等持院北町56-1

部長	田原 憲和	監督	土田 祐脩	コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	-------	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	森藤 大登	モリフジ ヒロト	3	総合心理	崇徳
2	44	長内 尚希	オサナイ ナオキ	4	法	立命館慶祥
3	24	下條 拓人	シモジョウ タクト	4	政策科学	立命館守山
4	57	水上 諒	ミズカミ リョウ	4	法	立命館慶祥
5	9	横山 晴駿	ヨコヤマ ハルトシ	4	政策科学	立命館
6	6	伊藤 諒成	イトウ リョウセイ	4	理工	三重
7	37	新井 優成	アライ ユウセイ	4	産業社会	立命館慶祥
8	18	井島 隼太	イトリ シュンタ	4	政策科学	立命館慶祥
9	14	江原 啓登	エバラ ケイト	3	産業社会	立命館宇治
10	2	川内 健太	カワウチ ケンタ	3	スポーツ健康科学	自由ヶ丘
11	15	播馬 笙樹	ハリマ ショウキ	3	情報理工	立命館
12	11	番能 幸生	バンノウ コウキ	3	政策科学	立命館
13	12	米倉 悠真	ヨネクラ ユウマ	3	理工	立命館
14	22	永田 将梧	ナガタ ショウゴ	3	政策科学	立命館
15	48	西村 隆之介	ニシムラ リュウノスケ	3	政策科学	立命館
16	33	舩津 廉太郎	フナツ レンタロウ	3	経済	立命館
17	27	安田 陽	ヤスダ ハル	3	経済	安積
18	58	井上 滉一朗	イノウエ コウイチロウ	3	経営	立命館
19	1	円谷 悠太郎	ツムラヤ ユウタロウ	3	スポーツ健康科学	須賀川桐陽
20	7	長澤 直太郎	ナガサワ ナオタロウ	3	総合心理	立命館
21	3	中野 琉成	ナカノ リュウセイ	3	文	菊里
22	4	橋本 海翔	ハシモト カイト	3	政策科学	立命館
23	—	西村 聖菜	ニシムラ セナ	3	産業社会	日吉ヶ丘
24	—	西脇 千笑	ニシワキ チエ	3	産業社会	立命館
25	—	松下 奈々	マツシタ ナナ	3	産業社会	戸畑
26	—	森下 結渚	モリシタ ユイナ	3	文	立命館
27	16	川本 海斗	カワモト カイト	2	政策科学	立命館
28	8	酒井 辰徳	サカイ タツノリ	2	映像	観音寺第一
29	47	廣野 都倭	ヒロノ トワ	2	法	立命館宇治
30	67	榊原 珀	サカキバラ ハク	2	法	立命館
31	52	木村 友俐	キムラ ユウリ	2	産業社会	立命館宇治
32	62	佐久間 大翔	サクマ タイト	2	産業社会	立命館宇治
33	69	小代 遼太郎	ショウダイ リョウタロウ	2	産業社会	綾羽
34	99	藤井 広大	フジイ コウダイ	2	産業社会	立命館宇治
35	13	藤井 真生	フジイ マオ	2	政策科学	立命館
36	98	室 涼雅	ムロ リョウガ	2	法	日高
37	84	渡邊 蒼生	ワタナベ アオイ	2	法	東福岡
38	31	木村 大輔	キムラ ダイスケ	2	文	立命館
39	64	庄司 駿斗	ショウジ ハヤト	2	産業社会	立命館慶祥
40		白井 俊輔	シライ シュンスケ	2	法	須磨東
41	61	杉崎 隼也	スギサキ シュンヤ	2	政策科学	立命館宇治
42		妹尾 英俊	セノウ ヒデトシ	2	法	金光学園
43	5	花井 克迅	ハナイ マサト	2	情報理工	立命館
44	—	大沼 陽	オオヌマ ヒナタ	2	文	草津東
45		大平 慎太郎	オオダイラ シンタロウ	1	産業社会	十日町
46		長谷川 右京	ハセガワ ウキョウ	1	薬学	北里順天
47		山田 陽輝	ヤマダ ハルキ	1	文	立命館宇治
48		米田 宇志	コメダ タカシ	1	スポーツ健康科学	春日丘
49		伊吹 大駕	イブキ タイガ	1	産業社会	立命館慶祥
50		勝見 賢	カツミ ケン	1	産業社会	立命館慶祥

51		鈴木 煌大	スズキ コウダイ	1	産業社会	磐田南
52		大槻 泰雅	オオツキ タイガ	1	文	高蔵寺
53		加藤 慶太	カトウ ケイタ	1	産業社会	立命館慶祥
54		吉野 飛駕	ヨシノ ヒュウガ	1	総合心理	立命館宇治
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						



地区大会戦績

10 戦 7 勝 3 敗 0 分

3-1 対 同志社大学
 5-6 対 大阪公立大学
 2-1 対 関西学院大学
 3-4 対 関西大学
 4-1 対 同志社大学
 5-1 対 大阪公立大学
 16-9 対 関西学院大学

9-0 対 甲南大学
 0-4 対 関西大学
 13-6 対 甲南大学
 - 対
 - 対
 - 対
 - 対

投手成績

	背番号	氏 名	回 数	勝	敗	防御率
1	16	川本 海斗	40 ⅓			1.56
2						
3						
4						
5						

試合数 10	打率 0.268	本塁打 1
犠打 5	盗塁 33	失策
防御率 3.21	奪三振 68	盗塁阻止率

連盟からのコメント

関西ブロック代表として、2年前に本大会と選手権大会を制した立命館大学が出場します。春季リーグ戦の連覇は逃したものの、ブロック大会では持ち前の勝負強さを発揮して勝ち上がりました。同じくブロック代表から優勝した2年前の再来を期待しています。

チームからのコメント

夏の王座奪還に向けて、チーム一丸となって全力で戦い抜きます

徳島大学

四国地区大学軟式野球連盟

2年ぶり 2回目

徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地

部長	日下 一也	監督		コーチ		コーチ		トレーナー		トレーナー	
----	-------	----	--	-----	--	-----	--	-------	--	-------	--

	背番号	氏 名	氏名フリガナ	学年	学 部	出 身 校
1	10	村瀬 翔太	ムラセ ショウタ	3	理工	加古川東
2	18	吉本 拓生	ヨシモト タクミ	3	理工	姫路飾西
3	44	増田 權人	マスダ カイト	3	理工	加古川東
4	4	稲元 佑真	イナモト ユウマ	3	理工	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎
5	1	志賀 大晟	シガ タイセイ	3	理工	加古川東
6	5	高尾 瑠衣斗	タカオ ルイト	3	理工	武田
7	51	坪井 大和	ツボイ ヤマト	3	理工	奈良学園登美ヶ丘
8	2	原田 大也	ハラダ ヒロヤ	3	理工	淡路三原
9	11	頭師 悠月	ズシ ユツキ	3	理工	脇町
10	—	桑原 涼花	クワハラ スズカ	3	生物資源産業	小野
11	—	堤 万倫	ツツミ マリン	3	生物資源産業	長田
12	13	井垣 和太	イガキ カズト	2	理工	加古川東
13	25	高曽根 克	タカソネ カツミ	2	理工	城南
14	19	西原 大和	ニシハラ ヤマト	2	理工	今治西
15	23	山下 颯太	ヤマシタ ソウタ	2	総合科	諫早
16	7	藤井 星那	フジイ セナ	2	理工	姫路飾西
17	—	山本 早織	ヤマモト サオリ	2	生物資源産業	城東
18	15	水野 風雅	ミズノ フウガ	1	理工	中津
19	99	松野 航太	マツノ コウタ	1	総合科	加古川東
20	61	桶谷 僚	オケタニ リョウ	1	理工	京都教育大学附属
21	9	北田 裕一	キタダ ユウイチ	1	理工	雲雀丘学園
22	16	木山 純輝	キヤマ アツキ	1	総合科	神戸学院大学附属
23	67	竹見 悠成	タケミ ユウセイ	1	理工	柏原
24	17	坪田 健斗	ツボタ ケント	1	理工	石山
25	12	徳山 昶太郎	トクヤマ コウタロウ	1	理工	清風
26	63	長村 佳偉斗	ナガムラ カイト	1	理工	開明
27	20	西村 省吾	ニシムラ ショウゴ	1	理工	兵庫
28	66	深尾 隼	フカオ シュン	1	理工	清風
29	27	藤田 聡太	フジタ ソウタ	1	理工	明石城西
30	6	古川 怜	フルカワ レイ	1	理工	徳島市立
31	3	森繁 颯太	モリシゲ ハヤタ	1	理工	三田祥雲館
32	8	八幡 侑磨	ヤワタ ユウマ	1	理工	高知追手前
33	28	徳田 駿矢	トクダ シュンヤ	1	理工	北須磨
34	21	蓮沼 秀太	ハスヌマ シュウタ	1	理工	開智
35	—	原田 結叶	ハラダ ユイカ	1	生物資源産業	城ノ内中等教育学校
36	—	山本 華子	ヤマモト ハナコ	1	理工	城ノ内中等教育学校
37	—	渡辺 彩里	ワタナベ アイリ	1	理工	滝川第二
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						



地区大会戦績

7	戦	6	勝	1	敗	分
●	2	—	11	対	愛媛大学	
○	11	×	1	対	高知工科大学	
○	3	—	1	対	高知大学	
○	6	—	3	対	高松大学	
○	3	—	2	対	香川大学	
○	7	—	0	対	福山大学	
○	2	×	1	対	香川大学	

—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対
—	対

投手成績

背番号	氏名	回数	勝	敗	防御率
1 18	吉本拓生	49	5	1	1.10
2 5	高尾瑠衣斗	5	1	0	5.40
3 10	村瀬翔太	5	0	0	0.00
4					
5					

試合数 7	打率 0.208	本塁打 2
犠打 2	盗塁 27	失策 21
防御率 1.37	奪三振 45	盗塁阻止率 0.15

連盟からのコメント

まず、大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。徳島大学の皆さん、選抜大会への出場おめでとうございます。リーグ戦では惜しくも優勝には届きませんでしたが、ブロック大会で粘り強さを発揮し、勝ち抜いた姿に深く感銘を受けました。選抜大会でも、チームの持ち味を存分に発揮し勝利を重ねられることを願っております。皆さんのご健闘を心よりお祈り申し上げます。

四国地区大学軟式野球連盟
理事長 田原晃生
委員長 高月凱士

チームからのコメント

第4回大会以降、全国大会の出場から遠ざかっていたため、今回ようやく大会出場の切符をつかみ取ることができて良かったです。本大会においても、地方大会で発揮した、投手力の高さ、試合での粘り強さを発揮し、前回大会で惜しくもあと一歩のところまで大会出場のかなわなかったOBの方々の思いとともに「徳大らしい」戦いをしていきたいと思えます！！

徳島大学 主将 村瀬翔太

全日本大学軟式野球連盟 加盟大学一覧 (全22連盟)

2026年5月31日時点

加盟大学数	活動中	休部中
214	164	50

北海道地区大学軟式野球連盟 (23校)

國學院大學北海道短期大学	札幌大学	札幌医科大学	札幌学院大学
札幌国際大学	公立千歳科学技術大学	東京農業大学北海道オホーツク	日本医療大学
公立はこだて未来大学	北翔大学	北星学園大学	北海学園大学
北海商科大学	北海道大学	北海道大学水産学部	北海道医療大学
北海道科学大学	北海道教育大学旭川校	北海道教育大学札幌校	北海道教育大学函館校
北海道情報大学	北海道千歳リハビリテーション大学	酪農学園大学	

奥羽地区大学軟式野球連盟 (9校)

秋田大学	岩手大学	北里大学獣医学部	国際教養大学
ノースアジア大学	八戸学院大学	八戸工業大学	弘前大学
盛岡大学			

東北地区大学軟式野球連盟 (12校)

石巻専修大学	尚絅学院大学	仙台大学	東北大学
東北学院大学	東北芸術工科大学	東北工業大学	東北福祉大学
日本大学工学部	東日本国際大学	宮城教育大学	山形大学

東京六大学軟式野球連盟 (6校)

慶應義塾大学	東京大学	法政大学	明治大学
立教大学	早稲田大学		

首都大学軟式野球連盟 (12校)

嘉悦大学	淑徳大学	創価大学	大東文化大学
高千穂大学	東京学芸大学	東京電機大学理工学部	東京理科大学
獨協大学	日本医療科学大学	武蔵大学	明星大学

東都大学軟式野球連盟 (7校)

青山学院大学	国士舘大学	東京経済大学	二松学舎大学
日本大学商学部	日本体育大学	和光大学	

北関東大学軟式野球連盟 (12校)

茨城大学	茨城キリスト教大学	宇都宮大学	国際医療福祉大学
作新学院大学	上武大学	聖学院大学	筑波大学
帝京大学宇都宮	東京福祉大学	常磐大学	白鷗大学

東関東大学軟式野球連盟 (18校)

SBC東京医療大学	江戸川大学	神田外語大学	杏林大学
国際武道大学	城西国際大学	上智大学	千葉商科大学
中央学院大学	朝鮮大学校	つくば国際大学	帝京大学
帝京科学大学	東京理科大学理工学部	日本大学経済学部	日本大学生産工学部
日本大学理工学部	流通経済大学		

南関東大学軟式野球連盟 (11校)

健康科学大学	産業能率大学	湘南工科大学	鶴見大学
田園調布学園大学	桐蔭横浜大学	東海大学	文教大学湘南校舎
明治大学生田校舎	横浜商科大学	横浜市立大学	

東京新大学軟式野球連盟（7校）

國學院大學二部	駒澤大学	専修大学神田キャンパス	東京都立大学
東京理科大学二部	東洋大学二部	日本大学法学部	

新潟地区大学軟式野球連盟（8校）

敬和学園大学	新潟大学	新潟大学医学部	新潟大学歯学部
新潟医療福祉大学	新潟県立大学	新潟国際情報大学	新潟薬科大学

長野県大学軟式野球連盟（5校）

信州大学長野	信州大学松本	公立諏訪東京理科大学	長野保健医療大学
松本大学			

北陸地区大学軟式野球連盟（7校）

石川県立大学	金沢学院大学	金沢星稜大学	仁愛大学
富山大学	富山県立大学	福井工業大学	

東海学生軟式野球連盟（12校）

岐阜経済大学	岐阜聖徳学園大学	星城大学	大同大学
中京大学	中京学院大学	東海学園大学	名古屋大学
名古屋学院大学（名古屋）	名古屋経済大学	日本福祉大学	名城大学

近畿学生軟式野球連盟（15校）

大阪大学	大阪大谷大学	大阪学院大学	大阪工業大学
大阪成蹊大学	大阪体育大学	大阪物療大学	京都大学
京都産業大学	神戸大学	神戸医療未来大学	神戸学院大学
奈良大学	兵庫県立大学	佛教大学	

関西六大学軟式野球連盟（6校）

大阪公立大学	関西大学	関西学院大学	甲南大学
同志社大学	立命館大学		

西都大学軟式野球連盟（12校）

大阪経済法科大学	大阪芸術大学	大阪国際大学	大阪電気通信大学
関西外国語大学	関西福祉科学大学	近畿大学農学部	相愛大学
帝塚山大学	天理大学	桃山学院大学	流通科学大学

京滋大学軟式野球連盟（7校）

京都医療科学大学	京都文教大学	滋賀大学	滋賀県立大学
びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	龍谷大学	

中国地区大学軟式野球連盟（7校）

岡山県立大学	近畿大学工学部	福山平成大学	広島市立大学
比治山大学	福山大学	美作大学	

四国地区大学軟式野球連盟（8校）

愛媛大学	香川大学	香川大学医学部	高知大学
高知工科大学	四国大学	高松大学	徳島大学

九州地区大学軟式野球連盟（7校）

鹿児島大学	鹿児島国際大学	九州看護福祉大学	九州ルーテル学院大学
熊本県立大学	崇城大学	宮崎産業経営大学	

沖縄県大学軟式野球連盟（3校）

沖縄大学	沖縄国際大学	名桜大学	
------	--------	------	--

令和8年度 全日本大学軟式野球協会 役員名簿

顧問	山口 宏	小山 吉男
名誉会長	鈴木 眞雄	
会長	松岡 弘記	
副会長	友重 竜一	
理事長	中村 充治	
副理事長	五味 敏雄	
理事	児玉 正輝	皆巳 幸也
監事	三室 陽一	谷村 好洋
		奥村 浩正
		名古屋 光彦

令和8年度 全日本大学軟式野球連盟 役員名簿

顧問	長塚 将		
会長	友重 竜一		
副会長	松坂 繁治		
参与	福田 克俊		
理事長	中村 充治		
副理事長	皆巳 幸也 (北陸地区)	名古屋 光彦	
理事	駒井 叶登 (北海道地区)	小笠原 理貴 (奥羽地区)	鈴木 勝博 (東北地区)
	谷村 好洋 (東京六)	栗田 友太郎 (首都)	相場 奨太 (東都)
	菊池 安武 (北関東)	和田 駿 (東関東)	奥野 水晶 (南関東)
	金光 祐大 (東京新)	八尾坂 修 (新潟地区)	尾山 武史 (長野県)
	加納 正雄 (東海学生)	村上 俊夫 (近畿学生)	足立 太一 (関西六)
	安田 政彦 (西都)	中村 真梨央 (京滋)	荒谷 健太郎 (中国地区)
	田原 晃生 (四国地区)	上木 卓 (九州地区)	上原 将司 (沖縄県)
指名理事	蛭間 栄介	福島 慎一	星 恭平
	クレイ カ	高嶋 勇喜	津田 好成
監事	秋定 孝史	西牟田 晃平	尾村 匠
学生理事	鹿野 陽大	刀根 征良	
委員長	鹿野 陽大 (東京六)	高月 凱士	
副委員長	刀根 征良 (東関東)	高月 凱士 (四国地区)	
連盟委員	大崎 拓海 (北海道地区)	時田 太輝 (奥羽地区)	蘓武 周 (東北地区)
	川越 輝 (首都)	鈴木 歩夢 (東都)	坂田 佑介 (北関東)
	松尾 俊太 (南関東)	丹下 雄太 (東京新)	高橋 尚汰 (新潟地区)
	小林 咲太朗 (長野県)	左近 悠翔 (北陸地区)	井熊 拓成 (東海学生)
	森 洋介 (近畿学生)	中野 太陽 (関西六)	出葉 凜太郎 (西都)
	久保 裕翔 (京滋)	大土井 海翔 (中国地区)	佐藤 貴志 (九州地区)
	岸本 浩徳 (沖縄県)		
指名連盟委員	戸田 幸希 (東京六)	高梨 薫 (関西六)	

祝

第6回全日本大学軟式野球選抜大会

SUMMER CUP 2026 in Nagano

私たちは
今大会の開催を全力でサポートします！

近畿日本
ツーリスト



全日本大学軟式野球選抜大会
長野市応援協議会

オリンピック開催地 長野市

(公財)ながの観光コンベンションビューロー

〒380-0835 長野市新田町1485-1 長野市もんぜんぶら座4階
TEL.026-223-6050 FAX.026-223-5520

<https://www.nagano-cvb.or.jp/>

長野市合宿ガイド

検索



合宿のご案内

※申請書等もダウンロードできます。

善光寺の門前町として古くから賑わってきた長野市は、北信五岳と呼ばれる美しい山々を望み、豊かな命を育む千曲川・犀川に抱かれた自然あふれる地域です。北陸新幹線、上信越自動車道など交通アクセスも抜群で、合宿地としては最高の環境といえるでしょう。

合宿開催支援金

長野市内で延べ50人泊以上の宿泊を伴う合宿について、
支援金が交付されます。

【対象となる合宿】

《長野広域連合圏域内に活動拠点がある団体は対象外です。》

- 小学校、中学校、高等学校、大学、その他各種学校※1に所属するスポーツまたは文化活動などの団体・サークル※2

※1) 幼稚園を除きます。 ※2) 団体等が所属する教育機関が校外活動及びそれに準ずると認めたものに限りします。

- 企業及び企業に所属する各種団体
- 大会出場などを目標に、社会人等で組織する団体

支援金額 1泊につき 1人あたり500円 ※開催合宿1件あたり上限10万円

手続きの流れ

主催者

長野市で開催決定

- ・交付申請書(様式第1号)
- ・合宿の概要などがわかる書類
- ・延べ宿泊予定数調査書(様式第2号)

合宿開催

合宿終了

- ・実績報告書兼請求書(様式第6号)
- ・実施明細書(プログラム等)
- ・開催状況を示す写真(3点程)



うれしい顔も。
くやしい顔も。

あなたの輝いてる姿、
そのシャッターチャンスをとらしたちはのがしません。

Sports 共同
SINCE 1972



卒団パネルも
作成できます。

思い出のプレーをかたちに残してパネルに、スナップに…



全日本軟式野球連盟広報 / その他各種競技団体写真担当

株式会社 共同写真企画

◆ 大阪本社 ◆ 東京支店 ◆ 中部支店 ◆ 九州支店 <http://www.kyodo-photo.co.jp>

LINE



<https://www.instagram.com/kyodophotoinc/> <https://www.facebook.com/Sportskyodo/>

第6回 全日本大学軟式野球選抜大会 プログラム

2026年8月14日発行

発 行	全日本大学軟式野球連盟 (http://junbf.jp)
編集・制作	第6回 全日本大学軟式野球選抜大会 実行委員会
印 刷	ジャパンプリント株式会社

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

新!

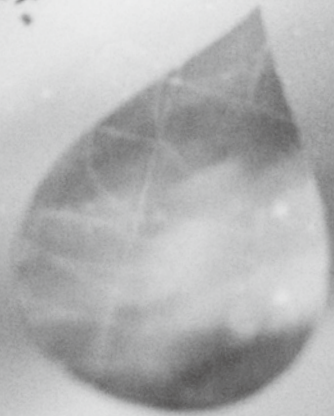
NAMACHA®

生茶

生茶

茶葉のあ
まりさ
やま
かみ

Enjoy your day
with tea made
from quality leaves



KIRIN

525ml

まる搾り生茶葉抽出物加熱処理

のんだあとリサイクル。



NAMACHA.jp

キリンビバレッジ株式会社

日本で生まれたボールを 未来へつなぐ。 SINCE 1934



Soft-tennis ball
ケンコーソフトテニスボール
(公財)日本ソフトテニス連盟公認球



Baseball
ケンコーボール
(公財)全日本軟式野球連盟公認球



Softball
ケンコーソフトボール
(公財)日本ソフトボール協会検定球

**KE  KO
BALL**

ナガセケンコー株式会社
www.nagase-kenko.com

